

# 令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業

## 2次コンテスト 整備提案集

日時：令和8年1月25日（日）10:30～17:00

会場：横浜市役所1階アトリウム



事務局 横浜市都市整備局 地域まちづくり課  
横浜市住宅供給公社  
認定NPO法人 市民セクターよこはま

## ■目次■

1. ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. ヨコハマ市民まち普請事業部会委員名簿、委員紹介・・・・・・・・	2
3. まちづくりコーディネーター紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4. 令和7年度のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5. 令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業2次コンテスト	
(1) 2次コンテストプログラム	10
(2) 2次コンテスト審査基準	11
(3) 2次コンテストの投票方法・選考方法	12
(4) 2次コンテスト審査基準別一覧表（参考）	14
6. 2次コンテスト提案一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(1) 鶴見西口活性化委員会	16
(2) 生麦事件参考館リユースプロジェクト	36
(3) 桜通りをたのしくする会	64
(4) リエトモ倶楽部	88
(5) 希望が丘みらいデザインチーム	108
(6) 横浜駅西口トリコロールリバー	126
7. 参考資料	
ヨコハマ市民まち普請事業整備助成対象一覧（年別）	144

# 1. ヨコハマ市民まち普請事業とは

「ヨコハマ市民まち普請事業」では、市民のみなさんが主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設（ハード）整備を伴うまちづくりに対して横浜市が支援・助成を行うことで、地域に合ったまちづくりが実現することを目指しています。

市民のみなさんによるアイデア検討やコンテストへのチャレンジ、整備への労力提供や整備後の施設の維持管理、活用・運営などの機会を通じて、地域コミュニティが活性化し、地域まちづくりの輪が広まることで、横浜の魅力を一層向上させていくことを目的としています。令和5年度から「子育てプラス」として、次世代を共に育む地域づくりの推進のため、支援体制等を拡充しています！

※地域まちづくり・・・身近な地域の魅力づくりや課題解決に向けた取組のことです。

※まち普請・・・「普請（ふしん）」は「普く請う（あまねくこう）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。  
「公共」は行政によってのみ担われるものではなく、特に地域に根ざした身近な課題への対応などに市民のみなさんが主体的に関わることで、参加する人や地域に暮らす人々の満足度を高めることにつながっていきます。

「まち普請」には、市民のみなさんに身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきたいという願いが込められています。

## <支援内容>

### ● 1次コンテストを通過した提案グループへの支援

- 30万円を限度に活動助成金を交付します。  
(市の予算の範囲内で助成します。)
- 活動助成金の対象は、提案をブラッシュアップすることを目的にした活動です。
- 対象経費は、主にまちづくりコーディネーター（まちづくりの専門家）など技術面での協力者への謝金や用紙等事務用品費、印刷費等です。
- 提案内容の整理等をアドバイスしてくれるまちづくりの専門家を紹介します。
- 2次コンテストに向けて提案の実現性を高めるため、提案内容の整理や関係機関との協議・調整などを地域まちづくり課職員が支援します。

### ● 2次コンテストを通過した提案グループへの支援

- 50万～500万円を限度に整備助成金を交付します。  
(市の予算の範囲内で助成します。)
- 対象経費は、設計費、工事費、工事監理費、活動経費です。
- 整備内容の整理や関係機関との協議・調整などを、整備が完了するまで地域まちづくり課職員が支援します。

## 2. 審査員名簿、委員紹介

### (ヨコハマ市民まち普請事業部会 委員名簿)

	氏 名	現 職
審査員長 (部会長)	かわはら すすむ 川原 晋	東京都立大学都市環境学部教授 (都市デザイン、市民事業、観光まちづくり)
審査員 (部会委員)	うえまつ まみこ 植松 満美子	松ヶ丘自治会会長 (まちづくり、市民活動)
	おがわ ともりのり 小川 智紀	認定 NPO 法人 ST スポット横浜 理事長 (市民協働、アート)
	くにひろ じゅんこ 國 廣 純子	武蔵野美術大学建築学科教授 (都市計画、まちづくり、市街地再生)
	ごとう ちかこ 後藤 智香子	東京都市大学環境学部准教授 (まちづくり、住環境、こども環境)
	とりうみ ちえこ 鳥海 知恵子	市民委員 (公募)
	ひご きみこ 肥後 貴美子	市民委員 (公募)
	まつむら まさはる 松村 正治	NPO 法人よこはま里山研究所 理事・事務局長 (市民協働、環境社会学)

(五十音順、敬称略)





●川原 晋（かわはら すすむ）  
東京都立大学都市環境学部教授

専門は観光まちづくり、都市・地域デザイン。観光地再生、まちづくり市民事業、市民参加まちづくり、公民連携による公共空間活用などの理論と実践に取り組んでいます。

前職では、都市計画コンサルタントや建築設計者として、横浜市や区の都市計画マスタープランや市民利用施設の検討ワークショップ等の業務や、福祉施設等の設計に携わりました。

藤沢市都市景観アドバイザー、八王子市景観審議会委員、横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会委員（横浜・人・まち・デザイン賞）、地元小学校の PTA 会長などを経験。趣味はガーデニング。



●植松 満美子（うえまつ まみこ）  
松ヶ丘自治会会長

青少年指導員、主任児童委員を務め、子ども達や学校、子育て支援などに関わる様々な地域活動に携わってきました。私の住む松ヶ丘地区は、横浜駅にほど近い丘陵地。国道 1 号線から一歩入ると急な坂道や細い道が多く、通学、通勤、買い物に行くのにも坂の上り下りは欠かせません。また、指定

されている地域防災拠点や広域避難場所への避難も、高齢の方や障害をお持ちの方には難しいことと、東日本大震災を経て痛感させられました。そこで自治会では、いつとき避難場所として自治会館の活用に思い至り、防災機能と備蓄品の充実を図るため自治会館内に防災備蓄庫を設置することを決定。これを「まち普請事業」の助成を得て平成 25 年度、完成させることが出来ました。私はこの活動に深く関わる機会を得て、その後自治会内に立ち上げた「松ヶ丘防災に強い町をつくる会」の活動を通して、「松ヶ丘まちづくりプラン」の策定に努め、松ヶ丘町内の防災面の強化に関わってきました。現在、松ヶ丘自治会会長を務める傍ら、地区連合自治会、地域防災拠点の運営委員会とも連携しながら、住み心地のよい地域づくりに腐心しています。



●小川 智紀（おがわ ともり）  
認定 NPO 法人 ST スポット横浜 理事長

1999 年から芸術普及事業に関わり、2004 年にアート NPO である ST スポット横浜の地域連携事業立ち上げに参画しました。現在、アートの現場と学校をつなぐ横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局や、民間の芸術文化活動をサポートするヨコハマアートサイト事務局、障害者芸術文化活動普及支援事業の連携事務局を担当しています。社会福祉士、社会教育士として、芸術文化分野と教育、まちづくり、障害福祉分野の連携を模索中です。ダンスや子ども劇場、アート NPO といった分野で活動する中間支援組織で、役員もしています。

客観的で合理的な根拠を示すこと、目標を達成し課題を解決することはもちろん大事です。それ以上に、楽しい、面白い、興味深いと思えることにあふれた地域の可能性に着目しています。



●國廣 純子（くにひろ じゅんこ）  
武蔵野美術大学建築学科教授  
タウンマネージャー

慶応義塾大学経済学部卒業後、日本銀行調査統計局勤務。東京理科大学工二部建築学科を経て、三分一博志建築設計事務所にて犬島アートプロジェクトにて精錬所など一連の建築・ランドスケープのデザインを担当。

2010 年に拠点を北京へ移し、中国ローカルの都市計画・建築設計事務所にて国際プロジェクト責任者としてチームビルディングやプロジェクトマネジメントを経験。2013 年より、自治体の市街地でのまちづくりを公民を問わず総合的に支援する仕事として、タウンマネージャーのキャリアをスタート。青梅市では 10 年間で 130 件の開業、あきる野市では 6 年間で 50 件の開業を創出。賃貸に出されていない空き物件の面的調査や物件交渉等のスキーム構築、開業を促進する情報発信など、特定エリアの不動産市場の再起動やまちのイメージを高めるマネジメントを実践しています。



●後藤 智香子（ごとう ちかこ）  
東京都市大学環境学部環境創生学科  
都市環境分野准教授

東京理科大学理工学部建築学科卒業、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了、同専攻博士課程修了・博士（工学）。柏の葉アーバンデザインセンターディレクター、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任助教、同大学先端科学技術研究センター特任講師などを経て2023年より現職。

学生時代から、住民主体による私有地を活用したまちづくりやそれを支える制度について研究をしてきました。具体的には、世田谷区の地域共生のいえづくり支援事業制度などについて研究をし、またそのご縁で地域共生のいえの一つ、「岡さんのいえ TOMO」の運営に10年以上携わっています。また最近は、こども環境についても都市計画・まちづくりの観点から研究を進めており、特に保育園（こども施設）と地域との空間的・社会的な関わりについて研究しています。



●鳥海 知恵子（とりうみ ちえこ）  
市民委員

住み開きで家庭文庫を開く家庭で育つ。東日本大震災時、子育て中に出逢った仲間と「大人とこどもが一緒に考える・心をつなぐ・みみをすます」小さな会を立ち上げたことが地域活動の原点です。保育士として子育て支援に携わる一方、自分の地域で子どもと大人が混ざり合って遊び始めるうちに、緩やかな地縁や仲間が必要なのは乳幼児親子だけではないことに気づきました。

令和元年、地域で出逢った背景や年代の違う様々な同志と「誰もひとりぼっちにしない街」を目指し、まち普請にチャレンジ。整備対象となり2020年「コミュニティカフェ icocca」をオープン。誰もが自分らしく安心して暮らせる、一緒に育ちあえる仲間がいる街を目指しています。現在、NPO法人 icocca ひのみなみ副理事を務めており、高齢化率42%超の街で様々な人を巻き込みながら楽しく活動中。モットーは「ないなら創ろう・ないから創ろう」



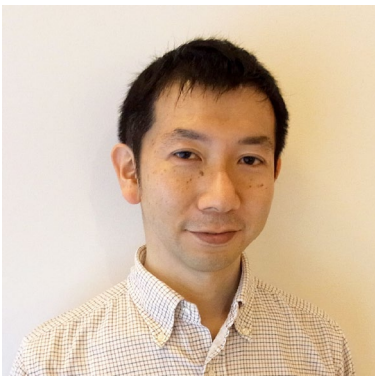


●肥後 貴美子（ひご きみこ）  
市民委員

武蔵野美術大学卒、グラフィックデザイナー。30歳を目前に「エコツーリズム」と出会ったことから、環境に携わる分野に進進。日本各地・フィジー諸島でのエコツーリズム開発やビジターセンター等の展示施設に関わりながら、自然やその土地の文化、そこに生きる人の魅力を伝えることに努めています。

東日本大震災後、自ら住む地域について何も知らないことを猛省し、地域でのエネルギーやコミュニティを考え、実践する市民活動を開始しました。コミュニティ農園での循環型農業や養蜂などを通じて、環境に負荷をかけずに豊かに暮らすヒントを模索しています。今ある地域の環境を次世代にどう残していけるか、仲間と一緒に考え、行動しています。

2025年4月から、（一社）横浜市地球温暖化対策推進協議会理事として、横浜市内の脱炭素ライフスタイルの実践にも取り組んでいます。



●松村 正治（まつむら まさはる）  
NPO 法人よこはま里山研究所 理事・事務局長

1999年から多摩丘陵の里山保全運動にかかわり、2005～25年にNPO 法人よこはま里山研究所（NORA）理事長。まちの近くで里山とかかわる暮らし、里山をいかす仕事づくりをすすめています。ほかに、NPO 法人 Life Lab Tama 理事・事務局長、NPO 法人森づくりフォーラム理事など。


NPO での市民協働や地元町会長の経験をもとに、神奈川県ボランティア活動推進基金審査会、横浜市市民協働推進委員会などの委員も務めてきました。


また、2020年に大学専任教員を退職後、独立研究者へ。専門は、環境社会学、公共社会学。調査フィールドは、多摩丘陵、八重山諸島、五島列島ほか。大学では、フィールドスタディやサービslラーニング等の体験学習プログラムも担当しました。現在は、一橋・立教・法政などの兼任講師、環境運動をテーマにした市民講座のコーディネーターも務めています。

### 3. まちづくりコーディネーター紹介

ヨコハマ市民まち普請事業では、提案の検討段階から、まちづくりの専門家「まちづくりコーディネーター」による伴走支援を行っています。まち普請事業の提案をブラッシュアップしていくためには、このコーディネーターはなくてはならない存在です。

今年度、支援に入ってくださっているまちづくりコーディネーターを紹介します。(50音順)

	<p>●大澤 浩一（おおさわ こういち）</p> <p><u>これまでの伴走支援実績（まち普請）</u></p> <p>駒岡連合町会大曲広場整備実行委員会（鶴見区）</p> <p>師岡熊野神社「いの池」愛護会</p> <p><u>得意とする分野</u></p> <p>水・緑・環境      歴史・文化・アート      空き家・空き地の利活用</p> <p>商店街活性化      コミュニティの再生</p>
<p><b>コーディネーターから、提案グループへひとこと</b></p>	
<p>地域の人々や地域に残る水・緑・歴史などの地域資源に着目し、みんなの想いを掘り起こし、共有し、かたちにしよう！</p>	

	<p>●鈴木 智香子（すずき ちかこ）</p> <p><u>これまでの伴走支援実績（まち普請）</u></p> <p>菊名みんなのひろば（港北区）</p> <p>太陽とコミュニティで耕すもろおかエコステーション（港北区）</p> <p>夢・街のナビゲート 大倉山コンシェルジュパーク（港北区）（ほか）</p> <p><u>得意とする分野</u></p> <p>地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）      水・緑・環境</p> <p>空き家・空き地の利活用      アート      商店街活性化      コミュニティの再生</p> <p>地域の活動拠点運営</p>
<p><b>コーディネーターから、提案グループへひとこと</b></p>	
<p>リエトモ倶楽部の皆さんは、このまち普請事業を通して、地域のいろいろな方々と次々につながり、意見を聞き、どんどんと関りを広げて、素敵に「まちづくり人」になられたと思います。丘の上にできる、小さなガレージ公園が、横浜のまちづくりに新しい風を吹かせると思います。</p>	

	<p>● 治田 友香（はるた ゆか）</p> <p><u>これまでの伴走支援実績（まち普請）</u></p> <p>パレット境木ベース運営委員会</p> <p><u>得意とする分野</u></p> <p>地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）</p> <p>空き家・空き地の利活用      商店街活性化</p> <p>コミュニティの再生      地域の活動拠点運営</p> <p>NPO・ソーシャルビジネスの伴走支援      クラウドファンディング</p>
<p>コーディネーターから、提案グループへひとこと</p> <p>皆さんのアイデアがその地域住民や愛着を持つ人たちの居場所と出番をたくさんに生み出すことを期待しています。</p>	
	<p>● 山路 清貴（やまじ きよたか）</p> <p><u>これまでの伴走支援実績（まち普請）</u></p> <p>まちまど・洋光台シェアベース実行委員会（磯子区）</p> <p>HOMMOKU もくりプロジェクト実行委員会（中区）    ほか</p> <p><u>得意とする分野</u></p> <p>地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）    防犯    水・緑・環境</p> <p>歴史・文化・アート      空き家・空き地の利活用      商店街活性化</p> <p>コミュニティの再生      地域の活動拠点運営</p>
<p>コーディネーターから、提案グループへひとこと</p> <p>他にはない自分ならではの提案が出てくる事を期待しています。</p>	
	<p>● 山本 耕平（やまもと こうへい）</p> <p><u>これまでの伴走支援実績（まち普請）</u></p> <p>地域開放型サロンを豊岡につくる会（鶴見区）</p> <p>弘明寺リビングラボ（南区）ほか</p> <p>弘明寺チーム NECTA COLLECT（南区）ほか</p> <p><u>得意とする分野</u></p> <p>水・緑・環境</p> <p>コミュニティの再生</p>
<p>コーディネーターから、提案グループへひとこと</p> <p>まち普請のエネルギーは必ず地域の幸せにつながります。</p> <p>鶴見西口活性化委員会の皆さん、熱い思いを実現させましょう。</p>	

## 4. ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度スケジュール

整備提案の募集 R7年2月12日(水)～R7年5月30日(金)



**1次コンテスト** R7年7月13日(日)



現地見学会(令和6年度整備箇所) R7年8月25日(月) 午後



2次コンテスト対象提案 活動懇談会 R7年9月21日(日)



2次コンテスト対象提案 現地視察 R7年10月28日(火)



**2次コンテスト** R8年1月25日(日)

**本日!!**

**整備対象提案の決定!**

## 5. (1) 令和7年度 2次コンテストプログラム

### ☆ 10時30分～10時55分

- 開会
- 応援企業の紹介
- 審査員の紹介
- コンテストの進行説明

### ☆ 10時55分～12時05分

- 整備提案の発表等（1グループあたり10分）

### ☆ 12時05分～12時20分

- 休憩

### ☆ 12時20分～12時55分

- 審査員による提案発表を踏まえたポイント整理

### ☆ 12時55分～14時00分

- 休憩

### ☆ 14時00分～15時40分

- まちづくりコーディネーターの紹介
- 審査方法の説明
- 公開議論・質疑

### ☆ 15時40分～15時55分

- 公開投票・休憩

### ☆ 15時55分～16時30分（YouTube配信終了）

- 結果発表
- 講評

### ☆ 16時30分～17時00分

- 提案グループへの事務連絡、アンケート回答
- 交流タイム

### ☆ 17時00分

- 閉会

※当日の進行状況により、変更する場合がありますのでご了承ください。



## 5. (2) 2次コンテスト審査基準

### 1. 創意工夫

- ・【計画の工夫】住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデア、ユニークさ及びデザインへの配慮
- ・【工事の工夫】整備工事における地域での費用や労力の負担方法などの工夫
- ・【維持管理の工夫】整備した施設の維持管理・運営の実施方法などの工夫

### 2. 実現性

- ・整備する施設の維持管理・運営計画と組織体制
- ・地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成
- ・関係機関との調整、まちづくりの専門家等の意見への理解

### 3. 公共性

- ・地域の課題やニーズの的確な把握、地域への貢献度
- ・活動を地域に開きながら、広げた又は深めた経緯や実績

### 4. 費用対効果

- ・整備の規模（数量）と整備による効果の妥当性
- ・コスト縮減の工夫

### 5. 地域まちづくりへの発展性

- ・整備をきっかけに地域のコミュニティが広がる、又は深まる可能性
- ・整備をきっかけに地域のまちづくり活動が活発化する可能性
- ・他の地域によい影響を与える可能性

## 5. (3) 2次コンテストの投票方法・選考方法

### 1. 投票方法

- ・提案ごとに「2票」「1票」「0票」の3段階で評価します。

整備助成対象として「特に推薦する」	2票
整備助成対象として「推薦する」	1票
「今後の取組に期待したい」	0票

- ・ただし、委員一人あたりの2票を投票する提案数は、4件までとします。

### 2. 整備助成対象の選考条件

- ・過半数の審査員（審査員が8人の場合、5人以上）から得票し、かつ総得票数が審査員数（審査員が8人の場合、8票）以上であることを選考の条件とします。

### 3. 整備助成対象の選考方法

- ・得票数の上位4件を整備助成対象提案とします。
- ・得票数が同点の場合は、投票した委員の多い提案を上位とします。

### 4. 決選投票の方法

- ・1回目の投票で整備助成対象提案が上位4件以内に絞り込めなかった場合、決選投票を行います。
- ・整備助成の対象として「推薦する」提案に1票を投票します。審査員の持ち票は、「4－（選考済み提案数）」とし、審査員は必ず全票投票します。
- ・決選投票で得票数が上位の提案を整備助成対象提案として選考します。
- ・上記の手順を行っても得票数が並んで決まらない場合は、審査員長が投票した提案を整備対象として選考します。

## 5. 令和8年度1次コンテスト免除提案の選考方法

### 【選考方法】

整備助成対象提案として選考されなかった提案で、過半数の審査員（審査員が8人の場合、5人以上）からの得票、かつ、総得票数が8票以上のうち、一定の得票（※）を得たもののうち上位1位の提案は、翌年度の1次コンテストを免除する権利を得ます。

#### ※「一定の得票」の基準

選考された提案のうち、最も少ない得票数の8割を超えるもの

例) 選考された提案のうち、最も少ない得票数が12票の場合

1次免除提案となる投票数は10票以上（ $12 \times 80\% = 9.6$  票）

### 【権利の行使・条件】

- ・ 1次コンテスト免除の権利を得たグループは、令和8年度の1次提案応募期限（令和8年5月29日（金））までに1次申込書及び提案書の提出をもってコンテストへの参加の意思表示を行います。
- ・ 令和8年度1次コンテストでは、活動の経過報告（説明方法は任意）を行っていただきます。

※その他、不測の事態が生じた場合は、審査員及び事務局で協議の上、対応します。

#### 5.(4) 2次コンテスト審査基準別評価一覧表（参考）

**A**：評価できる

**B**：この後公開で議論したうえで判断したい

**C**：課題があると感じている

順 番	整備提案名	創意工夫							実現性							公共性							費用対効果							地域まちづくりへの発展性						
		植松	小川	川原	國廣	後藤	鳥海	肥後	松村	植松	小川	川原	國廣	後藤	鳥海	肥後	松村	植松	小川	川原	國廣	後藤	鳥海	肥後	松村	植松	小川	川原	國廣	後藤	鳥海	肥後	松村			
1	まちしるべ～掲示板の活用 でつながるまちづくり～																																			
2	歴史でつなぐ多文化共生・ 多世代交流のまちづくり																																			
3	関内桜通り「としょかん」 &「こうみんかん」の整備																																			
4	「茶の間ガレージ公園」の 横浜ハッピープロジェクト																																			
5	希望が丘チャレンジベース ～まちのコンシェルジュ～																																			
6	横浜駅西口水辺憩いの空間 の植栽整備																																			

#### ★2次コンテスト審査基準別一覧表の位置づけ

2次コンテスト審査基準別一覧表は、整備提案の発表が終わった時点での評価です。この評価は必ずしも最後の投票に直結するものではありません。午後の公開議論において、より詳しく聞きたいというものを「B」や「C」としています。

## 6.2 次コンテスト提案一覧

発表順	提案グループ名	提案名	ページ
1	鶴見西口活性化委員会	まちしるべ～掲示板の活用でつながるまちづくり～	16
2	生麦事件参考館リユースプロジェクト	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり	36
3	桜通りをたのしくする会	関内桜通り「としょかん」と「こうみんかん」の整備	64
4	リエトモ倶楽部	「茶の間ガレージ公園」の横浜ハッピープロジェクト	88
5	希望が丘みらいデザインチーム	希望が丘チャレンジベース～まちのコンシェルジュ～	108
6	横浜駅西口トリコロールリバー	横浜駅西口水辺憩いの空間の植栽整備	126

第2号様式（公開）

ヨコハマ市民まち普請事業  
第2次提案書

- 注1）2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。  
 注2）2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。  
 注3）添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	鶴見西口活性化委員会
整備場所（町名 又は丁目まで記入）	鶴見区 豊岡町
提案名 (25字以内)	まちしるべ～掲示板の活用でつながるまちづくり～
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 （具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください） ※1 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>地域の人がまちを知り、まちを巡るきっかけを作るための「まちしるべ」を整備する。「まちしるべ」は、①情報ボード②大型案内板③ミニサイン④デジタルサイネージの総称で、アナログとデジタルを組み合わせた情報発信地とする。</p> <p><b>①情報ボード（25か所）</b>：豊岡地区連合の7自治会所有掲示板の下に付加                      &lt;内容&gt;小学生が描いた絵、道の名前（多言語表記：日、英、中、韓）、避難場所までの方向・距離、地域情報等にアクセスできるQRコード、道の由来紹介など                      ※「地域を知る入口」であり、「まちを巡るきっかけ」をつくるための基盤。                      ※掲示板の縁取りには、地域で既に設定されている7地区の色分けを活用し、さらに番号を付けることで、現在位置が一目で分かりやすい工夫を施す。</p> <p><b>②大型案内板（駅前2か所）</b>：鶴見駅西口デッキ（2階）、エレベーター（1階）                      &lt;内容&gt;7地区を色分けした地図、情報ボードの位置、道の名前、總持寺などの主要スポット紹介（写真付き）、QRコード（地図ダウンロード可能）                      ※鶴見駅前で上記①の全体像を把握できる案内拠点。</p> <p><b>③ミニサイン（約22か所予定）</b>：店舗・施設・民家の壁、電柱など                      &lt;内容&gt;道の名前、總持寺などへの誘導など                      ※掲示板がない箇所への補助的役割を担い、主要スポットへの誘導をサポート。</p> <p><b>④デジタルサイネージ（駅前1か所）</b>：駅前の商業施設などの壁面                      &lt;内容&gt;「まちしるべ」の趣旨説明、季節ごとのおすすめ散策ルート（「情報ボード」を活用・連携）、子どもたちの絵をまとめて紹介、地域のイベント情報、QRコード（おすすめルートをダウンロード可能）など                      ※動きの少ない情報ボードを補足する動的役割として、おすすめまち巡りルートなどを定期更新して発信。</p>
施設の活用・活動内容 （具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください） ※第1次提案書より具体的に記入してくだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点や広域避難場所を分かりやすく表示し、地域住民の避難訓練にも活用する。</li> <li>・子どもから高齢者まで、地域みんなで道の名前をつけることで地域愛を醸成し、さらに住民、新住民、来街者への道案内をわかりやすくする。</li> <li>・商店と提携し、週替わり等のクーポンを情報ボードのQRコードからダウンロードできるなど、掲示板を日常的にチェックしたくなる仕掛けをつくる。</li> <li>・豊岡小学校の生活科、総合的な学習の時間等で学んだ地域の魅力を子ども目線で発信。学習成果の発表の場としながら、地域の人にも見てもらえるよう、情報ボードのQRコードを活用する。</li> <li>・情報ボードに子どもたちが描いた絵を掲示する。絵は定期的に更新すること</li> </ul>

さい	<p>で変化を生み出し、地域の人が足を止めるきっかけを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ボードを使った健康増進のためのウォークラリーや子ども向けのワードラリーなどを企画し、地域をめぐる楽しみを感じられるイベントを実施する。</li> <li>・子育て世代やシニアなどの世代や目的に合わせた散策ルートを紹介し、まち歩きを楽しむための情報を盛り込む。</li> </ul>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)</p> <p>※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>豊岡地区は鶴見西口に広範囲に広がり、高低差もあることから、地域住民同士の交流が不足し、コミュニティが希薄になっている。今後、豊岡小学校の複合施設化に伴い、来街者の増加が見込まれ、コミュニティの希薄化がさらに進むことが懸念される。また道に名前がなく、目印になるような案内板も少ないため、初めて訪れる人はもちろん、住んでいる人でも場所の説明が難しい。こうした課題に対応するため、地域に根付き、地域情報の宝庫である「自治会掲示板」を活用し、観光・商業・文化の拠点である豊岡商店街や大本山總持寺、県立三ツ池公園などの地域の魅力を発信するとともに、地域を回遊する楽しみを創出するイベントを開催する。さらに、子どもたちや地域住民が協力して道に愛称を付けることで、自分たちのまちに誇りと愛着を持ち、まちの魅力を高め、地域の一体感を醸成する。また、外国籍住民が多い地域の特性を踏まえ、多言語対応の情報掲示を行うほか、防災情報を分かりやすく掲示することで、すべての住民が安心・安全に暮らせるまちを目指す。</p> <p>一次コンテスト以降の話し合いを通じて、自治会掲示板が定期的に情報更新され、地域の人が発信する「情報の宝庫」であるとともに、「誰でも見られる」「地域に必ずある」「情報更新が容易」という強みに気付いた。掲示板は、地域の魅力や防災情報を効果的に共有できる強力な資源であるが、現状ではその価値が十分に活かされていない。そこで、掲示板を単なる情報掲示の場から、地域活性化の拠点へと進化させる。この取り組みにより、情報の循環を促進し、住民同士のつながりを強化し、地域全体の一体感を高めることを目指す。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちしるべ」の作成や設置にあたり、地元の看板業者と取組の趣旨を共有し、専門的な視点から設置方法について提案を受ける。子ども達にも見やすい看板とするため、高さや視認性に配慮したアドバイスを受けながら、それぞれの設置場所のサイズに合わせた看板を作成する。なお、各自治会の掲示板の採寸は提案メンバーで実施した。</li> <li>・「まちしるべ」は、子育て地図を作成している「つるみまマップ」や地元の高等学校等と連携し、行政地図とは異なる、鶴見らしい親しみやすいイラストで作成する。</li> <li>・情報ボードに掲載する絵は、子どもたちに描いてもらい、道の名前は子どもをはじめとする地域全体で話し合い、名称を決定する。</li> <li>・情報ボードの設置作業は子どもも含め地域みんなで行うことで、設置費用の経費削減を図る。</li> <li>・地域情報の配信については、「これつる」に協力をお願いし、ノウハウを活かしながら進めていく。</li> </ul>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p><b>【維持管理】</b>①情報ボード：各自治会が主体となり実施。②③大型案内板・ミニサイン：協力企業による定期的なメンテナンスを実施。④デジタルサイネージ：内容の更新などは「これつる」が担当し、機器のメンテナンスは協力企業が実施。</p> <p><b>【運営資金】</b>月々の経費として、デジタルサイネージの光熱費や掲示板・サイネージの作成及び更新費用が発生する。これらの費用は企業協賛を活用するとともに、デジタルサイネージの広告収入で運営する。</p> <p><b>【イベント運営・広報】</b>自治会、鶴見西口活性化委員会、地域の学校をはじめ、地域住民や団体が誰でもが掲示板を活用したイベントを運営出来るようにする。広報は自治会の掲示板や回覧板、店舗へのチラシ設置に加え、「これつる」を活用する。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。



<p>1 次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>【情報ボードの設置に向けた調査】必要な場所と数を確認するため、設置場所、位置関係、大きさをメンバーで調査した。</p> <p>【地域ニーズの確認】西口モールイベントにてまち普請の取り組みを広報すると共に、実際に道の名前をつけてもらうことで、具体的なアイデアを収集した。また、地域住民を対象にまち普請活動の紹介や看板の必要性、道の名前をつけることに関するアンケートを実施した。</p> <p>【児童の参画】豊岡小学校の総合的な学習の時間で商店街の店を調べる活動を行い、その情報をwebサイトで発信した。さらに道の名前を考える活動も実施した。</p> <p>【活用法の確認】自治会主催のハロウィンイベントで商店街を回る際、掲示板に記載されたQRコードからwebサイトにアクセスし、子ども達が発信した商店情報を見ながら回遊できる仕組みを導入した。</p> <p>⇒これらの取り組みにより、児童の参画と活用方法の検証を通じて、掲示板が将来的に継続、利用される効果を確認することができた。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>【地域組織】豊岡地区連合定例会で説明し、合意を得た。掲示板の設置、維持管理等について協力をいただけることになった。豊岡商店街、三角大通り共栄会、レアールつくの商店街にも説明を行い、掲示板の設置・活用に関する協力について合意を得た。さらに、豊岡地区あいねっと（豊岡地区の課題に取り組む地域組織）で説明し、地域の課題解決のために掲示板を活用することについて賛同を得た。また、豊岡小学校、旭小学校からも総合学習の時間に取り組みを入れるなど、協力をいただけることになった。</p> <p>【地権者】鶴見土木事務所、道路局管理課・施設課に提案内容を説明し、まち普請2次コンテスト通過後には、許可に向けた協議に応じる旨の回答をいただいた。また、東京電力にも説明を行い、コンテストを通過した場合、協力をいただける回答をいただいた。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>「まちしるべ」は、地域の情報発信を進化させる新しい仕組みである。自治会、学校、商店など、地域のさまざまな団体が連携し、情報を共有・発信することで、地域全体のつながりを強化する。この仕組みの特徴は、アナログとデジタルの融合である。既存の掲示板を「地域の情報とつながる場」として活用し、そこにWebを組み合わせることで、タイムリーな情報発信を可能にする。さらに、子どもたちの絵を定期的に更新することで、温かみのあるアナログの魅力を残しながら、情報に動きを与える。</p> <p>また、「まちしるべ」は、誰でもアクセスできるツールでもある。住民はもちろん、新しく引っ越してきた人や来街者も簡単に情報を得られる。情報が届くことで、人が動き、コミュニティが生まれ、地域が活性化する。こうした仕組みが、新しいコミュニティの創出や多世代のつながりを促し、地域への愛着や担い手づくりにつながる。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>私たちが目指すのは、誰もが安心して末永く暮らせる地域である。そのためには、人と人の「つながり」が欠かせない。つながりを生むためには、地域にどんな人が住み、どんな活動があるのかを知ることが重要である。「まちしるべ」は、そのきっかけをつくる仕組みである。</p> <p>情報ボードで地域の情報を発信し、イベントや活動への参加を促すことで、顔見知りが増え、自然な交流が生まれる。この積み重ねが安心感を育み、暮らしやすいまちを実現する。さらに、10年先を見据えた仕組みづくりを進める。子どもたちが活動に関わり続けることで地域への愛着を育み、将来の担い手となる。若い世代が「ここに住み続けたい」と思える環境を整え、地域の魅力を高める。また、活性化委員会を中心に複合的な取り組みを進め、組織として存続できる体制を構築する。こうした取り組みにより、地域が活性化し、子どもが増え、世代を超えた交流が広がる。鶴見を愛する住民が増え、良好な住環境が整い、誰もが安心して暮らせるまちが続いていく。</p> <p>「まちしるべ」を活用することで、豊岡地区の住民はもちろん、新しく住む人や訪れる人も地域を知り、つながるきっかけを得る。この取り組みは、地域の一体感、愛着、多世代の交流、担い手づくり、そして地域活性化といった課題解決に寄与する。そんな未来を目指して、私たちは「まちしるべ」を10年先も継続していく。</p>

次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

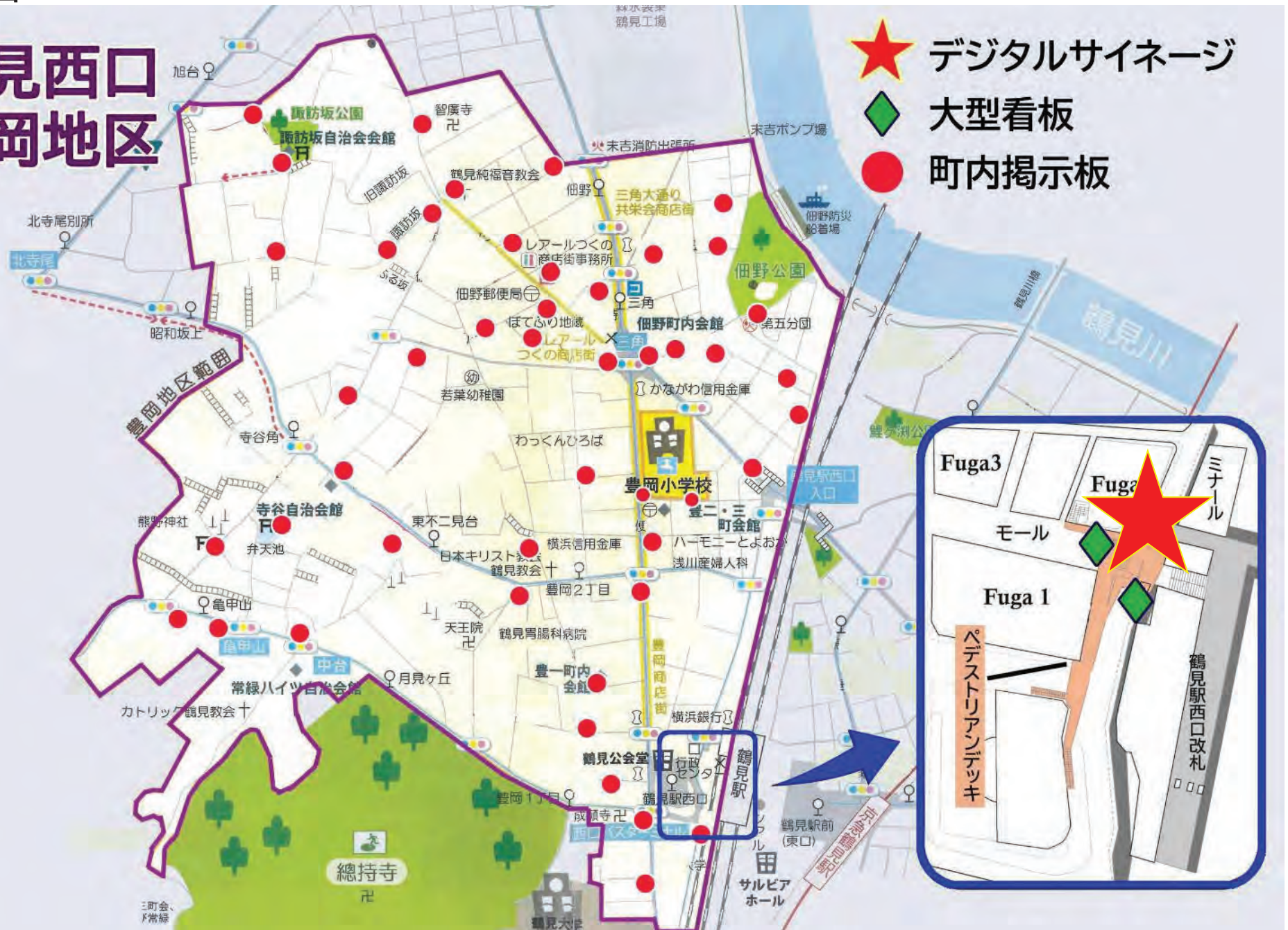
- ☒ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第2次提案書（その他添付の公開資料）に個人情報はありません。



# 位置図

## 鶴見西口 豊岡地区

- ★ デジタルサイネージ
- ◆ 大型看板
- 町内掲示板



北  
4

縮尺

17mm  
100m

## 平面図

行政地図とは異なる鶴見らしい親しみやすいデザインを地域の意見を聞きながら作成していきます。

情報ボード



## ミニサイン



# 大型案内板





## 完成予想図



👟 歴史ルート案 豊岡・寺谷 👟

どこから  
スタートしても  
いいよ!

…掲示板の位置



**A 熊野神社**  
木々に覆われ緑が溢れる神社。本堂は常に木漏れ日に照らされ、夏場になると蝉の声が止まる事無く響き渡っています。



**B 弁天池**  
池の真ん中に弁財天を祀る祠があり、時間を切り取った様な静けさに包まれています。ベンチなどが置かれている為、休憩スペースとして利用する事も出来ます。



**天王院**  
幼稚園に隣接し、創設1595年天台宗の古いお寺です。敷地内には茶室や地蔵尊、大きな梅園があり、花の季節には梅の香りが漂っています。

## 学生さんからメッセージ

この地図を制作する過程で、様々な町の様子を見ることが出来ました。普通に暮らしているだけでは知ることが出来ない風景や名物を、この地図を手にとって頂いた皆様に実際に歩いてみて知って頂ければ幸いです。

この地図を  
スマホで見る



**D カフェこっとーね**  
障害者就労支援施設にあるカフェです。オススメは石窯で焼いた本格的なピザです。  
ぜひ一度、足をお運び下さい。  
〈営業時間〉 10:00～15:00  
〈定休日〉 土・日・祝

**E 總持寺の香積台**  
鶴見七福神の一つでここには  
大黒天が祀られています。  
日本で一番大きい一木造りの  
仏像で依の下から1.8mの大  
さになります。

**F 東福寺**  
四季により庭園の梅や桜の花  
を楽しめます。鶴見七福神の  
一つ毘沙門天が1/4～1/12  
まで一般公開されます。

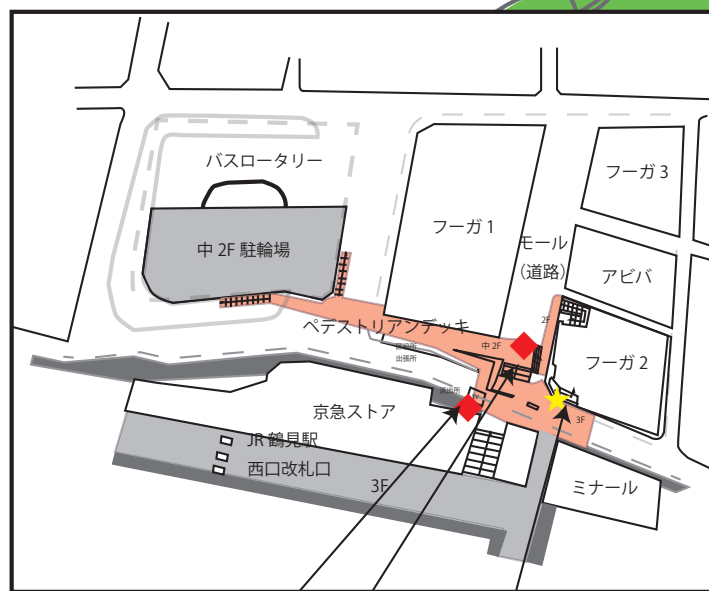
鶴見大学の学生さんが街歩きをして見どころの情報を集めてくれました。マップを片手にぜひぶらりと訪ねてみてください。



# 配置図

鶴見豊岡連合7地域図

JR 鶴見駅 拡大図



掲示板 情報ボード  
25 か所

大型案内板  
2 か所

デジタルサイネージ  
1 か所

JR 鶴見駅

豊岡1丁目 豊岡2丁目 豊岡3丁目

佃野

諏訪坂

寺谷

常緑ハイツ

鶴見川

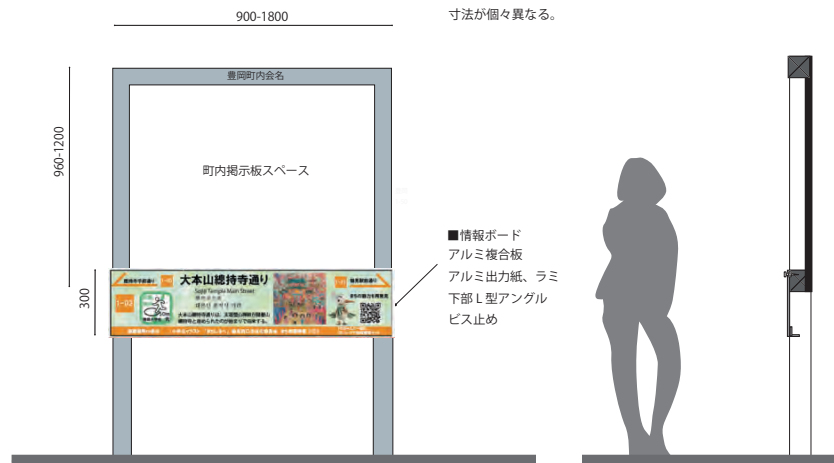


100m

# 立面図

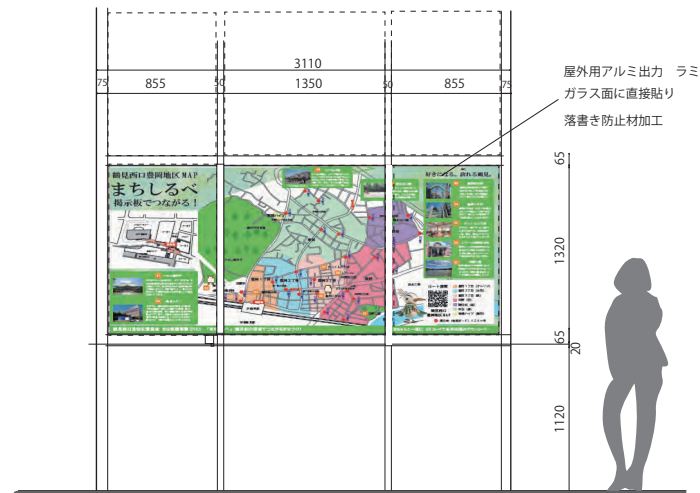
## ● 掲示板 情報ボード 25 台

豊岡町内（7区画）



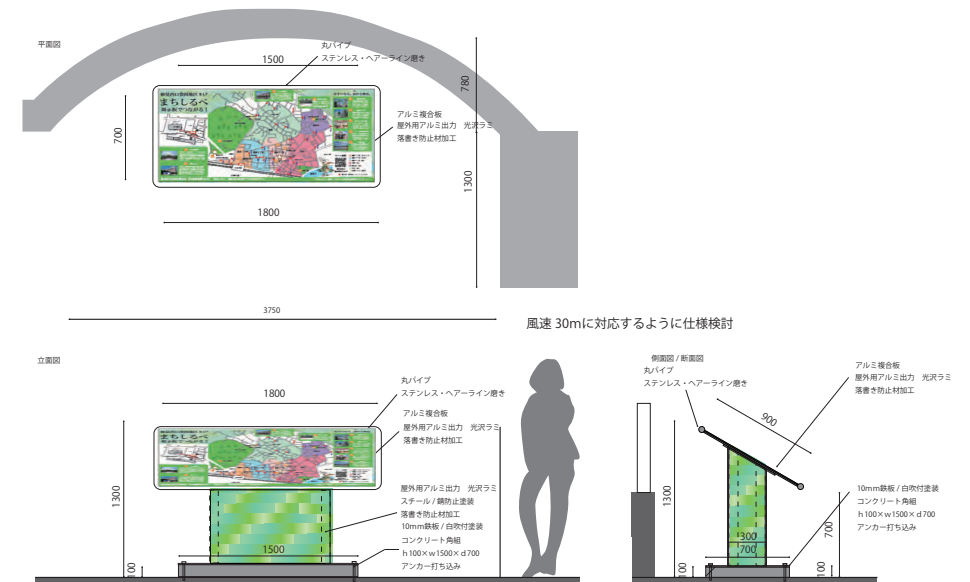
## ◆ 大型案内板 1 台

エレベーター ガラス面 出力シート貼り



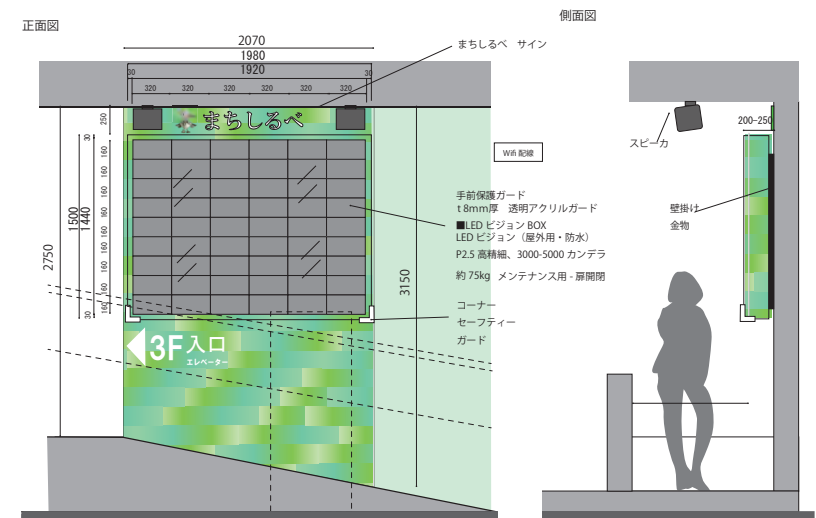
## ◆ 大型案内板 1 台

ペDESTリアンデッキ 屋外 中2階



## ★ デジタルサイネージ 1 台

フーガ2 3F LED ビジョン



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
製作費	情報ボード	25か所	50,000	1,250,000	施工（取付は地域で実施）
製作費	ミニサイン	22か所	15,000	330,000	施工（取付は地域で実施）
製作、施工費	大型看板（2階）	1台		1,000,000	デザインは地域の学生の協力を得て作成
製作、施工費	大型看板（1階） シール, 3枚分割	1セット		200,000	デザインは地域の学生の協力を得て作成
制作、施工費	デジタルサイネージ	一式		1,500,000	
設置基礎補強、 施工費	大型看板 情報ボード ミニサイン	一式		1,200,000	情報ボード、ミニサイン（取付が難しい箇所）
設計費		一式		200,000	
活動助成金	講師等への謝礼・ 技術料, 図面作成 費, 調査・実験費, 用紙等事務用品 費, 印刷費, 広報活 動費	一式		200,000	
合 計				5,880,000	

## 今までの活動内容

8/4(月)10:00～	横浜市道路局管理課占用係 まち普請提案内容を説明
8/6(水)10:00～	鶴見土木事務所管理係 まち普請提案内容を説明
8/7(木)13:00～	鶴見区地域振興課、鶴見区市政推進課 まち普請提案内容を説明
8/8(金)18:00～	豊岡地区あいねっとで「まち普請」の活動を紹介
8/13(水)9:00～	掲示板の調査
8/17(日)16:00～	西口モールイベントで道の名前を募集
9/21(日)13:00～	活動懇談会(at 市庁舎18F)
9/25(木)18:00～	豊岡地区連合定例会 活動説明と、「まち普請」活動に対するアンケート（27名）
10/8(水)13:00～	鶴見土木事務所管理係 市道路局指摘の対応を説明
10/25(土)10:00～	豊岡地区ハロウィンパーティーに合わせ掲示板に「道しるべ」を設置 QRコードを試行
10/28(火)9:00～	現地視察、案内・説明
11/4(火)11:00～14:00	三角大通り共栄会、レアルつくの商店街 活動説明
11/5(水)15:00～	鶴見土木事務所管理係 土木指摘の対応・説明
11/10(月)15:00～	TEPCO(東電)鶴見支社→窓口閉鎖 川崎支社へ連絡
11/12(水)18:00～	鶴見大学 取り組みにご協力いただけるように依頼
11/14(金) 12:00～	ハーモニーとよおか・施設長に案内板の設置の話をした
11/16(日)10:00～	地域防災訓練にて、「まち普請」説明
11/20(木)10:00～ 13:00～	11/20鶴見大学 学長と面談実施 豊岡小学校5年4組の生徒に道の名前募集
12/12(金)18:00～	あいねっとで「まち普請」をメインテーマとして、プレゼンの予定

### まち普請会議開催日

7/21 7/31 8/13 8/19 8/26 9/5 9/10 9/21 10/1 10/6 10/21  
10/28 11/6 11/7 11/15 11/19

豊岡連合会にて説明



防災訓練にて説明



1次コンテスト



道の名前を募集



道の名前を募集



ハロウィンイベントにて

掲示板サンプル



まち普請会議

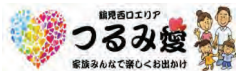


あいねっと会議





## 私たちの想い



鶴見西口エリア  
ポータルサイト



駅前の案内板  
で情報ボードの  
設置場所が  
わかる

デジタルサイ  
ネージの活用で、  
最新版に変更  
可能

自治会掲示板のチ  
ラシは毎月変わる  
ので、常に新しい  
情報を見れる

自治会掲示板の  
重要性の再  
確認

自治会掲示  
板は情報の  
宝庫！

自治会掲示板  
は自由に使える

チラシなどを子  
ども達も見ること  
ができる

回覧板で「まちし  
るべ」の内容を  
周知する

出発点  
道に迷う

地域に一体感がない  
まちの活性化をしたい  
外国人も多い

QRコードの先に  
イベント案内や  
クーポンがある

情報ボードで  
自分の位置  
情報がわかる

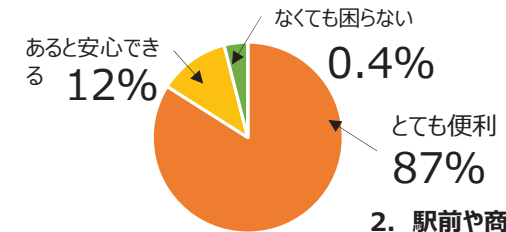
携帯の電池が  
なくても、場所  
がわかる！

## 関係する組織、団体

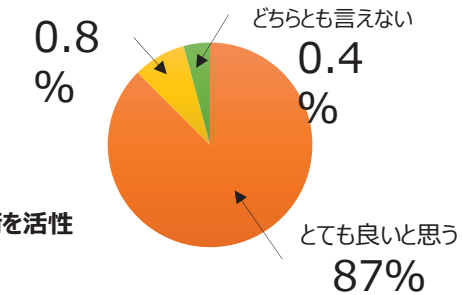


## 豊岡連合町内会 町内代表者アンケート

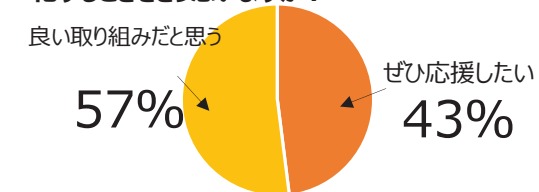
1. 初めて訪れる人にとって「道案内看板」があると便利だと思いますか？



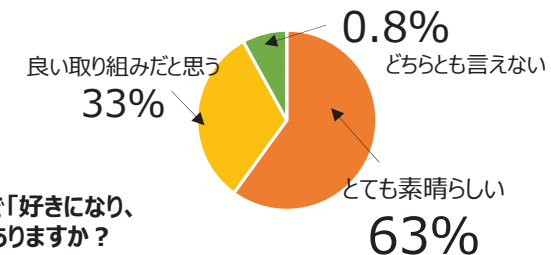
2. 駅前や商店街の道に「名前」をつけることについて、どう思いますか？



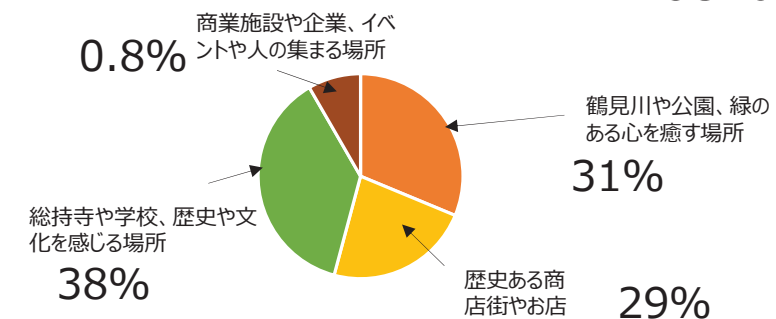
3. 鶴見西口活性化委員会が、まち普請コンテストに 応募して街を活性化することをどう思いますか？



4. 子どもたち（豊岡小・旭小）が参画して、大人やプロと一緒に道案内看板を制作することについてどう感じますか？



5. あなたは鶴見西口で「好きになり、誇りに思う場所」はありますか？





# 二次元コードの活用法

【前提】リンク先はすべて、鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日是つるみ～のページを活用する

## ①、情報ボード（自治会掲示板）

- ・情報ボード（まちしるべ）ごとにリンク先ページを作成
- ・掲載項目：道の名前、名前の由来、歴史的背景、当プロジェクトの説明、追加ページへのリンク（あれば）等の基本的な概要情報に加え、まちしるべに載せきれない情報を補完的に掲載
- ・基本は親ページからリンクを設け、「商店街お得情報」等、最新情報を更新。ただしワンドラリーなどイベント利用時に、利用者がすぐ情報にアクセスする必要がある場合は、短期間のみ親ページを更新するなど柔軟に対応する

## ②、大型案内板（駅前）

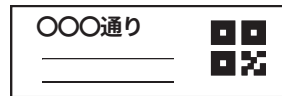
- ・まちしるべの全体図をそのままデジタル化し、WEB上で確認できるようにする（回遊性の向上につながる）

## 地域活性化のための使い方案

- ・豊岡小学校生活科・総合的学習等時間に学んだ地域の魅力を子ども目線で発信
- ・子育て世代、いきいきシニアなどのニーズに応じた散策ルートを提供
- ・掲示板を使ったウォークラリー企画など、イベント的活用（駅前広場でのイベントとの連携も）
- ・商店街の商店と提携し、週替わりクーポンなどを掲載



10月25日開催の「ハロウィン」を設け、子ども目線で地域の魅力を発信する。この機会に、子ども目線で地域の魅力を発信する。



読み込み！

親ページ  
※情報ボードごとに  
目次ページを作成

例①

イベント時の追加  
ページ

例②

商店街のお店紹介  
ページ

※ページ構成イメージ。基本情報は親ページに集約し、最新情報や、短期間のみ必要な情報等は追加で更新していくイメージ（親ページの更新も状況に応じて実施していく）

【豊岡商店街お店紹介・豊岡小学校5年4組調べ】毎日たくさんの大事な郵便物や宅配便を扱っている郵便局

お店 まとめ 学び  
2025/10/24

投稿者 豊岡小学校5年4組

タグ #豊岡郵便局 #豊岡小学校5年4組 #店紹介 #豊岡小学校 #豊岡町 #豊岡商店街

※このページは、豊岡小学校5年4組（2025年度）の児童が調査・取材した豊岡商店街周辺のお店紹介のページです。掲載情報は2025年10月時点での内容となりますのでご了承ください

（写真上・右）二次元コード先の実際のWebページ（実際に今回のまち普請事業に合わせ、豊岡小学校児童が商店街店舗取材して紹介したもの）

<郵便局>



毎日たくさんの大事な郵便物や宅配便を扱っている郵便局。豊岡通りの郵便局には、笑顔が素敵な方がたくさん働いています。

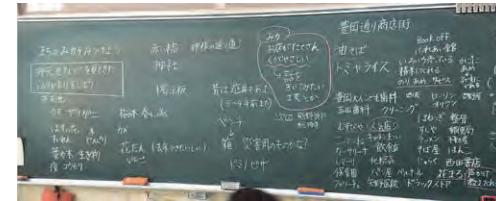
その中の鈴木さんは、お客様と直接話せることが楽しみだそうです。豊岡通りの皆さんに対して、かけがえのない大切な人々と話していました。みんなが幸せになれるようにという思いで働いているそうです。

おだやかに話してくださった鈴木さん。「これからもどんどん来ててください！」だそうです。

# 豊岡小学校の取組

まち普請事業の取組に合わせた豊岡小学校の取組／5年4組板橋級 総合的な学習の時間「まちの魅力を見つけよう！創り出そう！」

## ①、9月上旬～中旬 豊岡のまちを歩いてみよう



「たくさんの魅力が見つかったね。」「やっぱり豊岡のまちの一番とったら商店街だね」

## ②、9月中旬～10月上旬 子どもたちが豊岡商店街のお店にインタビュー依頼

## ③、10月上旬 インタビューと記事にまとめる



「みんなとっても優しくかった」「どのお店もまちの人のことを考えてくれているね」「こだわりをもって売っていることが分かった。」「また行きたい」「たくさんの人に知ってほしいな」「店の良さを記事にしよう」

## ④、10月25日 豊岡ハロウィンで商店街の魅力の記事を掲示板で発信

自分たちが調べたことをたくさんの人に知ってもらってうれしい

## ⑤、10月25日 ふれあい給食で地域の方に豊岡商店街の魅力を伝える

## ⑥、11月20日 木佐美会長に発表 その後「まち普請」とみちの名前のことについてのお話を聞く



「道の名前をつけるって楽しそう」「道に名前を付けると確かに便利だね」「木佐美会長の言うように、もっとすみよいまちになりそう」「森永工場の近くはいい匂いだから、佃野の通りはチョコレート通り」「歴史とか自然とかに関係しているんじゃないかな」「調べてみたいな」

## ⑦、11月下旬 道の名前はどのように付けられているのかを調べる

今後の予定

・道の名前の付け方を知る

・道の近くの歴史や自然、文化を知る（道の近くに住んでいる人にヒアリングをする）

・道の名前を考える（鶴見区西口活性化委員の皆さんにも協力していただく）

・道の名前を提案し、全校児童、教職員、保護者や地域の方にご意見を聞く（アンケートをとる）

・各自治会に伝えてご意見をいただく

・鶴見区西口活性化委員会の皆さんにプレゼンをする

## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 鶴見西口活性化委員会	
事前質問	回答欄
植松委員	
① 「これつる」とはどんな団体でしょうか。	正式名称は「鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日是つるみ～」。鶴見区に特化した形の地域情報を発信するサイト（WEBメディア）です。まちの中にあるが行き届かない情報を流通させることで、地域活性化を目指すとともに、顔の見える関係づくりのためにイベント開催も行うなど、人と人、人と情報を結ぶ、オンライン・オフライン両軸の活動をしている企業です。地域情報紙の鶴見区版担当を15年務めた人間が編集等を行っています。
② 書類を拝読し、今日までよく色々と活動して来られ、掲示板の下を活用されるなど課題解決に注力されたな、との印象を持ちました。そこでお尋ねします。様々なサイン、デジタルサイネージなど、現在周辺に住んでいらっしゃる方々への防災面を含めた注意喚起の機能と、観光や所用など町の外から町に入って来られる来街者の方への案内の機能との住み分けについては、どのように検討されましたか。	私たちの目的は、地域住民がより愛着を持ち、安全便利に生活でき、まちが活性化することです。掲示板への情報はもちろん、大型案内板やデジタルサイネージへの情報も主に地域住民へ向けたものですが、結果として来街者の両方に対してもメリットのあるものになると考えています。
小川委員	
① それぞれの看板の情報更新頻度はどれくらいになりますか。	以下現時点想定として ＜情報ボード＞ ① 二次元コードのリンク先 ・ 近隣施設情報：月1回 ・ イベント利用時：不定期

	<p>② 掲示する子どもたちの作品：3か月ごとに貼替</p> <p>&lt;大型案内板&gt;</p> <p>① 二次元コードのリンク先</p> <p>・イベント情報等：月1回</p> <p>&lt;デジタルサイネージ&gt;</p> <p>① イベント情報、区・市政情報：月1回</p> <p>② 四季に応じたルート紹介等：3か月ごと</p>
② 今後の運営資金となる、デジタルサイネージの広告収入の見込みは年間どれくらいですか。	<p>月額必要経費⇒光熱費・情報更新作業費等＝5万円程度（年間約60万円）</p> <p>月額収入（想定）⇒1社2～3万円×3＝6～9万（年間約70～110万円）</p> <p>余剰分は各掲示板のメンテナンス費用などのために積み立て。</p> <p>現在、地元企業と交渉中。</p>
川原委員	
① 小学生イラストは一度設置したら変わらないのでしょうか。毎年の学校活動と連動して等、付け替えられるものなのでしょうか。	<p>3か月ごとに貼り替える予定です。子どもたちは、図工で年間たくさんの作品を作製します。その作品をできれば、季節ごとに変えて、たくさんの子どもたちの絵で、まちを彩るとともに子どもたちの自信につなげていきます。</p>
② 地図の向き（北が上）などのルールは整理されていますか。設置して場所で見ている方向を向こう側に倒せば、実際の空間と揃うのか（わかりやすいはず）、必ず北が上とするか、などです。 地図の向きが変わると一般的には人は迷いますので。	<p>地図の向きは実際の空間と揃うように作成していきます。大型案内板（2箇所）はどちらも同じ向き（西向き）に設置されることから、西が上となる地図を作成予定です。案内板と見ている方向は同じになりますので、例えば地図上で總持寺は左側にありますが、実際も左へ進めば總持寺へと進めます。</p>
③ 地図に表示する優先度として、町名エリアが第一か、通りが第一かというのを教えてください。 その意図は、地図が町ごとに色分けされているのは良いですが、歩く側から	<p>通りが第一と考えています。提出資料は7町会ごとに色分けしましたが、見直して主要な道と主要な交差点で色分けをし、3つのブロックに見直します。</p>



すると、町の骨格を表すような、主要な道と主要な交差点が際立つマップデザインの方が良いとも感じるからです。それが道の名前や道しるべサインとも連動していると思います。	
國廣委員	
質問なし	
後藤委員	
① 看板に掲載する地図のベースマップはどのようなものを想定されていますか。(地理院地図のような正確な地図なのか、イラストをベースにした地図なのか、それ以外なのか)	大型案内板は、イラストをベースにした地図にしていきます。製作者は、鶴見区内で15年間発行している地域新聞「ひびきあい」のイラスト担当者へ依頼しています。
② 「デザインは地域の学生の協力を得て作成」とありますが、具体的にはどういった学生さんなのでしょうか。デザインを専門としている学生さんなのでしょうか。	情報ボードのデザインは、鶴見区内にあり、豊岡商店街とも連携している橘学苑デザイン美術コースの高校生に依頼しています。橘学苑美術コースは、卒業生の3分の2が東京の五美術大学(武蔵野美術大学・多摩美術大学・東京造形大学・日本大学芸術学部・女子美術大学)を含む四年制大学へ進学している実力校です。発表したい作品が多数あるとの話から、情報ボード設置後はボードを高校生の作品の発表の場としても活用してもらう話も進んでいます。
鳥海委員	
① 地域内の普段使いの掲示板が「まちしるべ」で繋がる素敵なアイデアだと思います。デジタルサイネージの広告費としての収入はどれくらいのものを想定していますか。また、デジタルサイネージで流す地域情報と企業広告の割合はどのように考えていますか。	<p>月額必要経費⇒光熱費・情報更新作業費等＝5万円程度(年間約60万円)</p> <p>月額収入(想定)⇒1社2～3万円×3＝6～9万(年間約70～110万円)</p> <p>余剰分は各掲示板のメンテナンス費用などのために積み立て。</p> <p>デジタルサイネージの情報は、各情報ボードの活用情報(四季に応じたルート紹介等)、地域のイベント情報、区政・市政情報等の地域情報をメインに、企業広告は最大でも25%以内におさえる想定です。</p>

<p>② デジタルサイネージの情報は一般的に広告含め刻々と変わるものであり、常に定位置にあるマップと違って確実に情報をとるツールになるのは難しいのではないのでしょうか。あえてまち普請の整備内容としてデジタルサイネージをいれた意図をもう一度教えてください。</p>	<p>デジタルサイネージを取り入れた意図は、マップを含め、まちの情報を最新の情報に更新していきたいからです。</p> <p>大型案内板のマップは、貼り替えない限り情報更新ができません。ですが、デジタルサイネージなら容易に更新できますし、同じ場所の複数の情報を提供すること（複数のマップを提供すること）もできます。</p> <p>マップは作りっぱなしではもったいなく、アップデートすることでより生きてきます。</p> <p>変わらない情報（通り名や施設、情報ボードの位置など）は大型案内板に任せ、デジタルサイネージでは、季節に応じたおすすめルートや世代に応じたまちの楽しみ方など、その時のおすすめ情報を伝えていきます。</p>
<p>③ 昭和坂、幸運坂、どんぐりころころ坂、万葉句吟坂、諏訪坂、子生坂…etc、鶴見西口の WEB 上の地図では名前がついている坂が多く見受けられますが、この地名は現在も日常使いとして伝承されているものですか。子どもたちが通りに愛称をつける箇所は、名前のなかった通りに新しくつける形か、上書きする形のどちらですか。</p>	<p>歴史的背景があり、親しまれている名称については残しながら、馴染みのない名称の通りや名前のない通りについては、子どもたちと一緒に地域全体で新しい名前を考えていきます。</p>
<p>④ 名前は馴染めば街の歴史になるので、思い付きの名前にせず、じっくり住民で熟考する時間が必要だと思います。投票は誰にどのような形でよびかけますか。投票率をあげるための工夫があったら教えてください。</p>	<p>現在、豊岡小学校で2つの道について通り名を検討中です。児童が、地域住民などにインタビューを通し、言い伝えや歴史を調査し、将来に残せる名称を考えています。</p> <p>この取組を参考に、地区の子どもから大人までからアイデアを募りつつ、投票形式ではなく、地域の人たちで構成された選考委員会を組織し、じっくりと決定していきます。</p>
<p>⑤ 地図に載せる病院・金融機関はこの地区にあるすべてですか。もし抜粋して</p>	<p>地図に病院、金融機関は載せません。載せたいと考えているものは、通り名と、主な</p>

掲載している場合はどのような基準で地図に掲載するか教えてください。	公共施設（鶴見公会堂、わっくんひろば、ハーモニーとよおか）、歴史的建造物（總持寺、熊野神社）、学校（鶴見大学、豊岡小学校）、商店街（豊岡、レアールつくの、三角大通り）、おすすめ施設（森永工場）、公園（佃野、三ツ池、花月園）、自然（鶴見川、弁天池）などです。
肥後委員	
① それぞれの案内板の役割がはっきりしてきたと感じますが、掲示板情報ボードは情報過多、大型案内板は情報が少ないように見えています。さらなる工夫は考えられますか。	大型案内板は、イラスト化していきます。実際に見える向きでわかりやすく作っていきます。施設や見どころも、イラストで地図内に配置していく予定です。 情報ボードは必要な情報を絞り込み、ブラッシュアップしていきます。橘学苑美術コースの学生の皆さんに新たにデザインしてもらっています。
② デジタルサイネージでは、どのような内容を見せますか。周辺に広告等が多く、煩雑になりませんか。	デジタルサイネージの情報は、各情報ボードの活用情報（四季に応じたルート紹介等）、地域のイベント情報、区政・市政情報等の地域情報をメインに、企業広告は最大でも 25%以内におさえ、煩雑にならないように留意します。
③ マップとさまざまな活動がリンクする工夫を考えていますか。（すでに活動しているグループとの連携など）	・これつると豊岡小学校との連携 取材や記事の書き方について出前授業を行い、子供たちがまとめた地域の取材内容を情報ボードに盛り込む二次元コードのリンク先（これつるページ）に掲載します。 ・豊岡地区連合会によるハロウィンラリーの際に情報ボードを活用します。 ・鶴見駅西口広場でのイベント時、情報ボードを活用したスタンプラリー企画を実施します。
④ 大型案内板はビジュアルが重要になると思いますが、鶴見駅西口・豊岡地区それぞれの魅力を表現するためにどんな要素が考えられますか？ 歴史・賑わい・情緒・多世代・多国籍・	鶴見駅西口は、羽田から 20 分、東京から 30 分、横浜から 10 分という利便性がありながら、ここで生活する人の気配が感じられる情緒あふれるところです。 豊岡地区には、歴史のある大本山總持寺や

<p>自然・利便性など</p>	<p>熊野神社、弁天池があります。また、3つの商店街にも恵まれ、TVの撮影などに使われるレトロな街並みを味わうこともできます。また、駅から徒歩10分ほどで鶴見川に出ることができ、親水テラスとなっていてホッとひと息つけます。隣接する佃野公園からは春、対岸の桜を満喫することもできます。</p> <p>小一時間で、歴史、賑わい、自然に触れ合える散策ができるところが最大の魅力だと思います。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① ハロウィンの取り組みにより、掲示板が継続利用される効果を確認できたがありますが、具体的にはどのような効果ですか。</p>	<p>子どもや大人が立ち止まり、二次元コードを読み込む姿が見られたので、ここに情報があることを周知していくことで継続的に利用される可能性を感じました。また、改めて町会掲示板に注目している様子もあり、まちの情報源としての認知を向上させる効果も期待できます。</p>
<p>② アナログとデジタルの融合で、Webを組み合わせると説明がありますが、ウェブサイトは別に制作する(した)のでしょうか。</p>	<p>WEBサイトは、経費削減と作業効率化等のため、既存で鶴見区の情報を発信している鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日是つるみ～の中にページを作って発信していきますので、別に制作はしません。</p>
<p>③ Webの維持管理は、誰が担当し、どのように情報を集めて、どのくらいの頻度で更新する予定ですか。</p>	<p>WEBの維持管理は、地域情報を発信している鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日是つるみ～が担当します。</p> <p>頻度は以下を想定しています。</p> <p>&lt;情報ボード&gt;</p> <p>二次元コードのリンク先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設情報：月1回</li> <li>・イベント利用時：不定期</li> </ul> <p>&lt;大型案内板&gt;</p> <p>二次元コードのリンク先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント情報等：月1回</li> </ul>

	<p>&lt;デジタルサイネージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント情報、区・市政情報：月 1 回</li> <li>・ 四季に応じたルート紹介等：3 か月ごと</li> </ul>
④ 各情報ボードの QR コードを読み込むと、特定のサイトに飛ぶのですか？ボードごとに飛ぶページに違いがあるのですか。	<p>二次元コードのリンク先はすべて鶴見区特化型ポータルサイトこれつる～日日是つるみ～内に設定する豊岡まち普請アカウントによるページになります。</p> <p>リンク先となるページはボードごとに異なる予定ですが、共通ページも作り、さまざまな情報が入手できるように作成します。</p>
⑤ 現状で、クーポン発行に協力してくれるお店は、何店舗くらいありますか。	<p>豊岡地区内 3 商店街でおおよそ約 150 店舗あり、そのうち 50 店舗ほど協力の見込みです。</p>





# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

注1）2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2）2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	生麦事件参考館リユースプロジェクト
整備場所（町名又は丁目まで記入）	鶴見区 生麦1丁目
提案名 (25字以内)	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 （具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください） ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>4月から参考館をプレオープンし、今日までに43回996名（1回平均約23名）が来館しました。来館者の声やこれまでに気づいたことを踏まえて提案をします。</p> <p><b>(1)建物の外回り…誰もが気軽に立ち寄りやすい施設</b> バルコニー改修（雨漏り防止）破損タイル交換・段差解消（来館者の安全） 出入口扉交換 掲示板新設（地域交流）防犯カメラ・インターホン新設（母屋活用にともない居住者の防犯、安全保障の必要が増したため）建物全体の必要な補修（地域の要望で外観は保持）</p> <p><b>(2)展示室…見やすく、わかりやすく、安心して観ることができる施設</b> 照明増設・ピクチャーレール新設（展示効果）壁面・天井・床クロス貼替（経年劣化）ビデオモニター新設（説明効果）展示ケース（貴重資料保管）</p> <p><b>(3)母屋…多文化共生・多世代交流の施設</b> 段差解消 ピクチャーレール取付（特別展・地域作品展） 壁面交換（小学生総合学習や多人数団体に説明映像を大写しする際に必要。スクリーン代わりにできる材質使用）プロジェクター新設（講座等の対応）</p> <p><b>(4)中庭…地域に開かれた参考館の＜窓＞</b> 街角ギャラリー新設（所有者駐車場との仕切りとしても使う）誰もが気軽に集い交流する、人と人・人とまちがつながる場所に整備（花壇撤去し更地化） ※母屋・中庭整備は出来る限りDIYで行ない費用抑えました。</p>
施設の活用・活動内容 （具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください） ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>「生麦事件」を語り継ぐだけではなく、子どもから大人まで参考館では『知りたいことが分かる』『やってみたいことが出来る』という《新しい居場所》となる様に地域の皆さんと力を合わせていきます。</p> <p><b>(1)子どもの“学びたい”“挑戦したい”“楽しみたい”に応える</b> ◇子どもたちが日頃の学習成果を思いっきり発表できる施設として「参考館」を活用していきます。「事件を落語にして語る」「紙芝居にする」など多様化する発表スタイルに対応できるようにします。 ◇参考館の前を散歩コースにしている近隣の保育園に、園児の作品発表の場や小さな花壇があることをお知らせして、定期的な発表や草花の水やりができないか話しをしています。 ◇法政大学国際高校生徒会では、参考館入口の看板をつくり、展示資料の一部手直をしています。12月13日(土)には今後の打合せをします。次世代育成につなげられるようこの関係を大切に育てます。</p>

	<p>(2)大人の“やりたい”“きっかけが欲しい”“おしゃべりしたい”に応える やりたいことがあっても、きっかけがなく悩んでいる大人（特に高齢）が地域にはたくさんいます。誰もが気軽に挑戦し、交流する場として参考館を活用していきます。</p> <p>(3)来館者の学びの入口、地域の良さを再発見する場所として活用する ◇資料を整理してわかりやすく、照明をもっと見やすく改善➡開港資料館や県立博物館の専門家を呼んでアドバイスを受けています。デザイナーと協力して展示物の見せ方も検討しています。落語家や講師とも連携をして「事件を分かりやすく語る」工夫もしています。 ※プロジェクトでは「小学生にわかる説明」「背景・展開・影響と時間を追った展示」「資料の整理」についてスケジュールを作成し、取り組みを始めています。</p> <p>(4)母屋を多文化共生・多世代交流の場、様々なアイディアを活かす場に ◇事務局は参考館2階に移し母屋にある「酒の博物館」も公開可能に。➡母屋を様々なアイディアを活かす場として活用し、「歴史好き」だけではなく、地域の誰もが集まりやすい場所にして行きます。 ※特別展の開催、小学生の創作活動発表、地域の絵画・書道・写真展、写経体験・カウンセリング、古文書教室など様々なアイディアを今後実践していきます。</p> <p>(5)母屋軒下や中庭は地域と参考館を結び付ける大切な窓口 道路から良く見え、顔見知りがいればすぐ輪に溶け込むことができる場所。祭りの休憩所にするだけではなく、開館日にはいつでも、気軽に休憩して色々な人と交流できるように準備を進めます。 ※近隣の神社では、毎週決まった時間に高齢者が集まり、いろいろな話しをして一時を過ごして解散という集まりが続いています。新しい“居場所”としてここも活用されるように工夫をしていきます。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>(1)地域の状況 小学校では総合学習の成果を発表する機会を求めています。生麦の歴史を語り継ぎたいと出前授業を続けている自治会役員、自主的に勉強している団体もあります。ボランティア活動の機会を求めている高齢者もいます。参考館の再開館でそれらのニーズに応えます。</p> <p>(2)参考館がつなぐ地域の人材 プレオープンしたことで「通訳が必要な時はいつでも声を」「ガイドをしていた」「照明の知識がある」など具体的に協力の内容を伝えてくる人も出て来ています。この人たちとの協働を大切に育てていきます。</p> <p>(3)イベントや伝統的祭りが盛んな生麦 若い商店主を中心に「生麦事件」をテーマとしたイベントが行われ、地域の小学生も多数参加しています。誰もが参加して楽しめるイベントを通じて「生麦事件」を知ってもらうことも大切です。歴史的意義のある事件を地域のイベントなどとも関わって語り継いでいきます。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源<sup>注4)</sup>、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>鶴見区制100周年のプレ企画として来年10月を再開館の時期と考えています。</p> <p>(1)展示室整理 12月中に資料所有者と開港資料館館長が打合せを行ない、来年1月から資料館の協力で資料整理をします。資料の大きさは計測済みでデザイナーのプランを参考に展示計画を3月中に作成します。</p> <p>(2)母屋と中庭の整備 母屋にできた4畳半のスペース。そこでは小学生が生麦事件の嚆を出来るような「高座」を地域の有志とDIYで準備しています。来年6月の「蛇も蚊も」にももっと整備した休憩所を提供できるようにベンチなどを作る仲間を募集しています。なお、入口の看板などは法政国際生徒会でアイディアをだし作らせて欲しいと申し出がありました。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運</p>	<p>(1)維持管理・運営 現在の事務局メンバー（9名）が運営の主体になります。プロジェクトメンバーは総務（日程管理・事務処理・予約受付）、会計（〃監査）、広報（HP管理）資料整理、地域担当（学校対応）、ガイド班（館内外）の各班に特技・関心を活かして参加しています。また、ボランティアとしてDIYやガイドに関わってくれる人が6名おり、今後さらにボランティアを募りま</p>

営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	<p>す。地域の他のサークルなどとも連携します。</p> <p>(2)運営費用 入館料を徴収する(大人300円を基準に設定 酒の博物館もあわせて500円も検討 子どもは100円但し小学校の授業は無料) 販売収入(資料・土産) イベント参加費 協賛金(企業・商店・個人 予定リストあり)</p> <p>(3)人件費 ボランティアは有償(@半日500円→1日1000円 開館日は3人配置)</p> <p>(4)広報 ブログに代わりHP「生麦便り」を準備 *大佛次郎記念館で講演依頼、アメリカ・イギリス・インドなどからの来館者も来るようになったのも広報の成果➡案内資料(英語訳)・通訳ボランティアも「多文化共生」の時代にふさわしく地域で確保済み</p>
--	---

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

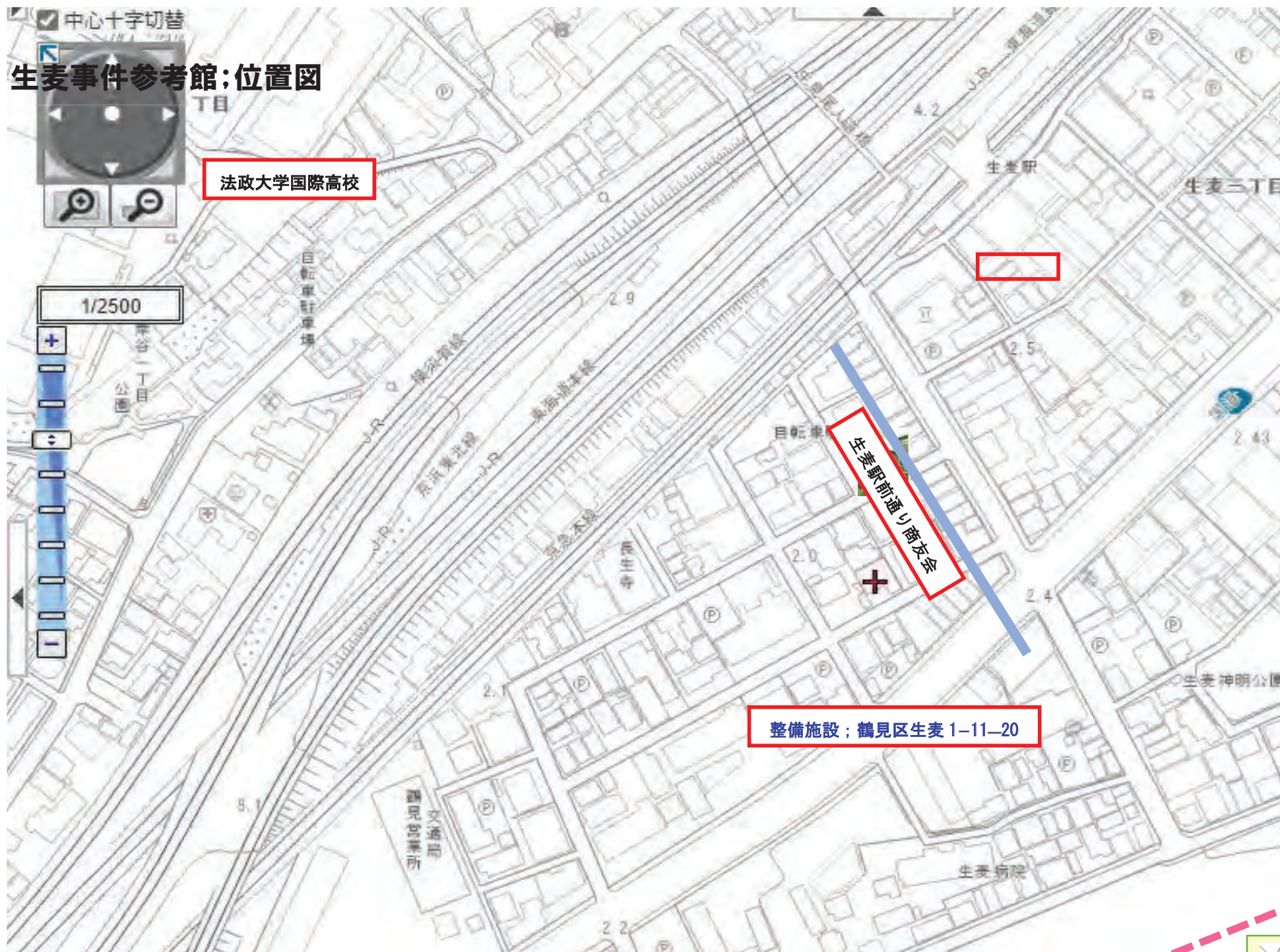
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

1 次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料(任意様式)に記入してください	<p>(1)プレオープン 8~11月26回578名 平日; 6団体118名・小学生4回256名</p> <p>(2)地域との協働 小・中学校訪問・打合せ(3校) イベント参加(三ツ池・總持寺・生麦地区センター) 講座への講師派遣 ボランティアガイド養成講座4回(11名修了) 地元高校生と協働(宣伝・キャプションづくり)</p> <p>(3)広報 タウンニュース プレオープンのチラシ(2000枚)を地域のイベントや会合で配布 ブログ発信(米・英・印からの来館者も)</p> <p>(4)プロジェクト諸会議 オブザーバー会員が毎回複数で参加</p>
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	<p>(1)参考館所有者 土地・建物使用承諾書を受領済み。展示方法、資料整理についても積極的な助言を受けました。</p> <p>(2)近隣住民 11月22日(土)・23日(日)に近隣の8軒を訪問し2軒が両日とも不在。挨拶文・プレオープンチラシ・タウンニュース(鶴見区版)・入館者配布資料をファイルして手渡す。「頑張ってください」と好意的反応でした。</p> <p>(3)自治会 11月25日(火)生麦第2自治連合会会長会で説明。併せてチラシの掲示・回覧を依頼。23日(日)の小学生の活動に賞賛の声。</p> <p>(4)学校関係 新学期早々の学校訪問で参考館再開館について懇談。既に総合学習で何年も前から生麦を取り上げていることがわかりました。8月21日(木)、11月23日(日)各校の校長・教職員が参考館に集まり懇談。生麦中学PTA広報誌に生麦関係の記事掲載。</p>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	<p>(1)文化の違いがもとで紛争が絶えない今日。異文化との接し方を考えさせる生麦事件を語り継ぐことは重要。参考館の果たす役割も益々大きくなります。 *「生麦事件講座」の講師を何時でも何処にでも派遣します</p> <p>(2)参考館のプレオープン後、研究者・技術者など地域の人材に次々と出会いました。また、定点ガイド・語り部ボランティア・館内ガイドなど地域からは「何時から始めるのか」という問い合わせが相次いでいます。</p>
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	<p>参考館を毎月開館し、人と人が出合い、集う&lt;場所&gt;を提供してきました。</p> <p>(1)「通訳、3ヶ国語はOK…」、「以前やっていたガイドの仕事やりたい…」「資料保存の研究を専門にしているが協力したい…」など色々な特技を持った人たちとこの間に会うことができました。&lt;場所&gt;があるから人は集まる!</p> <p>(2)「生麦de事件DA」のリング上から「私たちは生麦が好きです」と叫んだ小学生、生徒会として地域に取組む高校生。確実に次世代の後継者になる“芽”が育っています。大きく育てるのは大人の義務!</p> <p>(3)年齢・国籍・居住歴を問わず、多様な人々がつながり、支え合い「いつでも住み続けたいまち生麦」の実現を私たちは目指しています。 参考館と母屋を整備することで、この生麦のまちづくりにもっともっと貢献できると考えています。</p>

次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

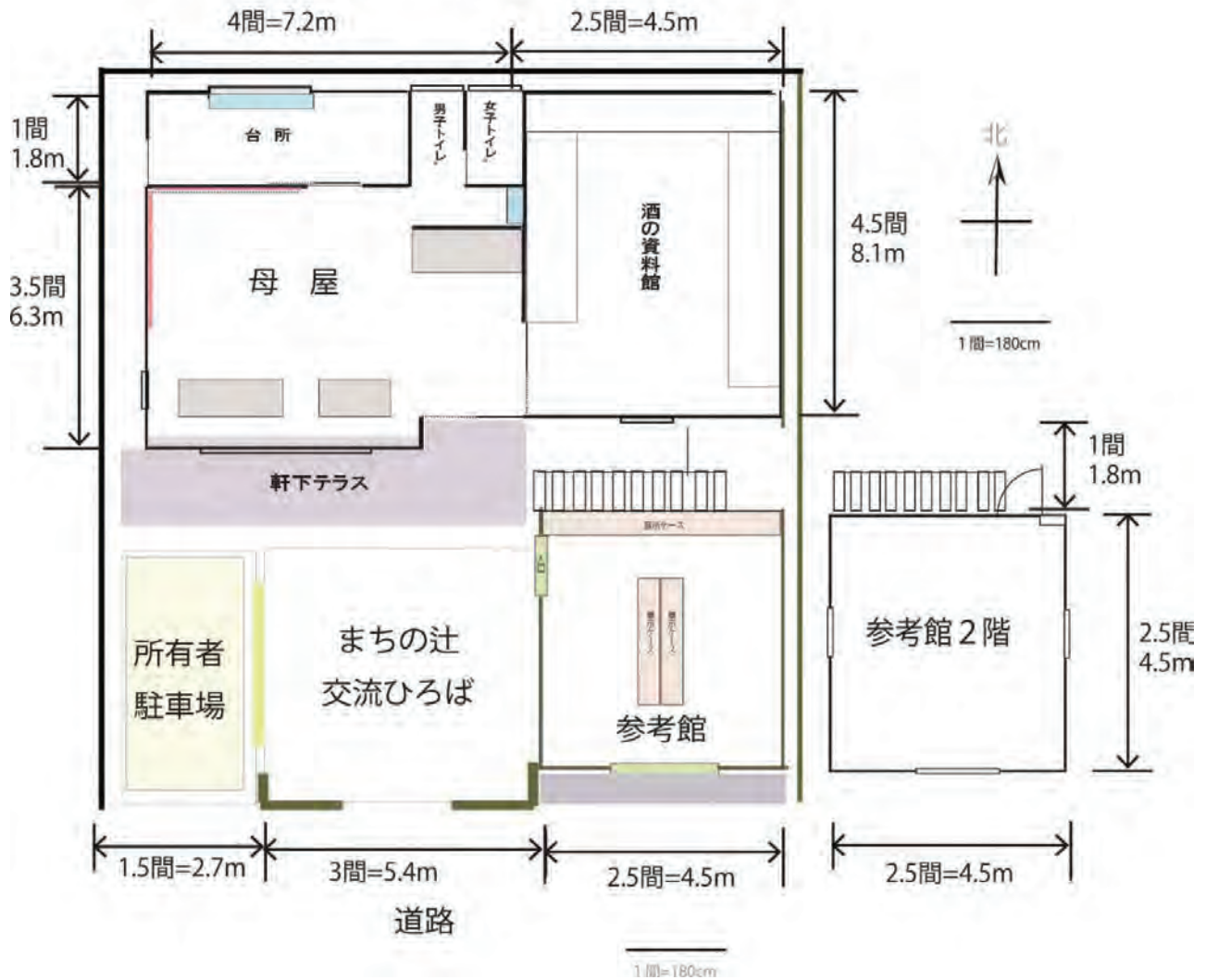
- ☒ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第2次提案書(その他添付の公開資料)に個人情報はありません。







生麦事件参考館及び母家平面図





## 活用イメージ

### 母屋1階 学び・集い・交流の場

スタッフ会議・講座・地域交流談話・トイレ  
体験コーナー（写経・カウンセリングなど）・落語会  
地元小学校総合学習発表会  
壁面／企画展示（郷土史・生麦よもやま・ゆかりの人物展）



岸谷小児童総合学習教室  
参考館で「生麦」を学ぶ

### 軒下テラス・前庭・まちの辻

イベント広場・地域交流・子どもワークショップ  
駐車場塀フェンス／まちかどギャラリーとして活用  
（小学生の作品・地域紹介パネル展示）



軒下ステージ／児童学習発表  
庭／バリアフリーにしてベンチを置く



境界フェンス／まちかどギャラリー



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
参考館外部改修工事	バルコニー撤去・支柱交換・掲示板新設・正面タイル貼替・スロープ新設	一式		1,400,000	
参考館内部改修工事	天井・壁・床面貼替ピクチャーレール取付・ビデオモニター新設	一式		2,300,000	
母屋内装工事	ピクチャーレール・壁貼替・プロジェクター新設	一式		300,000	
各所ドア改修工事	展示室2ヵ所ガラス入れ替え	2ヵ所		150,000	
中庭工事	花壇撤去・整地・駐車部分仕切り・スロープ新設	一式		400,000	
電気設備工事	展示室照明器具交換・空調機移動	一式		400,000	
諸経費	資材運搬費含む			200,000	
合 計				5,150,000	



# 1次コンテスト以降の活動内容・実績

## プレ・オープン実績（7月～11月）

一次コンテスト後も週末のプレオープンを継続し、学校や地域と連携しながら、持続可能な運営体制の構築に一つひとつ取り組んできました。こうした地道な活動の積み重ねに対し、地域内外、時には国外からも関心を寄せていただいています。

月	来館者数	書籍売上	協力金	開館数
7月	56	3,200	7,600	2
8月	62	3,000	6,601	5
9月	69	600	1,603	7
10月	201	5,700	9,000	10
11月	246	1,800	4,013	6
合計	634	14,300	28,817	30

※ 11月は23日時点での記録（開館数も7回を予定）

## 主な活動内容



### 学校連携による地域学習の場作り

学校連携

次世代育成

- ・ 7/29 岸谷小学校教員との連携打合せ（総合学習）
- ・ 9/12,14 岸谷小学校4年生 受け入れ（計29名）
- ・ 10/2 岸谷小学校にて6年生向け出張授業を実施（60名）
- ・ 10/14 岸谷小学校6年生 施設見学受け入れ（56名）
- ・ 11/14 岸谷小学校4年生 受け入れ（30名）
- ・ 法政国際高校生徒会と連携（チラシ・Map作成協力）

単なる見学に留まらず、総合学習の時間に組み込まれ、地域の歴史を肌で感じながら学ぶ、体験の場として定着が進みました。



### 企業・団体ツアーの受入体制の整備

広域連携

観光

- ・ 10/7東京パナソニック 施設見学受け入れ（31名）
- ・ その他明治の会、令和会、都筑後援会などの団体受入

個人利用とは異なる、企業や団体の見学などの大人数を円滑に受け入れられるよう、動線や案内手法、体制について試行錯誤を重ねながら整えてきました。



### 担い手の育成と賑わいの創出

地域連携

運営基盤

- ・ 10月～ガイド養成講座の開始（継続開催中）
- ・ 11/23生麦マルシェ連携（1日で約150名超の来場）

地域の活動に自ら関わりたいという声もあり、ガイド養成を通じて運営を支える人を増やしています。また、マルシェなど多世代が集う場には毎回多くの方が訪れ、「地域に開かれた場」としての認知も広がってきています。



## 小学生が参考館で総合学習！



### 講師は町内会長

◀母屋で生麦事件を学ぶ岸谷小児童。プロジェクターとスクリーン持参で講師を務める岸谷第四町会の木須会長。  
⇒まち普請でプロジェクターとスクリーンを設置したい。



◀写真や資料をみながら生麦事件について学ぶ。室内が少し暗いので資料がよく見えない。  
⇒まち普請で照明を取り換え明るくしたい。



◀参考館は25名位で満員になるので、2班に分かれて見学。軒下テラスで生麦の歴史について、まちの人から説明を聞いた。  
花壇の段差を解消して庭を有効に使いたい。



### 軒下テラスで学習発表

◀生麦 de 事件 DA!! 当日、参考館は、イベント会場で学習発表をする6年生の荷物預かり所と4年生のパネルセッション会場として協力。軒下テラスで創作劇も上演。  
⇒通りがかりの人たちも足を止めて拍手喝さい!!  
◀「まちの辻」が実現!



11月23日は小学生とその家族が約120人、一般来館者も30人以上で大入り満員の1日だった!



※花壇を撤去して庭をバリアフリーにして、ゆっくり安全に見学できるようにしたい!

## 高校生も「協力します!」



▲法政国際高校生徒会と連携/軒下テラスで打合せ。チラシや生麦事件関連 map などの作成協力の申し出を受けた。  
⇒まち普請で「まちかど掲示板」を設置して情報発信を促進する

## ボランティア養成講座開催!



▲13名受講/1月から史跡案内をお願いします!



▲インドネシアからの来訪者語学堪能な養成講座受講者が早速対応された



東京から来訪の歴史愛好家たち



8月21日 生麦事件の日に臨時開館/生麦地区センターと講演会「語り継がれてきた生麦事件」を共催。事件碑前での慰霊祭参加者たちなど38名来館。  
寄付金贈呈式も行った。

## 再開を待ち望んでいたまちの声!

- ※地元小中学校長との話し合いを実施  
⇒岸谷小学校4年生と6年生が参考館で総合学習実現
- ※車いす利用者や視覚障がい者の来館も多かった  
⇒安全に見学できるように、まち普請でバリアフリー化したい。  
⇒点字解説や壁面モニターによる音声解説も充実させたい。
- ブレオープンしていると聞いて飛んできました!
- 館長さんがなくなった後、軒下は物置状態だったので、どうなるのかと心配していました。再開してくれてありがとう。地元の人間としてとてもうれしい。感謝してます。
- 市民有志が再開するなんて、凄いいことですね。応援します。
- 参考館は近隣保育園のお散歩コースになっていることが分かった  
⇒まち普請で、駐車場との仕切りの壁を子どもたちの絵などの作品を展示するギャラリーにして、親たちが参考館に立ち寄るきっかけを作りたい。



- ※小学生の感想
- 自分の家の近くにあるので、まちを大切にしたい。
- リチャードソンが亡くなっていたベットの写真がすごかった。
- 手紙とかを、わかりやすく、翻訳してあるとよかった。
- 亡くなった人(リチャードソン)写真が、びっくりした。
- 入口の床がメキメキいったからなおしてほしい。
- 大砲の弾が持てたからよかった。重かった。
- もうちょっと、家を修理したほうがいい。
- もうちょっと説明が書いてあるとよかった。
- 地図があってわかりやすかった。
- 歴史とかが学べるからよい。





生麦事件参考館リユースプロジェクト計画案					2026年1月～12月			
月	地域イベント	参考館	参考館企画展示	母屋	母屋壁面ギャラリー	庭・軒下テラス	まちかどギャラリー	その他
1月		プレオープン	展示A	事務局会議毎月1回		岸谷小学校・岸谷町内会と連携して随時		
2月						作品展示や学習発表に活用		
3月				岸谷小児童学習発表会				
4月			展示B		参考館資料仮展示			生麦史跡案内
5月		改修工事		落語会「生麦事件」	修復工事中	花壇撤去工事		大佛次郎研究発表会
6月	蛇も蚊も			ガイド養成講座		蛇も蚊も地域集合場所		グローバル社会における生麦事件
7月			展示C					
8月	生麦事件追悼祭			追悼祭参加者と交流				
9月								
10月			展示D	よもやま話の集い			(フェンス設置後)	生麦史跡案内
11月	生麦de事件DA!!	再開館常設展示			郷土史展／花月園遊園地	工事終了後	児童作品展示	
12月						地域交流・憩いの場		
1月			展示A	よもやま話の集い				
2月					区制100周年写真展A			
3月								
4月			展示B	よもやま話の集い				生麦史跡案内
5月								
6月	蛇も蚊も				区制100周年写真展B			
7月			展示C	よもやま話の集い				
8月	生麦事件追悼祭			追悼祭参加者と交流				
9月								
10月			展示D	よもやま話の集い	区制100周年写真展C			生麦史跡案内

2026/1	/2	/3	/4	/5	/6	/7	/8	/9	/10	/11	/12	2027/1	/2	/3	/4	/5	/6	/7	/8	/9	/10
第2土・日曜 プレオープン 10時～14時	2月～4月資料整理		5月／資料館・庭改修工事 着工ならびに施工管理				10月15日／竣工・開館準備 11月1日／再開館 毎週土曜・日曜・祝日 10時～14時				4月1日 鶴見区制100周年記念グランドオープン 毎週水曜・土曜・日曜・祝日10時～14時										
	～2月～10月第2・第4土・日曜 10時～14時 プレオープン→ 参考館工事中は母屋で資料仮展示										※3週間前までに連絡で開館日以外の見学可					再開館記念イベント講演会 母屋で区制100周年記念写真展					
	5月か6月 神奈川近代文学館 大佛次郎研究会研究発表会 「グローバル化社会における生麦事件」										【参考館】常設展（生麦事件関連）・特別展（3か月ごとに展示替え） 【母屋壁面】作品展（地域住民作品／絵画・書・写真・手芸品、児童生徒の作品 地域の文化や歴史を紹介する郷土史展）										
【母家・軒下テラス】岸谷小学校総合学習と発表／地元町会長と連携																					
【母屋】スタッフ会議・講演会・学習会・地元小学校の校外学習拠点、生麦よもやま話の集いなども開催し、地域多世代交流の場として活用 会員や地域住民の特技や専門知識を活用したカウンセリング・写経・パソコン教室、絵手紙教室など随時開催																					

収支予算案（年間） 2026年1月1日～12月31日		
収入	534000	
支出	534000	
残高	0	
収入		
項目	予算	備考
入館料	450000	500円×60日×15人
講座受講料	30000	500円×20人×3回
冊子売上	54000	300円×3冊×60日
合計	534000	
支出		
項目	予算	備考
事務用品	84000	コピー用紙、インク他
人件費	120000	1000円×2人×60日
印刷費	100000	チラシ、書類
通信費	60000	ネット回線、切手他
営繕費	90000	
予備費	80000	
合計	534000	

生麦事件リユースプロジェクト				
代表／石川建治	副代表／山崎省三	会計／山田光夫	監事／小池 旭	事務局長／酒井春雄
事務局（各部会代表で構成）				
総務部会	広報部会	資料部会	地域部会	ガイド部会
日程調整・事務連絡など総務全般。母屋改修などDIY作業に地域有志	チラシ、SNS、タウンニュース、Youテレビで情報発信	横浜開港資料館、大佛次郎記念館館長などの指導で整理中	地元小中学校、町内会・商店会、法政国際高生徒会などと連携協力	参考館ガイド、来館者対応。ボランティア養成講座の企画運営

#### 地域団体

生麦第一地区連合会、生麦第二地区連合会、岸谷第四自治会、生麦地区センター、東寺尾地域ケアプラザ、生麦地域ケアプラザ、生麦駅前通り商友会、岸谷商栄会、生麦第二地区保健活動推進員会

#### 文化団体

生麦事件碑顕彰会、蛇も蚊も保存会、生麦囃子保存会、鶴見田祭り保存会、鶴見区文化協会、鶴見みどころガイドの会、鶴見歴史の会・鶴見区老人クラブ連合会、鶴見ブラインドメイト「ワルツ」

#### 地域協力団体ネットワーク

#### 生麦事件参考館

#### 地域企業

横浜信用金庫生麦支店、東宝タクシー、You テレビ、御菓子司清月、ベルエポック

#### 教育機関

岸谷小学校、生麦小学校、生麦中学校、法政国際高校、横浜商科大学

## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 生麦事件参考館リユースプロジェクト	
事 前 質 問	回 答 欄
植松委員	
① プレオープンの活動を通して、ある程度の感触をつかんでいらっしゃることと思われて、ちょっと安心しております。展示物の整理を始められる、とのことで、実際には収蔵品の中からの月替わり展示や、今月はこの項目に絞った特別展示と解説、などの企画展も考えられると思いますが、その辺りの構想について教えてください。	<p>◎常設展は参考館で行います。「生麦事件」関連の資料を、背景・経過・影響の流れに沿って掲示します。展示資料でミニ講座も開設します。</p> <p>◎企画展も参考館で行います。「生麦事件」を多角的に捉え、伝えることができる資料を展示します。3ヶ月毎に展示替えを行います。</p> <p>◎特別展は母屋で行います。多様なテーマを取り上げ、3ヶ月毎に展示替えを行います。</p> <p>◎1月から開港資料館研究員と所蔵資料の整理を行い、展示・保管の区別や資料的価値の評価を進めています。</p> <p>◆各展示スケジュールおよび内容は、資料1、2参照</p>
② 近隣高校や小学校との連携は素晴らしいと思います。来館者を束ねて、実際の生麦事件の現場や、碑のある場所までを案内するツアーの実施などの体験的企画はどのようにして近隣地域へ周知されていますか。	<p>◎近隣地域の自治会・町内会、商店会及び地区センター・ケアプラザに、ポスター・チラシの掲示や回覧を依頼します。</p> <p>◎学校関係は、地域部会の担当者が訪問してPTAを含めた協力体制をつくり、企画の周知を図っています。</p> <p>◎区内向けには、参考館HPや「タウンニュース」「YOUテレビ」などで周知します。</p>
③ 実際に毎日詰める方、運営していく方の目途は立っているでしょうか。運営諸経費は賄えそうでしょうか。	<p>◎来館者の対応、内外の整備、イベントの手伝いなどにプロジェクトメンバー約20名が関わってきました。参考館の展示の解説を行う「語り部ボランティア」として11名が始動しています。再開館に向けての体制は整っています。</p> <p>◎運営諸経費は、入館料収入(300円)で賄うことができるという見通しを持っています。</p> <p>◆別紙資料3参照</p>
④ 「酒の資料館」を使用(公開)することの意義について教えてください。	◎生麦には居留地の外国人に人気の茶屋があり、ビールを楽しんでいた歴史もあります。来館者の多くは、生麦にあるキリンビール工場の見学も行なっています。「酒の資料館」公開は、事件との関わりだけでなく、地域活性化の点でも意義あることと考えます。
小川委員	
① 事務局メンバー9名に、世代の偏りはありますか。多くの世代の方が今後運営	◎事務局(60~70代)が中心となって参考館をプレオープンしたことによって大きな変化が生じています。来館をきっかけに、ボランティアを



<p>に関われるようにするための方策はありますか。</p>	<p>申し出る人が増えたことです。  ※常時ボランティアとして関わることが難しい現役世代の方からも「月に一度であれば、通訳対応できる」と具体的な協力の申し出を頂いています。  ◎多くの世代が運営に関われるようにするために、「できること、やりたいことがある人」が「それぞれの時間」に合わせて参加できるように柔軟な運営を心がけ、現在の＜つながり＞を広げていきます。  ◎高校生や若い商店主（地域イベントの中心）と若い世代の共感を得られるような情報発信を考えています。</p>
<p>② 「生麦 de 日曜マルシェ」「生麦 de 事件 DA!!」など地域イベント関係者と、日常的な連携を取れる体制はありますか。</p>	<p>◎地域部会の担当者が日常的に連携をとっています。  ◎休憩所・待機所として、地域のイベントの際には参考館母屋を提供するなど連携しています。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>① 「活用イメージ」資料にあるように、展示の構成が検討されていることを嬉しく思います。そこで、具体的に、どういう考え方で、展示が構成されているかがもう少し知りたいです。展示の順番、常設と企画展示の考え方、それらと活動との関連などです。</p>	<p>◎展示のポイントは、ここに来れば「生麦」の全てが解る、子どもが楽しく学べるの二つです。  ※常設展は「生麦事件」関連の資料を＜背景－経過－影響＞の流れにそって展示＜資料4＞  →壁やキャプションの工夫で解りやすく  →「マンガ」「映像」を使って子どもも楽しく学べるように  ※企画展は「生麦事件」を多角的に捉え、学ぶことができる展示（多様な内容）＜資料2＞  ◎参考館には、何度でも来館したくなる魅力的な工夫が、地域との協力で準備されています。  ※展示資料を使ってミニ講座を月1回開催。  ※地域の語り部ボランティアが日替わりでそれぞれの得意分野を活かした解説実施。  ◎母屋は地域交流のスペースになります。＜資料5＞  ＊児童・生徒 日頃の学習や活動の成果発表  落語や吹奏楽演奏  ＊地域 作品展（絵・書・写真など）講談師や落語家（いずれもプロ）の一席  ＊郷土史展 生麦の文化・歴史紹介  ◆別紙資料1、2、4、5 参照</p>
<p>② まち普請の助成でどこを整備するのかを図面でも明記して頂けると助かります。</p>	<p>現在、工務店に図面を作成してもらっており、発表資料に図面を掲載します。  ◆整備箇所は、別紙資料7・8 参照</p>
<p>國廣委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 「活用イメージ」の図を拝見しました。展示空間としての設えやデザインの工夫を教えてください。</p>	<p>◎参考館の常設展は、事件の経過が一目で解るように展示をします。  ※展示を章立てし、時間の経過が解るように資料を再配置、タイトルも色分けする  ※キャプションの工夫、照明の改善、イラストの適宜配置</p>

	<p>◎子どもが楽しく学べる展示を行います。 ※展示ケース側面を活用し、クイズなど子ども向けの展示を行います。また、当時の風景と写真撮影できるパネルを設置するなど、体験も取り入れます。 ◆別紙資料 4 参照</p>
鳥海委員	
① 使える場所が広がり、できることも増え開館後の活動がイメージしやすくなりましたね。活動の記録も見やすくとってもまとまっていると思います。活動の提案でしたらこのままでもいいのですが、まち普請は建物を整備するための制度ですので、イメージ図を現実化するためどのようなものをどこに配置する等の具体的な設計図を教えてください。	川原委員②の回答を参照ください。
② 支出について、家賃、電気光熱費に相当するものが見受けられませんが、土地・建物所有者とはどのような取り決めになっていますか。	◎家賃・電気光熱費などは所有者が負担することになっていますので支出予算には記載してありません。
肥後委員	
① 提案書に展示計画や展示コンセプトが描かれていませんが常設展・特別展の内容はどのようなもののでしょうか。子どもたちにもわかりやすい内容になっていますか。入場料 500 円に見合う内容になっていますか。	<p>◎常設展は「生麦事件」がテーマになります。子どもたちにも解りやすいようにマンガパネルを設置するほか、クイズや子ども向けの資料展示を行います。〈資料 4〉</p> <p>◎母屋の特別展では、小学生が制作した学習発表資料を展示します。〈資料 2、5〉</p> <p>◎収支計画をもとに入館料は 300 円とします。展示内容は解説も含めて、見合う内容になっています。〈資料 3〉</p> <p>◆別紙資料 2、3、4、5 参照</p>
② 参考館の資料を整理すると、広いバックヤードが必要になると思いますが、そのスペースは確保できますか。	◎参考館 2 階を資料保管等のバックヤードとして活用します。
③ 酒の資料館が使えるようになったのは、とても良かったと思います。そちらの解説はどうしますか。	<p>◎令和 9 年 4 月のグランドオープン時に公開する準備をしています。</p> <p>◎酒の記念館も令和 8 年 1 月から調査をします。その際、専門家（博物館学芸員など）の助言も受け、解説無しでも解る展示にします。</p>
④ 各協力団体と、特別展やその他の作品展を定期的で開催していけそうですか。	<p>◎小学校の総合学習の発表会は、今後も継続します。（学校関係者とは今後の予定も確認済み）</p> <p>◎現在準備中の企画は、交渉も進んでいます。 区内在住の写真家作品展、講師・落語家独演会、高校生ミニコンサート、地域の美術展など</p> <p>◎鶴見区制 100 周年プレ企画（歴史の会協力）</p> <p>◆詳細は資料 2 参照</p>

<p>⑤ 当面は、毎週水・土日・祝のみの開館でしょうか。増やす見込みはありそうですか。(スタッフの確保など)</p>	<p>◎令和8年1月～10月 第2・第4(土)(日)開館、 同 11月～9年3月 毎週(土)(日)・祝日開館 同 9年4月～ 毎週(水)(土)(日)・祝日 いずれも時間は10:00～14:00 ※そのほか、開館日以外の見学の要望があれば 随時開館します。 ◎スタッフは確保できています。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① 資料展示に関し、所有者や専門家からどのような助言を受けましたか。また、そうした助言は整備内容に反映されましたか。</p>	<p>◎開港資料館館長・デザイナーから「説明がなくても、見て解る展示に」と助言され、分かりやすい展示構成としました。 ◎所有者からは「子どもたちにも解りやすい展示に」と助言され、説明文を簡潔にまとめ、マンガやクイズを取り入れるなど工夫をしました。 ◆別紙資料4参照</p>
<p>② 外国人、外国につながるのある人などの多文化交流活動を実践していますか。実践している場合、内容はどのようなものですか。</p>	<p>◎メンバーとつながりのある外国の方にも意見を聞きながら、英語版の「生麦事件」解説リーフレットを準備しています。 ◎通訳ボランティアは5人います。今後第4(土)は通訳対応可とし、つるみ国際交流ラウンジ等にも広報します。</p>
<p>③ 生麦事件の関連イベントを開いている若い店主とは、現在どのような関係がありますか。今後の連携の展望はいかがですか。</p>	<p>◎参考館での企画についてアドバイスをもらう、地域イベントと参考館の橋渡しをしてもらうなど常に連携しています。</p>
<p>④ HP に載せる情報は、どのような内容を予定していますか。</p>	<p>◎カレンダー（開館予定日・時間）特別展内容など参考館に関わる情報 ◎参考館の語り部の紹介（得意分野など） ◎生麦の情報（商店街の店舗情報など）</p>
<p>⑤ 整備後、年間の入場料収入は、どのくらいを見込んでいますか。</p>	<p>・肥後委員⑤の回答の通り、段階的に開館日を増やす予定です。 ・R9.4月グランドオープン後の年間収入は、約93万円を見込んでいます。 ◆別紙資料3参照</p>

## 令和9年度展示スケジュール

※令和9年4月 グランドオープン

展示名	展種	場所	会期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生麦事件発生現場の記録	参考館企画展	参考館	4/3～6/30												
鶴見今昔パネル展 その1	母屋特別展	母屋	4/3～6/30												
地域住民作品展／書	母屋ギャラリー	母屋	4/3～4/29												
地域住民作品展／絵画	母屋ギャラリー	母屋	5/1～5/30												
地域住民作品展／絵手紙	母屋ギャラリー	母屋	6/2～6/30												
事件碑を建てた黒川荘三	参考館企画展	参考館	7/3～9/29												
鶴見今昔パネル展 その2	母屋特別展	母屋	7/3～9/29												
地域住民作品展／俳句	母屋ギャラリー	母屋	7/3～7/31												
地域住民作品展／児童・生徒作品展	母屋ギャラリー	母屋	8/1～8/29												
地域住民作品展／写経	母屋ギャラリー	母屋	9/1～9/29												
事件当時者・関係者の証言	参考館企画展	参考館	10/2～12/26												
鶴見今昔パネル展 その3	母屋特別展	母屋	10/2～12/26												
地域住民作品展／写真	母屋ギャラリー	母屋	10/2～10/31												
地域住民作品展／書	母屋ギャラリー	母屋	11/3～11/28												
地域住民作品展／絵画	母屋ギャラリー	母屋	12/1～12/26												
外国人から見た生麦事件	参考館企画展	参考館	1/8～3/29												
鶴見今昔パネル展 その4	母屋特別展	母屋	1/8～3/29												
地域住民作品展／絵手紙	母屋ギャラリー	母屋	1/8～1/30												
地域住民作品展／写経	母屋ギャラリー	母屋	2/2～2/27												
地域住民作品展／俳句・短歌	母屋ギャラリー	母屋	3/1～3/29												



## 母屋特別展、参考館企画展 展示計画

資料 2

①母屋展示は、「地域とつながる場」、②参考館展示は、「生麦事件を深く学ぶ場」としていきます。

①母屋壁面展示計画／3か月おきに展示替え。図書館や小学校との連携による展示企画や地域住民の作品展などを通じて、地域の歴史や文化を共有し、魅力を発信していきます。

展示 1 鶴見図書館と連携 鶴見今昔パネル展	展示 2 日本で最初の児童遊園地花月園	展示 3 地域住民作品展	展示 4 岸谷小学校と連携 児童生徒作品展・学習発表	展示 5 大本山總持寺	展示 6 鶴見臨海部の変遷
鶴見区制90周年記念パネル43点を4回に分けて展示85cm×60cm	2から3回シリーズで東洋一を誇った大遊園地を紹介。全体図、遊具、少女歌劇、ダンスホール、茶屋、スポーツ施設など写真や資料、ジオラマで紹介	写真、絵画、書・花、俳句・短歌、絵手紙、手作り品	岸谷小学校総合学習と連携 近隣学校へとも連絡調整中	曹洞宗大本山總持寺の歴史、明治44年の鶴見移転の背景、歴史、地域との関わり 總持寺の文化財、墓地に眠る著名人	浅野総一郎による鶴見臨海部埋立、日本の重工業の発展を支えた京浜工業地帯から先端科学研究拠点サイエンスフロンティアへ
					

②参考館内企画展 3か月おきに展示替え 事件の記録や証言、外国人の視点を紹介するほか、事件を伝える人々にも焦点をあてるなど、生麦事件を多角的に伝える資料を展示します。

案	展示 A	展示 B	展示 C	展示 D	展示 E	展示 F	展示 G	展示 H	展示 I	展示 J
テーマ	生麦事件発生現場の記録	事件碑を建てた黒川荘三	当事者・関係者の証言	外国人から見た生麦事件	事件碑を守る生麦事件碑顕彰会	児童生徒夏休み研究発表	文学作品に見る生麦事件・生麦	旧東海道生麦村の文化と風物	収蔵美術品	旧蹟碑文を書いた中村正直（敬字）
展示物	「関口日記」「御用留」にみる目撃者の証言、役所への報告	黒川荘三人物像 事件碑建立の背景 黒川荘三が残した史跡、郷土資料	マーシャル、クラーク、ポロディル夫人の証言。奈良原喜左衛門、桐野利秋、海江田信義、有馬新七、田中新兵衛。ニール代理公使の外交文書	アーネスト・サトウ「一外交官の見た明治維新」、イザベラバード「日本奥地紀行」、イラストレイテッドロンドンニュース	生麦事件碑を守り、リチャードソンの墓参と慰霊祭を続けてきた背景、50年、60年、100年など周年祭などの記録	近隣小学校などと連携し、小学生が作成した生麦事件の資料を展示	シーボルト「日本動物誌」、E.R.シドモア「人力車旅情」、吉村昭「生麦事件」、竹田八洲満「生麦一条」、野沢富美子「煉瓦女工」、中村星湖「釣ざんまい」	御菜八ヶ浦の漁師町から魚河岸通りへの発展 生麦地名起源、人情・風俗・習慣、蛇も蚊も、生麦囃子	浮世絵、絵画他	明治期の啓蒙思想家・教育者・文学博士。英語塾創設、幕府留学生監督で渡英。サミュエル・スマイル「自助論」翻訳「西国立志編」

※企画展示に合わせてミニ講座開設

生麦事件参考館 収支予算案

資料 3

【①第2・4土日開館パターン】

R8.2月～10月(9か月) 開館日36日

入場料 大人300円、子ども(小中高生)無料

【②毎週土日+祝日開館パターン】

R8.11月～R9.3月(5か月) 開館日47日 ※1/1～3除く

入場料 大人300円、子ども(小中高生)無料

【③毎週水土日+祝日開館パターン】

R9.4月～R10.3月 開館日164日(12/29、1/1,2除く)

入場料 大人300円、子ども(小中高生)無料

R9.4月グランドオープン後はスタッフは1日3人に対応

収入

項目	予算	備考
入館料	162,000	300×36日×15人
講座受講料	30,000	500×20人×3回
ワークショップ参加費	10,000	500×20人×1回
冊子売上	32,400	300×3冊×36日
合計	234,400	

支出

項目	予算	備考
人件費	72,000	1000円×2人×36日
事務用品	20,000	コピー用紙、インク他
印刷費	30,000	チラシ、書類
通信費	30,000	ネット回線、切手他
営繕費	30,000	DIY材料費等
事業費	10,000	ワークショップ材料費など諸経費
消耗品費	30,000	清掃用品、花の種 プランター他
備品購入費	0	
保険料	10,000	イベント保険
予備費	2,400	
合計	234,400	

収入

項目	予算	備考
入館料	211,500	300×47日×15人
講座受講料	30,000	500×20人×3回
ワークショップ参加費	10,000	500×20人×1回
冊子売上	42,300	300×3冊×47日
合計	293,800	

支出

項目	予算	備考
人件費	94,000	1000円×2人×47日
事務用品	25,000	コピー用紙、インク他
印刷費	30,000	チラシ、書類
通信費	30,000	ネット回線、切手他
営繕費	30,000	DIY材料費等
事業費	10,000	ワークショップ材料費など諸経費
消耗品費	40,000	清掃用品・トイレットpp、花の種他
備品購入費	0	
保険料	10,000	イベント保険
予備費	24,800	
合計	293,800	

収入

項目	予算	備考
入館料	738,000	300×164日×15人
講座受講料	30,000	500×20人×3回
ワークショップ参加費	10,000	500×20人×1回
冊子売上	147,600	300×3冊×164日
合計	925,600	

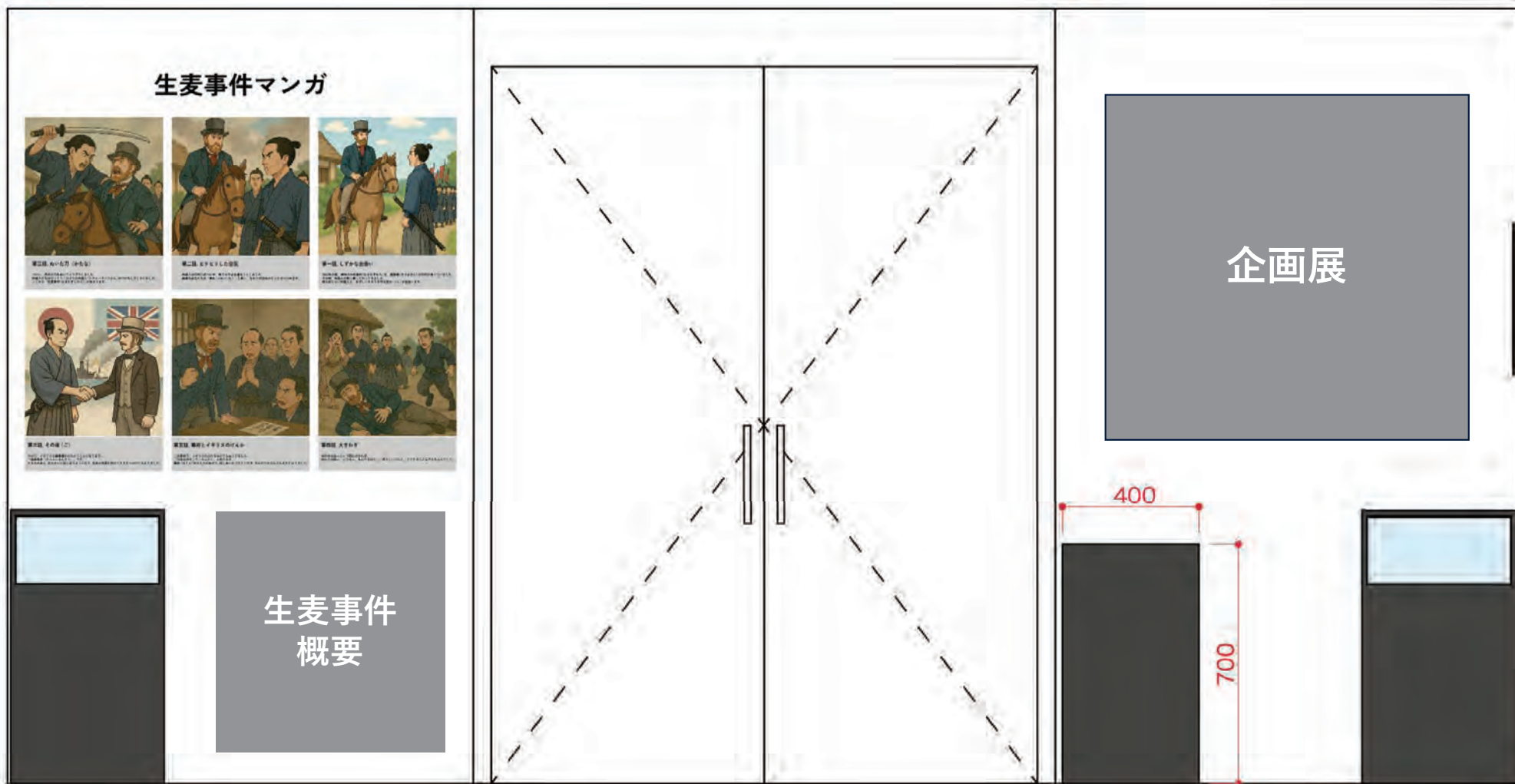
支出

項目	予算	備考
人件費	492,000	1000円×3人×164日
事務用品	30,000	コピー用紙、インク他
印刷費	30,000	チラシ、書類
通信費	30,000	ネット回線、切手他
営繕費	30,000	DIY材料費等
事業費	10,000	ワークショップ材料費など諸経費
消耗品費	50,000	清掃用品・トイレットpp、花の種他
備品購入費	200,000	PC、プリンター、プロジェクター、パネル
保険料	10,000	イベント保険
予備費	43,600	
合計	925,600	



① 資料4\_参考館展示計画

⑤



⑤



## 第1章 幕末の日本と横浜

江戸時代末期の日本、幕府は鎖国政策を堅持し、外国との交流を制限していた。しかし、開港場の横浜は、外国との貿易の中心地として発展し、西洋文化が流入するようになった。この時期、日本は大きな変革の岐路に立たされた。



小学生クイズ②

小学生クイズ①



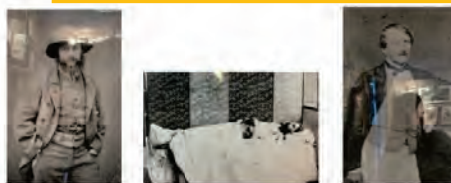
#### 第4章 薩英戦争とその結末

1863年、薩長両藩が薩英戦争に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長(1863)年、薩長は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。



#### 第3章 外交問題へ発展

薩長の参戦は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。



#### 第2章 生麦村で起き大事件

1854年(1854)年、薩長の参戦は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。薩長藩は英米の海軍に参戦し、薩長藩も参戦した。



小学生向け展示②

小学生向け展示①

④

エアコン設置

## 企画展

生麦事件  
発生現場の記録展

関口日記

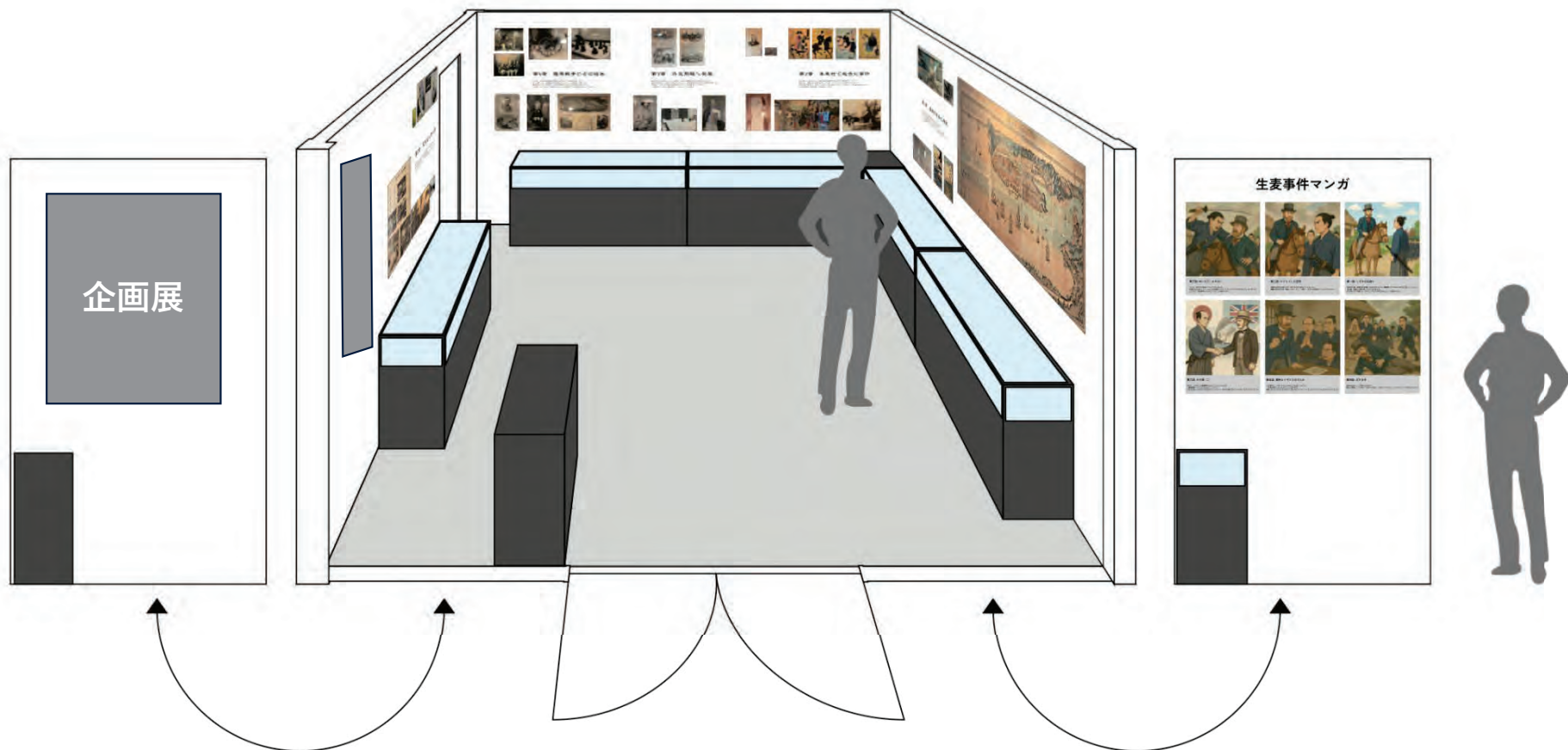


### 第5章 近代化への一歩

開港以来の頃、横浜は西洋文化の流入を受け、近代化の足掛かりとなった。この頃、日本は西洋列強と対等な国として国際社会に参入し、国家としての地位を確立していった。







一緒に写真を撮れるパネル





## 母屋活用・壁面展示計画案

資料 5

北側壁面



※地域住民作品  
展示コーナー

1か月間隔で展示替え  
をして多くの人の作  
品を紹介する予定

東側壁面



たとえば

なまむぎ水曜サロン（令和9年4月グランドオープン以降の計画案）

毎月第2水曜日 10時～12時 生麦事件参考館母屋で

東寺尾地域ケアプラザ・生麦地域ケアプラザ

生麦第二地区保健活動推進員と連携したミニ講座

防犯・健康・カウンセリング

絵手紙・写経・俳句・写真

落語会・昔語りの会など地域の人たちの交流・憩いのサロン

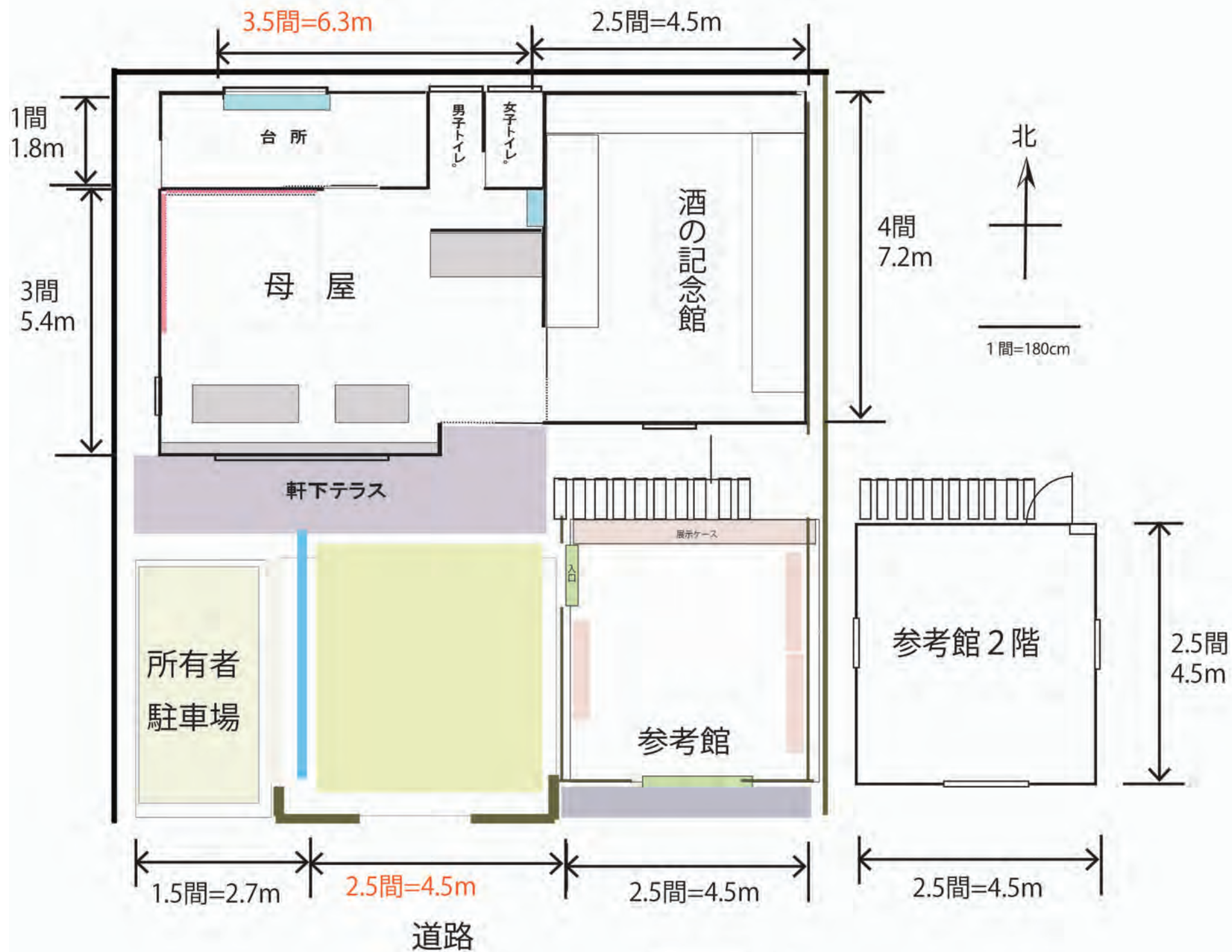
学校・地域連携プログラム

資料を見ながら、生麦事件や地域の歴史・文化を学ぶ総合学習の場を提供  
土曜・日曜や夏休み・春休みには地域の児童・生徒たちの作品展示、総合学  
習の発表会を開催する

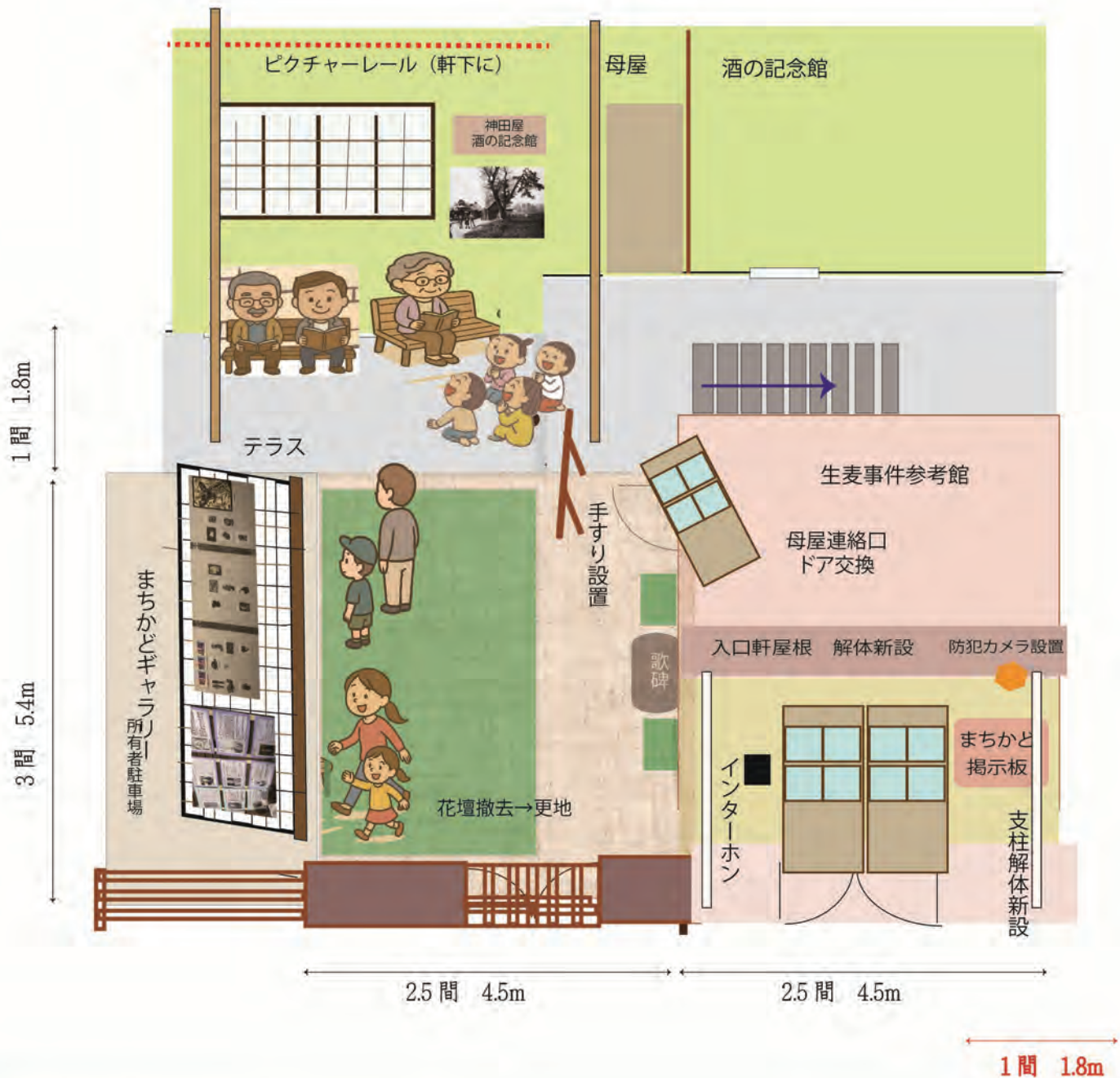
11月23日 生麦 De 事件 Da!! と連携し、岸谷小学校児童の学習発表会を母  
屋及び軒下テラスで開催

西側壁面









〔まち普請で整備するもの〕

◎庭

所有者駐車場との仕切りとしてフェンス (H1.5m W4m) を設置し、ましかどギャラリーとして活用  
庭の花壇を撤去し更地化 (大1・小2) 煉瓦敷に段差がある庭とテラスの間に手すり設置

◎母屋軒下

ピクチャーレール設置

◎参考館内

入口右側破損壁修復  
天井・壁面亀裂補修  
館内全壁面・天井クロス張替え  
展示ボード設置  
照明器具全取替  
エアコン新設

床面タイル張り替え

◎参考館外回り

入口軒屋根 解体修復  
軒屋根支柱 解体新設  
入口ドア交換 上部ガラス張り  
母屋連絡口ドア交換 上部ガラス張り  
入口ポーチ タイル張替え  
ましかど情報掲示板 新設  
防犯カメラ 設置  
インターホン設置

# 母屋 まち普請整備箇所

6.5間 11.7m

資料 8

3.5間 6.3m

2.5間 4.5m

4間 7.2m

3間 5.4m

<まち普請で整備するもの>

壁面設置

展示用ボード

ピクチャーレール

大型ディスプレイ

1200mmx1000mm

エアコン

母

屋

家具

男子トイレ

女子トイレ

ウイスキー

浅海武夫館長  
顕彰コーナー

ビール

神田屋  
酒の記念館

日本酒

大型ディスプレイ

エアコン



テーブル

テーブル

家具

1間 1.8m





# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

注1）2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2）2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	桜通りをたのしくする会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	中区相生町・2丁目
提案名 (25字以内)	関内桜通り「としょかん」&「こうみんかん」の整備
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>①現在拠点の劣化部分の補修的作業にかかるデザイン (壁ぬりワークショップを実施、地域のメンバーの手も使いリニューアル)</p> <p>②キッチンの縮小およびカウンター整備 使いやすさを配慮したキッチン、地域情報などが取得できる機能を擁したカウンター</p> <p>③開口部再構築 (ベビーカー、車椅子などでも入りやすく一定滞留できる“入ってみてもよい”空間設計/段差の解消、セットバック)</p> <p>④書架等の構築(本棚・展示棚スペース) 11月22日に実施されたコンペのアイデアをもとに、気軽に市民が利用できる書架・棚を設置</p> <p>⑤一定時間滞留できる小上がり等の敷設(小上がり・居場所) 気軽に滞留できるようなスペース設計を、アイデアコンペの意匠をもとに敷設</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>&lt;必須事業 既に現在行われているもの&gt;</p> <p>*地域団体の対話のスペースとして機能 (連合町内会イベント事業、社会福祉協議会におけるこども事業・シニア事業、民児協定例会、町内会定例会、通り会定例会など)</p> <p>*地域の社会団体の実践の場として機能 (シニア、こどもの居場所づくり事業、まちづくり団体の対話の場、こども食堂的事業、障がい者支援事業)</p> <p>&lt;日常事業 今後定期で行われるもの&gt;</p> <p>*図書棚オーナーによる1日オーナー事業 (50架強配置予定の本棚オーナーによる9:00-18:00当番)</p> <p>*運営メンバーによる1日/半日店主当番制度</p> <p>*午前親子のひろば+赤ちゃん会(関内民児協、地区社協協働)</p> <p>*午後シニア+こども カフェタイム(関内民児協、地区社協、さくらホームレストラン協働)</p> <p>*夕方-夜/中高校生自習時間(ピクニックルーム協働)</p> <p>*夜間および土日/オンライン・ハイブリッドシンポジウム</p>



	<p>(運営協力：横浜コミュニティデザイン・ラボ)</p> <p>*カフェメニュー連携（近接店舗より仕入れ）</p> <p>&lt;定期/不定期イベント的事業 日程調整中のもの&gt;</p> <p>*かんないテラス（年2回・地域イベント 大掛かりなもの）</p> <p>*さくら通りOPEN！（年10回程度・地域イベント：通り・ひろばから泰生ポーチを連結し、地域の方々と対話する居場所事業を小規模で開催）</p> <p>*かんない防災会議（複数回事業/年）</p> <p>*さくらホームレストラン（月2回・パントリー、レストラン事業）</p> <p>*フロントマルシェ（月1回・さくらホームレストラン協力）</p> <p>*関内バックギャモンの会（土または日定期）</p> <p>*旅するブックカフェ「フルリーナ」（土または日定期）</p> <p>*かんない金融倶楽部（月1回定期開催）</p> <p>*さくら通りスイーツ研究会（年3-4回）</p> <p>*明蓬館高校「マインクラフト研究会-関内校」（年次で開講予定）</p> <p>*出張「ちぐさ」JAZZ研究会（定期予定）</p> <p>*ぬくもりビンゴラリー（横濱ジェントルタウン倶楽部・年1回）</p> <p>*横浜国立大学・YNUアーバンリストスクール・プログラム（年1回）</p> <p>*まちなかひろば研究会横浜会 ほか増加予定。</p>
<p>提案の背景</p> <p>（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）</p> <p>※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>泰生ポーチ・フロントは、2018年にオーナーと民間事業者3社の手により「それぞれが連携しつつ発信する拠点」として、関内に来る市民や住民へと開いてきました。コロナ禍や社会変化等、2社に減った運営法人の状況を見て関係者と地域から“もっと有意義な活動の拠点を”という対話が2年前から始まりました。</p> <p>関内地域は、今後も来街者の増加、タワーマンション整備計画等で人流がさらに複雑化します。そのなかで、公共空間の整備を待つのではなく、私たちの手で作ろうという思いがあり、通りや現在拠点「フロント」内の事業で協働しているメンバー等が集まり“閉じかけているイメージ”を問い直し、これからの関内へ“毎日あいている”“はいりやすくひらかれている”場を考える（公共空間から公共的空間へ）。</p>
<p>整備プロセス</p> <p>（スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源<sup>注4</sup>、費用削減の工夫に触れて説明してください）</p>	<p>① 壁ぬりワークショップ：壁や床など空間の補修、棚づくりなどを地域住民、および地域クリエイターらとワークショップ形式で行う。（10月）</p> <p>② 開口部分、小上がり空間についての調整ヒアリング 車椅子等でのまちづくり団体、社協等と「入りやすさ」に関する調整を建築整備中に行う。（6-7月）</p> <p>③ カウンター機能に関する情報整理を連合町内会、社会福祉協議会、各まちづくり団体と配架情報を含めてあらかじめ整理する協議を行う（10-11月）</p> <p>④ 整備時に近隣親子連れに意見を聴く機会を設ける（3-4月）</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法</p> <p>（維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源<sup>注4</sup>に触れて説明してください）</p>	<p>メンバーが運営主体を組み、（労働者協同組合または一般社団法人）役割：企画、全体統括、予算管理、行政対応、リスクマネジメントを自らおこなう。メンバーおよび協力団体のメンバーが、施設管理、来訪者対応、プログラム運営、SNS・広報活動を行う。</p> <p>■地域資源</p> <p>人的資源：協力団体</p> <p>文化資源：通りを活用して行われているイベント、そこに関わるコミュニティ（関内まつり、かんないテラス、さくら通りOPEN！、関内外OPEN！等）</p> <p>■活用については既に埋まりつつあるプログラムを日常的に実施できるよう運営主体設置する。新しい住民が関わりやすいような仕組みを設定する。</p> <p>■運営方法</p> <p>■（1）施設の維持管理 清掃・設備点検の体制、防災・安全管理（避難経路、災害時協力）開閉館業務、予約管理、利用ルール設計</p> <p>■（2）プログラム運営</p>

	<p>子育て支援：相談、居場所づくり、親子イベント 教育：探究型プログラム、地域文化学習 コミュニティ：住民交流、地域企業との連携事業</p> <p>定期的なアセスメント・改善サイクル（PDCA）を運営会議により決定する。</p> <p>■（3）情報発信</p> <p>SNS・ウェブでの情報発信、公共や小中学校を通じた広報</p> <p>地域ネットワーク会議への参加</p> <p>■（4）財源・持続可能性</p> <p>コミュニティ会員制度 等</p> <p>棚オーナー制度による売上、事業費（委託費・補助金・自主事業）、地域企業からの協賛、地域外利用者および参加者の価格を適正設定</p>
--	---

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1 次コンテスト以降の活動内容</p> <p>※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>① 定期会議発足、設計やあり方について協議</p> <p>② 地域団体への説明（定期等）</p> <p>③ 地域住民をひろく集めるかたちでの説明イベント、アンケート実施</p> <p>④ 新運営主体への参加者を募りオープンチャット設置</p> <p>⑤ 設備についての設計・デザインアイデアコンペを実施（11/22）</p> <p>⑥ 日常開催実験を実施予定（12月）</p> <p>⑦ 運営責任者を集め「さくら通りOPEN!大交流会」実施（1月予定）</p> <p>⑧ 2月クラウドファンディング開始、運営形態決定・組織準備</p> <p>⑨ 3月運営組織設立</p>
<p>関係者の合意・調整状況</p> <p>（地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>泰生ポーチは既に「地域のさまざまな活動の拠点」としての認知があり、むしろ“今までなにも支援や改まった協力依頼のない状況で運営をされていた認識を改めて地域一丸で”という連合町内会からの意見もあり、広く協力的に運営をしよう！という合意形成が生まれています。</p> <p>新しい住民からも、「こういう場がもともとあることをあまり詳しく知らなかった、積極的に利用・参加したい」という意見があり、子育て支援および地域情報集積についてひらかれる拠点としての期待は大きく高まっている。</p> <p>（関内地域には町内会館等の施設が存在しないため、各団体からは否定的な意見は一切なく、むしろオープンまでの準備について協力的意見が多くあり、調整を丁寧にすることが求められている。）</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>時間帯により地域の子連れとシニア、場を求める中高校生、学びや対話を希望する住民・来街者、全体をフォローする学生がターゲットになり、関内地域の可能性を多分に活かした多機能拠点が見込まれます。また、図書機能の「棚オーナー」は全国から募り、ネットワークを広く取ります。</p>
<p>目指す地域の将来像</p> <p>（施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>関内桜通りは、行政等が管理把握しきれないレベルの人流がありますが、今回の整備がそれらのすきを埋めた市民運営の公共的空間づくりであると考えます。</p> <p>特に、道路空間も「ひろば」と置くことで、様々な属性の人々をやわらかく受け止める空間と場が整備され、目的を強く持たずとも、気軽に來ることができ、日常的に、且つ休みなくひらかれる場をつくれます。すでに集積されているコンテンツに加え、地域の発信も団体と協働的に行うことで、無目的に來ても目的意識や関わりやすさと地域情報が自然に増え、愛着や親しみが地域により広がることを期待されます。</p>

次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

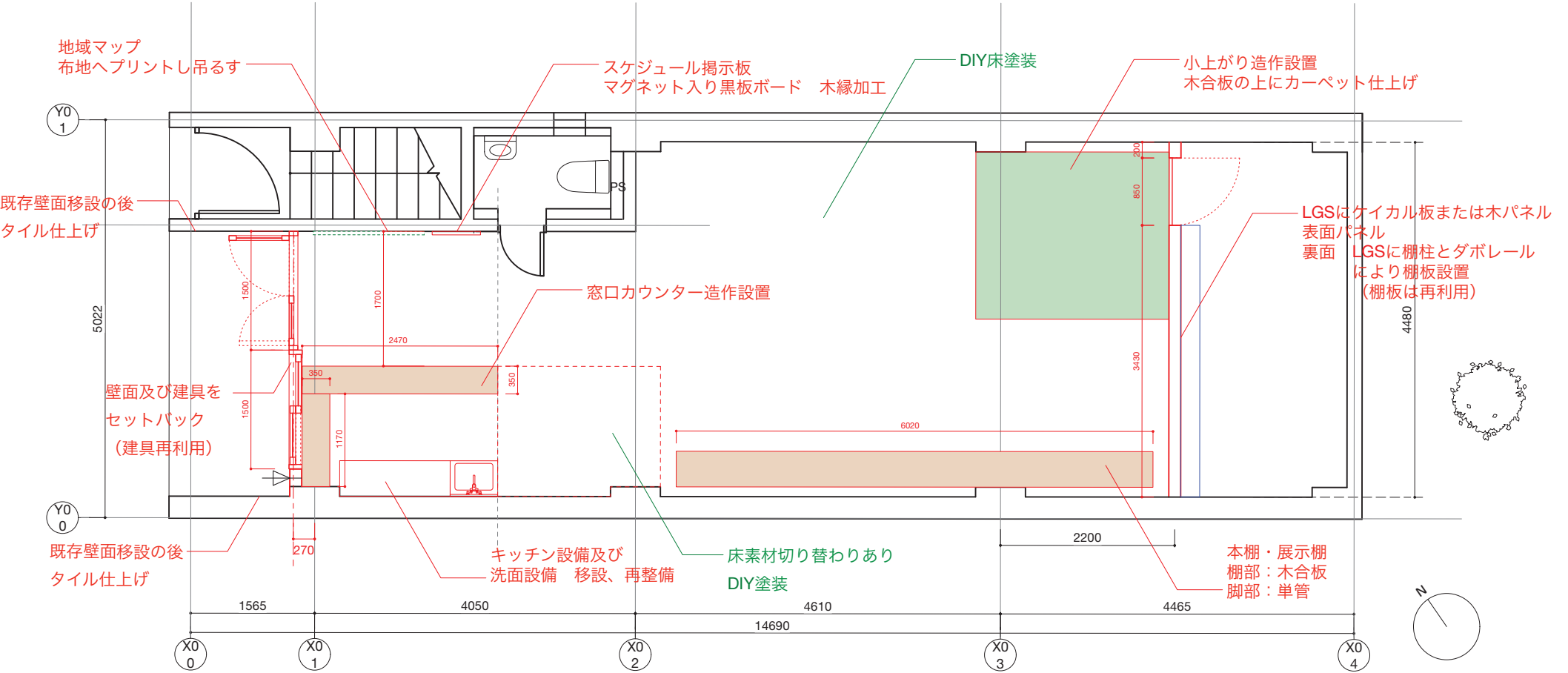
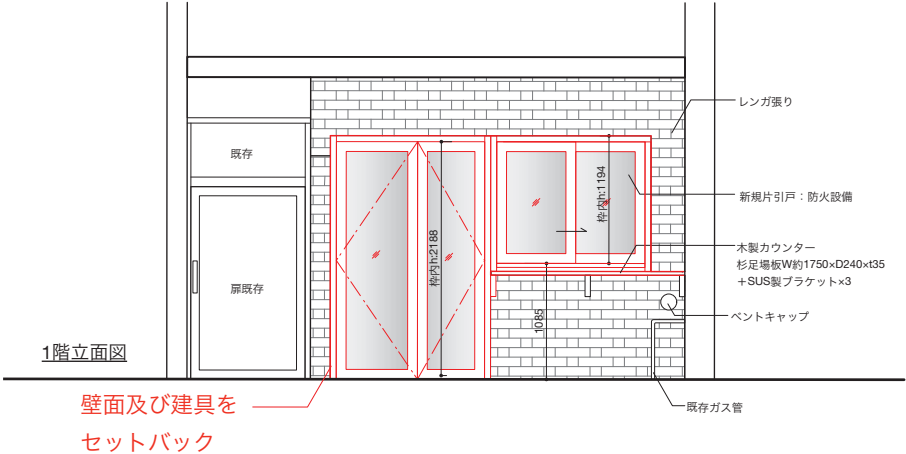
- ✓ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 第2次提案書（その他添付の公開資料）に個人情報はありません。

# 泰生ポーチフロント 整備計画（位置図）





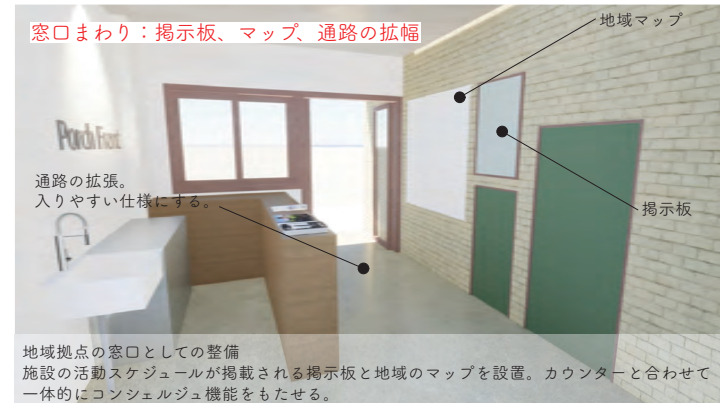
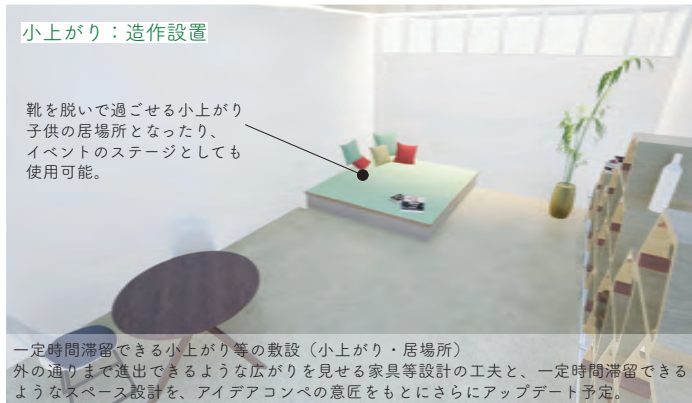
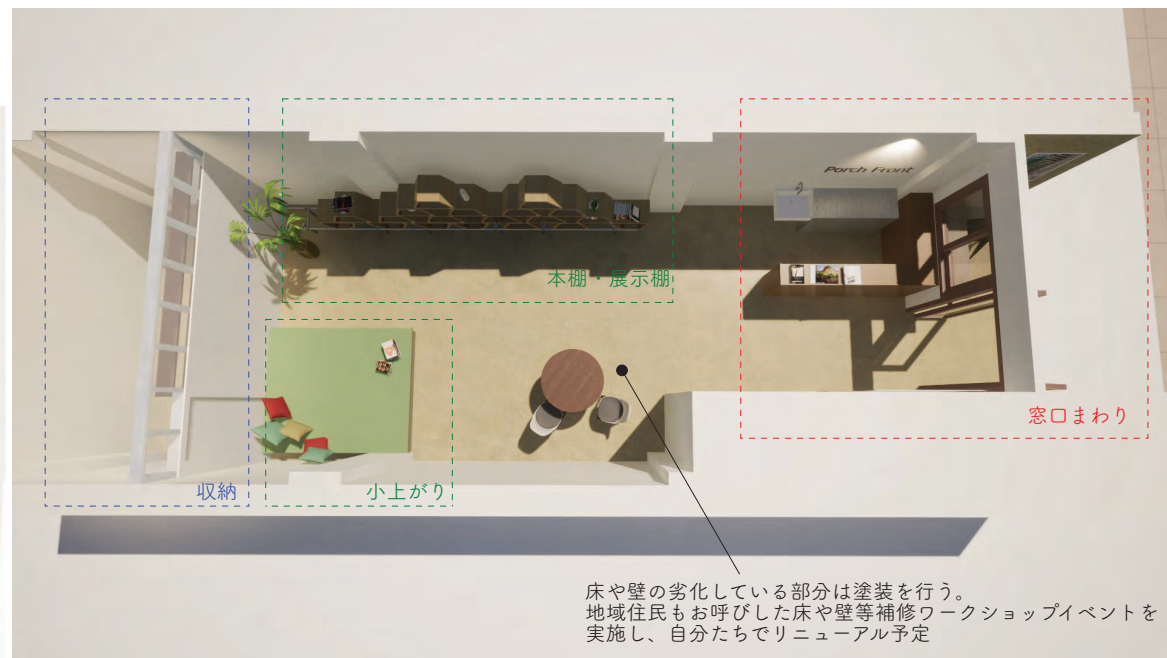
泰生ポーチ・フロント 整備計画（平面図）



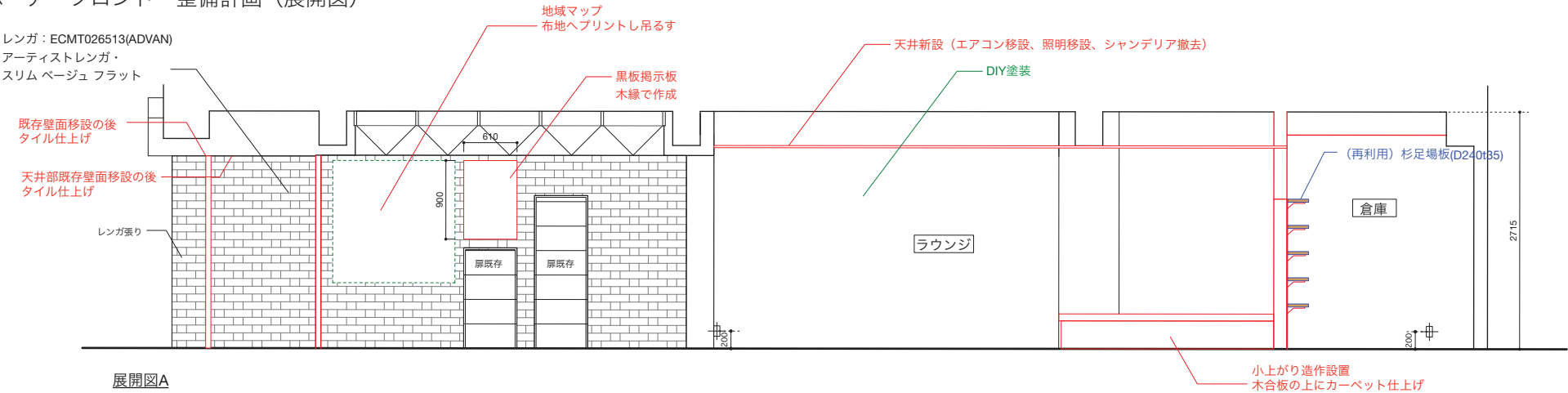
1 階平面図 1/50 (A3)



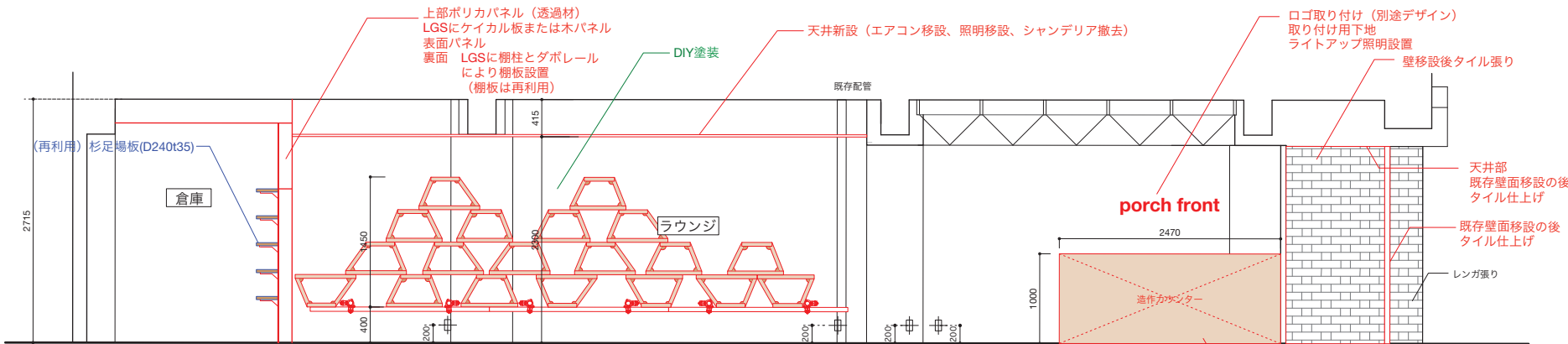
## 泰生ポーチ・フロント 整備計画（予想完成図）



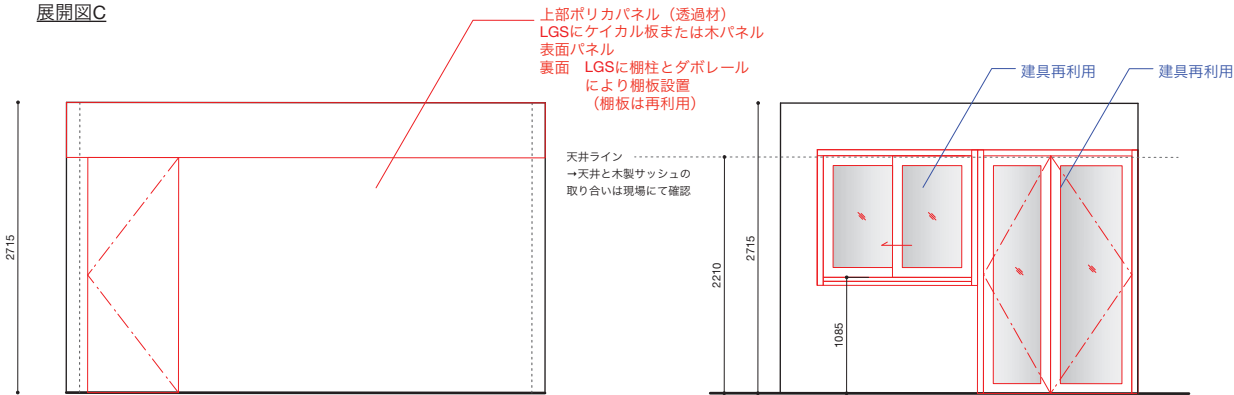
泰生ポーチ・フロント 整備計画（展開図）



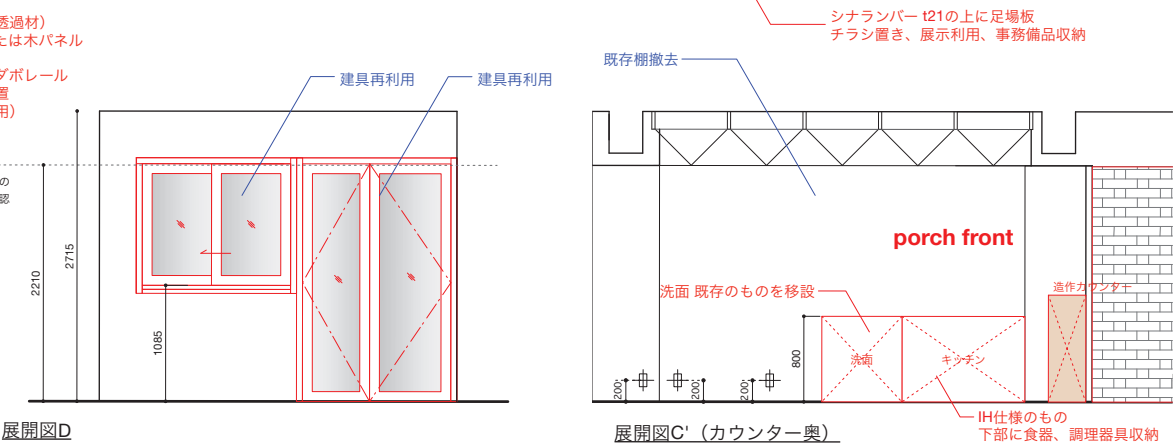
展開図A



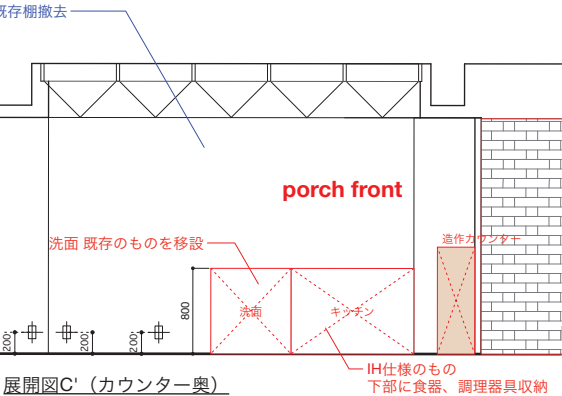
展開図C



展開図B



展開図D



展開図C' (カウンター奥)

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は 労力の負担等）
移設工事	ファサード建具移設/建具再利用工事/エアコン天カセ内機移設工事/ライティングレール移設工事/照明類設置工事	1式	600,000	660,000	
造作工事	キッチンカウンター造作/本棚造作/小上がり造作/収納スペース壁造作	1式 (計4基)	1500,000	1650,000	
壁面工事	壁面造作工事/壁面塗装/ファサード側壁面工事/タイル仕上げ工事/下地調整/ロゴ制作・設置	1式 (90㎡)	800,000	880,000	地域の人と大工さんでDIY塗装
床工事	下地調整/モルタル仕上げ工事/キッチン床仕上げ/床塗装	1式 (60㎡)	400,000	440,000	地域の人と大工さんでDIY塗装
天井工事	下地調整/仕上げ変更/造作下地/塗装仕上げ	1式 (45㎡)	230,000	253,000	

水回り工事	給排水管移設 工事	1式 (1箇所)	240,000	264,000	
設計工事管理	整備案設計費/ 工事管理費	1式	1,500,000	1,650,000	
工事諸経費		1式	350,000	385,000	
合 計				6,182,000	



## 一次コンテスト以降の活動内容

日付	活動内容	詳細
7月	まち普請一次審査会	7.13   実施
	定期会議発足	毎週水曜ミーティング／設計や方針について協議
8月	地域説明／仲間集め	地域住民に向けてイベント等で企画説明を実施 8.24   地域中高校生向け説明+アイデア募集ワークショップ ・「子育てLINE」で周知できるユーザーを収集 ・空間活用についてアンケートを実施
10月	オープンチャット設置	泰生ポーチ利用者を中心に、運営に関わる参加者を募るためのオープンチャットを設置
	ファニチャーアイデアコンペ応募開始	主に小上がりと本棚のアイデアを設計する仲間をPeatix／KENCHIKUで募集
11月	地域説明	11.3   地域団体／住民に向けて各イベント等で企画説明を実施
	ファニチャーアイデアコンペ公開審査会&設計方針が決定	11.22   「さくら通りOPEN!」の一環で「ファニチャーアイデアコンペ公開審査会」を実施して、設計方針が決定
12月	定期利用実験	12.10   定期利用実験イベント・ベビーカーひろばの会 12.17   定期利用実験イベント・泰生ポーチ・フロントマルシェ
	地域説明	12.27   地域団体／住民に向けて各イベント等で企画説明を実施
2026年1月	運営アイデアを共有&企画説明	1.17   「さくら通りOPEN!大交流会」実施／運営を希望する諸団体、関係者の交流／空間活用のアイデア共有
	まち普請二次審査会	1.25   実施
2月	クラウドファンディング開始	ファニチャー／什器の制作費用を集める
	運営形態決定・組織準備	
3月	運営組織設立	
	リニューアル設営準備／工事開始	準備が出来次第にワークショップや工事を行う







## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 桜通りをたのしくする会	
事前質問	回答欄
植松委員	
① より親しみやすく入りやすい空間への衣替えが必要であることはとても理解出来ます。現在までの活動が一定程度成果を上げているので、そこから先の近隣の人々や来街者の方々との関りを確保するために施された工夫を教えてください。	<p>現在はレンタルスペースとしての利用のみを想定した整備及び運営形態となっているため、地域の取り組みやコミュニティに参加していることが前提の利用者のみが施設を使用している状況です。一方でそれらのメンバーを横でつなげる機能がコロナ前まではありましたが、コロナ以降はなくなってしまいました。</p> <p>今回をまずそれらの「つなぎ直し-再組織化」がまず課題だと整理しております（資料 4_補足）。こちらにより、それぞれが発信をしたり「情報を受け取った人だけが集まる」方式を是正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泰生ポーチ（地域のこうみんかんの場所）が地域向けに発信を行う-すでに社協オフィシャルLINEにて乗り合い開始</li> <li>・泰生ポーチに集まった情報を整理してポーチでシェアする-まちのコンシェルジュ機構-連合町内会、社協、区役所が実施を承認</li> <li>・泰生ポーチに入りにくい層へむけての関わりしろ「道路のひろば」での展開を実施、通りすがりでも話せるようにする-すでに実施</li> <li>・「みんとしょ」機能については、全国域で棚オーナーを求めていく-審査後実施予定</li> </ul>
小川委員	
① 近隣のタワーマンション居住者は、泰	近隣の子育て世代やシニアにとっては身

<p>生ポーチフロントに対してどのようなニーズがあると感じていますか。</p>	<p>近に相談を行える窓口となり、日常的な利用としては、子供や学生、シニアの一時滞在が可能な地域の居場所となります。今回、オープンデーをいく日か実施したところ、特に「ベビーカーデー」は、近隣タワーマンションの母子が来場し「こういった気軽な場所が欲しい」また、事後アンケートでも「運営にも関わってみたい」という回答を得られています。</p>
<p>② 窓口のコンシェルジュ人材の登用、活用、養成の具体的な方策を教えてください。</p>	<p>コンシェルジュについては「現在も泰生ポーチに関わる」メンバーを中心に初年度～2年度は配置予定です。</p> <p>養成についてはいくつか案があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東学院大学（社会連携センター経由）からの学生およびゼミ受け入れ</li> <li>・ こども事業等に関しては別途関わるメンバーへの研修を実施予定</li> </ul> <p>具体的な養成に関しての段階については</p> <p>①全体：コミュニティポリシー理解、ハラスメント・境界線の共有</p> <p>②運営・準運営に関わるメンバー：合意形成の基礎、小規模拠点運営（トラブル事例共有）、ファシリテーション基礎</p> <p>主にケース共有・判断基準の言語化を中心に実施予定です</p>
<p>川原委員</p>	
<p>① 沢山の活動の拠点となりそうですね。これらの活動が、どのように両立や連携、展開していくのかについて、月間スケジュール的整理、主たるイベントなどを核にした年間スケジュール的整理、ロードマップなどの想定が発表時には知りたいです。</p>	<p>ありがとうございます。発表時に調整したスケジュールを発表いたします。</p> <p>大事にしているところは、泰生ポーチは新しい拠点ではなく、すでに地域や外部の団体が発信しながら場づくりをしているところです。今回のまち普請では「つなぎ直し」が最も初手として大切だと思われま</p> <p>す。</p> <p>そのつなぎ直しについて、審査後からのスタートが適切に行えるように検討中です。</p>
<p>② 位置図に関連して、桜通りをたのしく</p>	<p>別紙（資料 01～02）ご参照ください。</p>



<p>する会の事業と関連するものの説明を加えて頂けると理解をする上で助かります。主たる利用者の居住、勤務？エリア、想定来訪動線、屋外活動の展開？活動連携施設などをプロットしていただけるとありがたいです。沢山の活動や担い手の記載があるため総花的にも見えてしまうので、我々が理解するため、活動空間イメージを理解したいと思っています。</p>	
國廣委員	
質問なし	
後藤委員	
質問なし	
鳥海委員	
<p>① せいかいかん、ステージになる小上がり、共に屋外イベントに出たときに使いやすく工夫されていますね。大人だけがターゲットではなく、赤ちゃん会をはじめ子ども達が床に降りて過ごす場合、家具の固定方法や金具選び、安全面での配慮が必要かと思います。工夫がありましたら教えてください。</p>	<p>小上がりや棚の整備については、実際に保育の現場でも使われているものを参考に加工方法、金具を選定しつつ、小さな子供が利用するエリアを明確化した計画とすることで、安全管理を行い易くします。</p> <p>また、可動するものに関してもなるべく什器の高さが高くないよう設計した上で、基本的にはロックが掛かり固定できる仕様とし、転倒や移動による怪我を未然に防ぐ設計とします。運営の側面からも、窓口からは施設内が見える配置とし、施設にサポーターを常駐させることで常に人の目がある環境とすることで、安全に利用できるようにします。</p> <p>保育事業者が参画する場なので、そちらの監督は適切に行う方針です。</p>
<p>② ベビーカー、車椅子ユーザー等、新しく関わる人、滞留する人を増やす拠点を目指した店内で、くつろげる環境、居心地よく過ごすための室内空間としての工夫があったら教えてください。</p>	<p>開口周辺の通路の拡張と段差の解消、施設内への小上がりの整備により、バリアフリーな環境を整えつつ、サポーターが常駐することで支援が必要な方の利用も可能とします。</p> <p>設計上のアイデア、(壁塗り、棚づくり)ワ</p>

	<p>ークショップの実施で、「みなでつくった」という意義をもつことで、譲り合いながら、一定時間落ち着いて滞留できる仕組みと関係性をつくることが工夫のひとつであると思います。</p>
<p>③ たくさんの方と連携した公民館機能についてとてもよく理解ができました。図書館機能について教えてください。本を読むためのスペースが現在机 1 台分しかみうけられないのですが、貸棚本を現地で読む形ですか。購入前提ですか。貸し出し図書のイメージですか。</p>	<p>机については、説明資料として 1 台のみの設置としておりましたが、今後の利用に合わせて増やすことも想定しております（グループ席、個別席など）。泰生ポーチの「みんとしょ」方式とは、自分だけの本棚を持つことができるオーナー制度です。一箱本棚には本棚オーナーが選書した本が置かれ、利用者は自由に借りることができます。本棚オーナーは、月額料のオーナー料を支払うことでなることができます。</p> <p>泰生ポーチにおける「本」は読むための設備ではなく、人を媒介する装置であると考えます。棚＝人、現地閲覧＋一部貸出＋購入「静かに読む場ではなく、選書を通じた関係の場」と考えるので、それらが存在するところで落ち着いて過ごす環境づくりを整えたいと思います。</p>
肥後委員	
<p>① 施設整備の提案はわかりやすく、使いやすくなりそうですね。事業開始後の運営計画はどうなっていますか。開催日数、内容、収支について想定していることを教えてください。</p>	<p>初年度はまず再構築となっております。現状別添のスケジュール等がすでに既存事業として実施されています。（資料 4）</p> <p>そこをベースにそれ以外の時間帯を日中想定で「としょかん」開放実施予定です。週 7 日オープンはいずれ目指すところですが、週 5-6 日日中を中心にオープン検討です。</p> <p>初年度に関しては；</p> <p>主な収入を棚オーナー会費、小規模イベント参加費、委託事業（将来）</p> <p>ポリシーとしては、毎月黒字を狙わない、固定費を極小化、人件費は段階投入を想定しております</p>

<p>② 合わせて収支計画を教えてください。 「適切な料金設定」について、具体的に教えてください。</p>	<p>上記に関連しますが、当初の収支をこのように見込んでいます。 収入：主に「としょかん」「こうみんかん」がベースになります。 「としょかん」 棚オーナー制度を導入し、月額 2,000 円～5,000 円での貸し出しを予定しております。こちらの棚オーナーを 50～70 程度初年度に集める方向です。そこから周辺まちづくり団体から協力金を会費として徴収予定です。（町をコンシェルジュ等が PR するにあたって）各団体数千円/月を想定しております。道路のひろばのレンタル費用についても企業・事業団体からは会費＋レンタル費用で検討中です。 「こうみんかん」 現在外部サイトを通じて一般の方へもスペース貸し出しを行なっています。今後については公民館と同じく団体登録を前提で実施予定です。関内地域に拠点を持つ非営利団体については単価を下げて提供予定ですが、一般の貸し出しは水準を上げる予定です。 支出に関しては、初年度は人件費については段階的に導入予定、光熱費・事務費等を上記収入から支払います。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① さまざまな要望や問合せ等の調整は、どのようなメンバーで、どのような仕組みでおこなう予定ですか。</p>	<p>現在の仕組みはこのようなになっています。 コアメンバー全員の場合： Facebook Messenger で即時共有・相談 サブメンバー個人の場合： LINE オープンチャットで情報共有・補助 サブメンバー的団体の場合： メールや定時会議での報告（各コアメンバーより） 一般／地域の方の場合： 掲示板・社協 LINE で告知・入口情報を見る</p>

	<p>要望、問い合わせについては、ウェブサイト等で受け入れる方向です。</p> <p>窓口対応に関しては、以下の要領で考えております。</p> <p>● 即応 日程確認・軽微→窓口回答</p> <p>● 要共有 判断基準確認をしたい件→Messenger へ繋げて回答を促す、問い合わせの方へはお待ちいただく</p> <p>● 要会議→方針・リスク 運営会議へ-同上 窓口は当番制も含めて、地域のことを理解しているものの、その理解度に濃淡があります。できるだけ判断をさせずに仕分けて対応して頂く方向です。</p> <p>運営会議も全体的なものを月1回程度実施予定ですが、整備後に向けては引き続き定期対話予定です。</p>
② 整備費用として計上されている設計・監理の費用は、メンバー以外の方に支払う予定の金額ですか。	<p>&lt;事務局回答&gt;</p> <p>まち普請では、メンバーが自分の得意分野を活かして整備に関わるプロセスを重視しているため、メンバー個人への報酬の支払いは認めていません。一方で、法人は契約主体として独立した存在であり、法人が業務を請け負う場合、その対価を法人に支払うことは認めています。提案グループからは、今回の設計・監理費用は、法人に対して支払う予定と聞いています。</p>
③ 図書館の本は、オーナーが用意するもののほかに、地域のニーズに合わせて選書することも予定されていますか。	検討中です。
④ 新たに関わりを持った人が、場の運営に関わっていくために、どのような工	案内の掲示など、情報をしっかりと掲示した上で、窓口としての明快さやサポーター



<p>夫や仕掛けを考えていますか。</p>	<p>の常駐、日常的な利用を可能とすることで  入しやすい環境を整えます。</p> <p>また「コミュニティデー」を導入し、専門  的な議論や内輪の集まりというところを  払拭した場づくりを検討しております。</p> <p>（隔月程度で実施、“ふらりと”立ち寄れる  時間帯で実施、それまでの報告、これから  の予告、要望もこちらで一旦聞きます、こ  れからの予告の際に「こういう作業で人手  を募集します」というような簡単な説明を  設け、“軽く・期限付き”のコミュニケーシ  ョン参加の促しを行います）</p>
-----------------------	---

関内駅前の居住者は現状ほぼ0だが、再開発により居住機能が拡充される計画。

ザ・タワー横浜北仲が位置する地域は約2,000千人が居住。今後も再開発により北仲地区の人口増加が見込まれる。

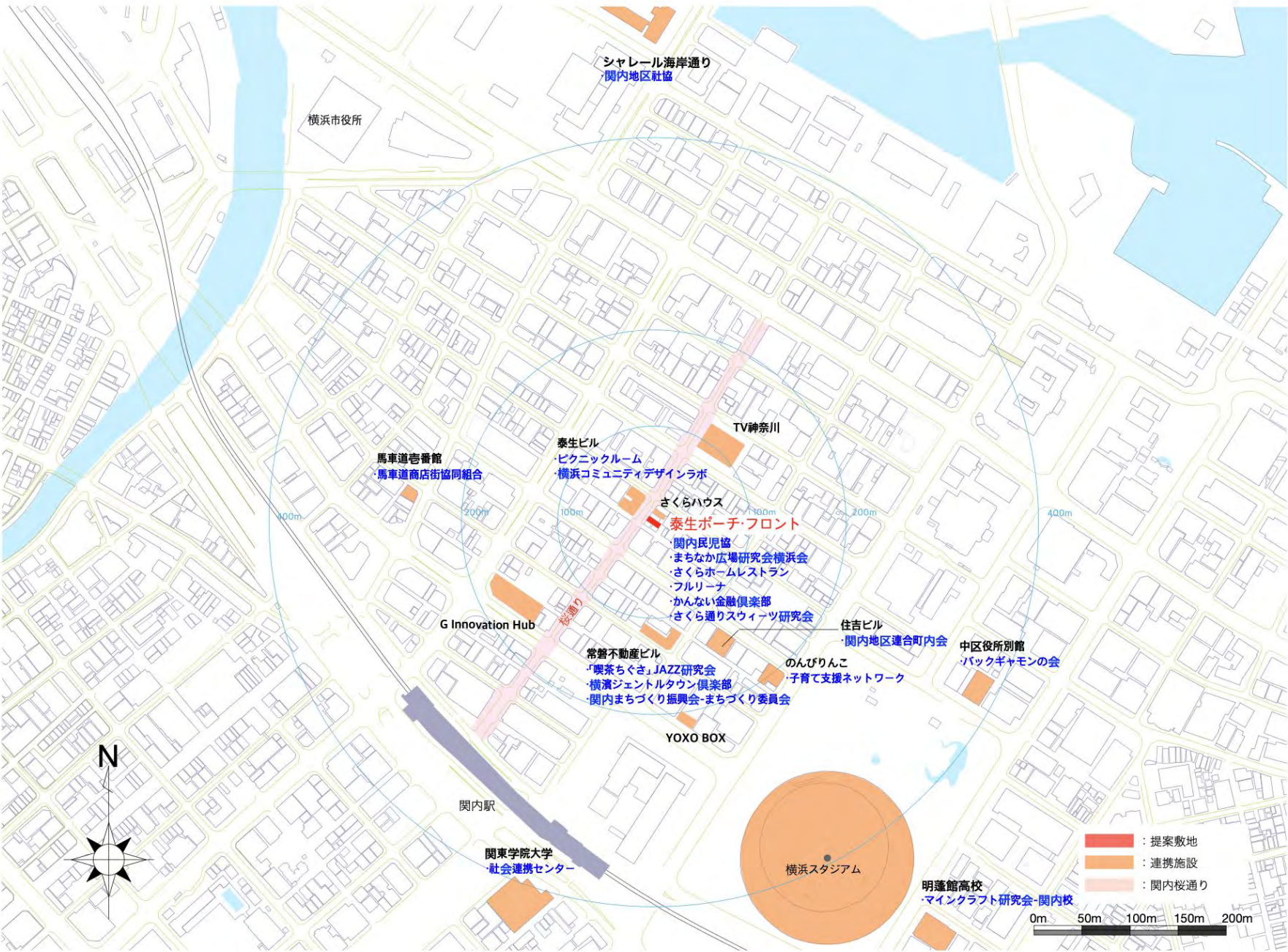
2027年（予定）：北仲通北地区B-1地区（704戸）

2026年11月（予定）：ラ・トゥール横浜（224戸）



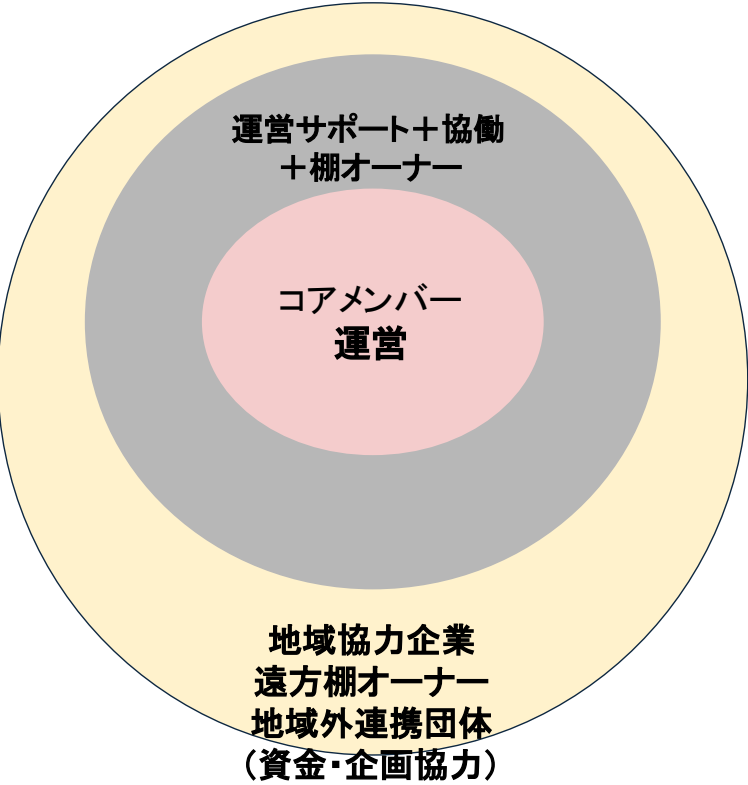


資料2-(位置図)



すでに関わる人と活動を、無理なく “**つなぎ直す**”、新しい人も入りやすくする。

来場＋地域の方



外円から内部に入っていく仕組み

利用参加、用途は大きく3つ

A. 生活動線(近隣)

- タワーマンション
- 周辺オフィス
- 保育・教育・生活圏

→ 平日昼／夕方  
→ 相談・掲示・棚を見る

B. 来街動線(関内)

- 駅 → 桜通り → 泰生ポーチ
- 文化施設・イベント回遊

→ 週末／夜  
→ イベント・偶発的立ち寄り

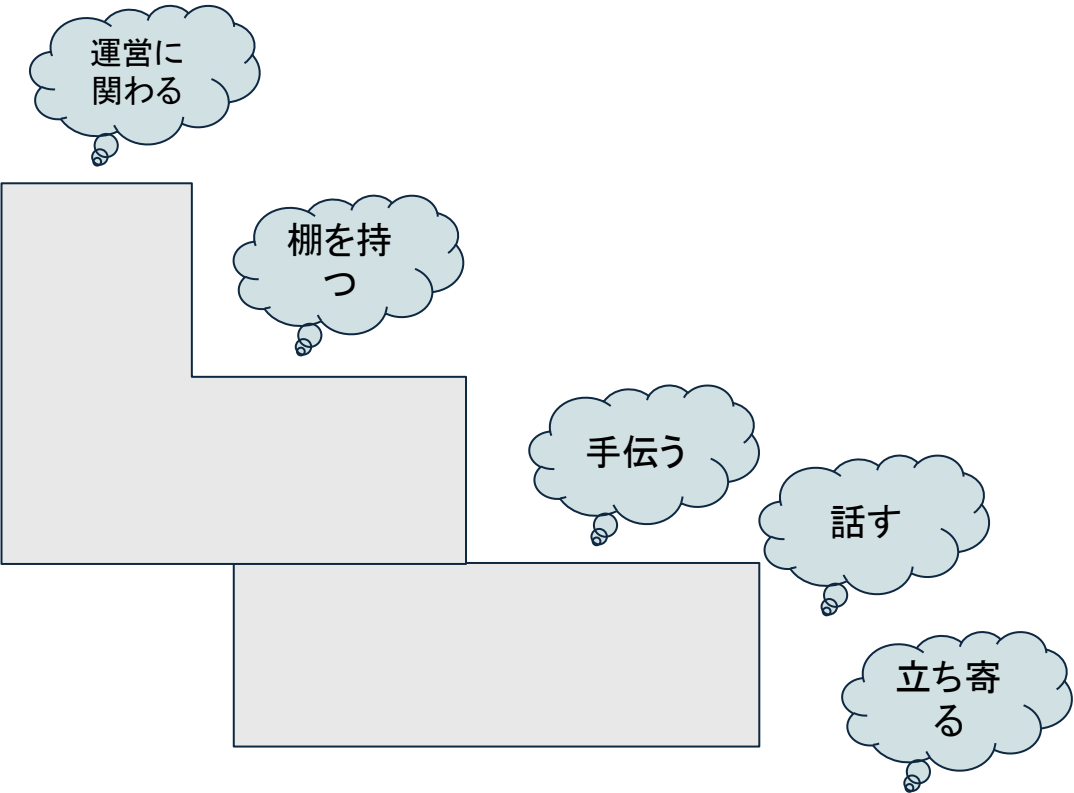
C. 参加動線(関係人口)

- 他拠点・連携団体
- 桜通り沿線の活動

→ 目的来訪  
→ 運営・企画・協力

新規参加者が運営に入る導線図

1. 立ち寄る
2. 話す
3. 手伝う
4. 棚を持つ
5. 運営に関わる





資料4-泰生ボーチ1Fラウンジスケジュール表

2月 1日 (日) ～ 2026年 2月 7日 (土) (日本標準時)

	2/1 (日)	2/2 (月)	2/3 (火)	2/4 (水)	2/5 (木)	2/6 (金)	2/7 (土)
09:00							
10:00							
11:00		ボーチ清掃 (業者 ギップェリさん) 月 曜祝日の場合は火曜 に清掃 10:30 - 11:30					
12:00							
13:00							
14:00							
15:00			面談 15:00 - 18:00		相生町町内会 15:00 - 16:30	認知症カ フェ 15:00 - 18:00	シニアカ フェ 15:00 - 16:00
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							

泰生ボーチ1Fラウンジスケジュール表

2月 8日 (日) ～ 2026年 2月 14日 (土) (日本標準時)

	2/8 (日)	2/9 (月)	2/10 (火)	2/11 (水)	2/12 (木)	2/13 (金)	2/14 (土)
07:00							
08:00							さくらパントリー (定期) 08:00 - 10:00
09:00							
10:00							
11:00		ボーチ清掃 (業者 ギップェリさん) 月 曜祝日の場合は火曜 に清掃 10:30 - 11:30					
12:00							
13:00							
14:00				小泉さん 配信者育 成講座 14:00 - 17:30			【リクエスト中】宇 野 素子 様(スペース マーケット予約ID: 4935252) 13:00 - 16:30
15:00					シニアカ フェ 15:00 - 18:00		
16:00							
17:00							
18:00							

泰生ボーチ1Fラウンジスケジュール表							
2月 15日（日）～ 2026年 2月 21日（土）（日本標準時）							
2/15（日）	2/16（月）	2/17（火）	2/18（水）	2/19（木）	2/20（金）	2/21（土）	
	ボーチ清掃（業者 ギッフエリさん）月 曜祝日の場合は火曜 に清掃 10:00～11:00						
11:00							
12:00							
13:00			さくらホームレスト ラン 13:00 - 19:00				
14:00						ラフェリーチェ&NPO 法人DV対策センター 13:30 - 20:30	
15:00		関内地区民児協 15:00 - 16:30			認知症カフェ 15:00 - 18:00		
16:00							
17:00							
18:00					【予約完了】松本 郁 里 様（スペースマー ケット予約ID: 4864722） 18:00 - 22:00		
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

泰生ボーチ1Fラウンジスケジュール表							
2月 22日（日）～ 2026年 2月 28日（土）（日本標準時）							
2/22（日）	2/23（月）	2/24（火）	2/25（水）	2/26（木）	2/27（金）	2/28（土）	
	ボーチ清掃（業者 ギッフエリさん）月 曜祝日の場合は火曜 に清掃 10:00～11:00						
09:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00			一宮シニアカフェ 15:00 - 18:00				
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	リエトモ倶楽部
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	神奈川区旭ヶ丘
提案名 (25字以内)	「茶の間ガレージ公園」の横浜ハッピープロジェクト
助成金申請予定額	500万円
<b>整備する施設</b> (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<b>1, 整備方針</b> 既存のガレージを活用し、「茶の間のような公園」として整備します。人工芝や季節装飾により、自然のぬくもりを演出します。ホスピタリティ溢れる人たちを集め心地の良い空間を作り、地域に開きます。多世代が自然に集い、交流・見守り・活動ができる場とします。夏は直射日光を避けた水遊び、冬はアウトドア用品による「暖」を演出し、通年で利活用します。既存の機能を活かしながら、公園機能をプラスし、身近でありながら、より安心安全で利用できる場所にします。 <b>2, 整備概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家具：カウンター・テラス・段差カウンター・ウォールバー</li> <li>・床面：人工芝により転倒防止・足裏刺激による健康促進</li> <li>・柵：ドッグラン機能（中型犬まで）</li> <li>・天井：木質クロスを貼り、茶の間感を演出</li> <li>・掲示板：住民主体で更新、地域情報・装飾の発信拠点</li> <li>・遊具：トンネル・黒板など、子どもの交流誘発。</li> <li>・立ち水栓：手洗い・水遊び・清掃</li> <li>・緑化棒：壁面緑化（10～20年計画）住民参加型で作成</li> </ul>
<b>施設の活用・活動内容</b> (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<b>①高齢者支援</b> ：外出促進・フレイル予防。ラジオ体操・茶話会・椅子ヨガ等を実施し、元気な高齢者が清掃・見守り・指導等で参画できる仕組みとし「年齢に関わらず役割を持てるまち」を目指します。 <b>②子ども・子育て支援</b> ：人工芝と遊具による安全な遊び場を設け、学習・放課後利用を促します。 <b>③生活利便性補完</b> ：マルシェ販売（野菜・地産品等）、掲示板による防災・暮らし情報発信を行います。 <b>④イベント・コミュニティ再生</b> ：フリーマーケットや季節行事を住民主体で開催し、協働力と災害時の支え合い力を強化します。 <b>⑤シンボル機能</b> ：待ち合わせ・タクシー乗降等の目印として活用します。
<b>提案の背景</b> (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、	本提案は、地域住民との茶話会や試験的イベントを通じて集められた住民の声から生まれました。当該地区は山の上に位置し、地形的高低差により外出機会が減少しやすく、高齢者の孤立が進行しやすい状況であることが確認できました。また、既存の自治会館は会議室が2階にあり、「階段が急で怖くて使えな



生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)  
※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください

整備プロセス（スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4）、費用削減の工夫に触れて説明してください)

維持管理・運営計画及びその実施方法（維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4）に触れて説明してください)

い」と複数の高齢者から声が上がり、現在は山の中腹にある地域交流スペース「栗田谷中学校まろんる一む」が利用されていますが、車がないとアクセスが難しく、膝痛や杖使用の高齢者にとって、山の上からの利用困難であることも判明しました。本提案地は「山の最上部」「1階」という好立地であることから、提案に至りました。屋内部分は代表の所属する法人の岩井同族の所有となりますが、CSRの一環として、地域貢献に繋がると考え、代表が主体となり、屋内でも茶話会や寺子屋などの地域活動を実施します。

整備は採択後から約10か月を目安に段階的に実施し、専門業者による安全施工と住民参加によるDIY活動を組み合わせ、整備段階そのものを交流と学びの機会とします。  
《スケジュール（案）》

時期	主な作業	担当者/連絡先	費用圧縮の工夫
2月～4月	実施設計	実行委員会＋ナタスタジオ	ボランティア補助で労務費圧縮
6月～	工事着工	実行委員会＋ナタスタジオ	
8月	DIY家具・什器作成	子ども＋高橋屋＋ナタスタジオ	廃材活用、工具提供
10月	完成	ナタスタジオ	緑化は10～20年の長期育成 → 初期投資最小化

《活用する地域資源》  
地域資源として、空いているガレージを拠点とし、1階の屋内空間は定期的に地域活動を行いつつ、平常時はトイレ利用として貸し出します。また整備時には地元企業から資材を提供いただき、地域住民を巻き込んでDIYを行うことで、コストを削減します。

「セルフ運営型コミュニティ拠点」として維持管理を実施し、代表者が総括しつつ、地域住民が役割分担を持ちながら運営します。無人運営を基本としながらも、常時見守り体制を確保し、低コストで持続可能な運営モデルとします。  
① 運営体制（役割分担）

世代・役割	主な担当内容
代表	全体統括・利用管理・防犯見回り・囲碁講座
30～40代（IT・広報）	LINE登録制管理、利用者調整、Instagram/WEB発信、経理
50～60代（運営中核）	イベント企画、運営管理
高齢者（見守り・講師）	見守り、緑化・水やり、健康講座等
子ども・学生	DIY・装飾、イベント参加、地域学習

②維持管理方法

管理内容	方法	担当
防犯	在宅時に代表が見回り。不在時は警備担当メンバーが監視	代表＋担当
清掃	毎朝または利用後セルフ清掃。	50～60代メンバー＋利用者
設備点検	月1回点検。故障時業者発注	代表＋ナタスタジオ
緑化管理	担当住民とメンバーが管理	緑化チーム
情報発信	LINE・SNSで運営状況を共有	30～40代メンバー

③活用する地域資源（運営フェーズ）

資源	活用方法
町内会ネットワーク	場所の提供
地域福祉機関	高齢者支援・専門相談
PTA・学校	子ども参加型運営（DIY・学習連携）

④持続可能性（費用・人材面）  
・利用料100円（利用時に会員登録）寄付、マルシェ売上などで維持費確保

	・室内スペースでの講座開催（語学・茶道・ワイン・脳トレ等）で集客誘導
--	------------------------------------

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

1 次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください	7～11月にかけて、子ども向け遊び（スイカ割り、花火鑑賞、囲碁・オセロ対決など）を実施。地域交流として旭ヶ丘親交会イベント参加、学校・福祉施設・茶話会・農家・カフェ・寺院等を訪問し、訪問・体験を通じて地域とのつながりを深め、全体で15回の遊び活動と20回の交流、12ヶ所の場合見学を行いました。既存イベントや施設の周知、居場所が必要であることが分かりました。
関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者・物件オーナー：事業趣旨および整備計画を説明し、当該ガレージ・中庭の利用について了承を得ています。</li> <li>・近隣住民：これまでに茶話会形式で計3回の説明会を行い、「山の上で利用できる場所ができるのは嬉しい」「日中中心の運営であれば問題ない」といった意見が寄せられました。騒音や出入りに関する懸念についても説明し、日中利用を基本とする運営で理解を得ています。</li> <li>・自治会・町内会：事業内容と今後の活用イメージを説明しており、自治会長からは「地域交流や防災にも活かせる可能性がある」との前向きな意見が示されています。今後は、季節行事や防災訓練などの場面での連携について、具体的な協議を進めます。</li> </ul>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本提案は公園に隣接する屋内外一体のスペースを活かし、単なる「休憩場所」ではなく、地域文化の再生と学びを兼ね備えた多世代型コミュニティ拠点とする点が大きな特徴です。</li> <li>・第一に、地形による高低差という地域特有の課題を逆手に取り、「山頂にあるからこそ価値がある居場所＝交流の頂点」として再定義している点です。</li> <li>・第二に、無人運営型・DIY中心とすることで、人件費や維持費を抑えつつ、公園機能 × 茶の間機能 × 防災拠点機能を兼ね備えた、「小さな投資で大きな社会インパクト」を生むモデルとなっています。</li> <li>・第三に、若年層はIT・広報、高齢者は見守りや講座、子どもはDIYやイベント参加といった形で、多世代がそれぞれの得意分野で役割を持ち、運営スタッフ自身が利用者でもある構造になっている点です。語学・茶道・ワイン・認知症予防など、16種類以上の特技を活かした講座を予定しており、将来的な収益化にもつながります。</li> <li>・最後に、利用する人によって使い方が変わる自由度の高い場であり、試験的なイベントを通じて既に住民から親しまれつつあります。設備整備に留まらず、地域の関係性・文化・役割を育て直すための仕組みづくりそのものが、最大のPRポイントです。</li> </ul>
目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽しさを入口に、地域の課題解決につながる多世代協働型の共生拠点」となることを目指します。</li> <li>・「ゴミ拾いウォーキング」や「わんわん警備隊」（犬の散歩を兼ねた見守り）など、楽しみと地域貢献を組み合わせた活動を通じて、住民が無理なく社会参加できる仕組みをつくります。</li> <li>・健康づくりプログラム等を通じて、高齢者が生きがいと役割を持ち続けられる環境を整え、フレイル予防にもつなげます。子どもや若い世代、学生も活動に関わることで、防災・介護・子育てといった日常的なテーマを「共に学び備える」コミュニティを形成します。</li> <li>・本拠点をハブとして人にやさしいまちづくりのモデルへと発展させていきます。</li> </ul>

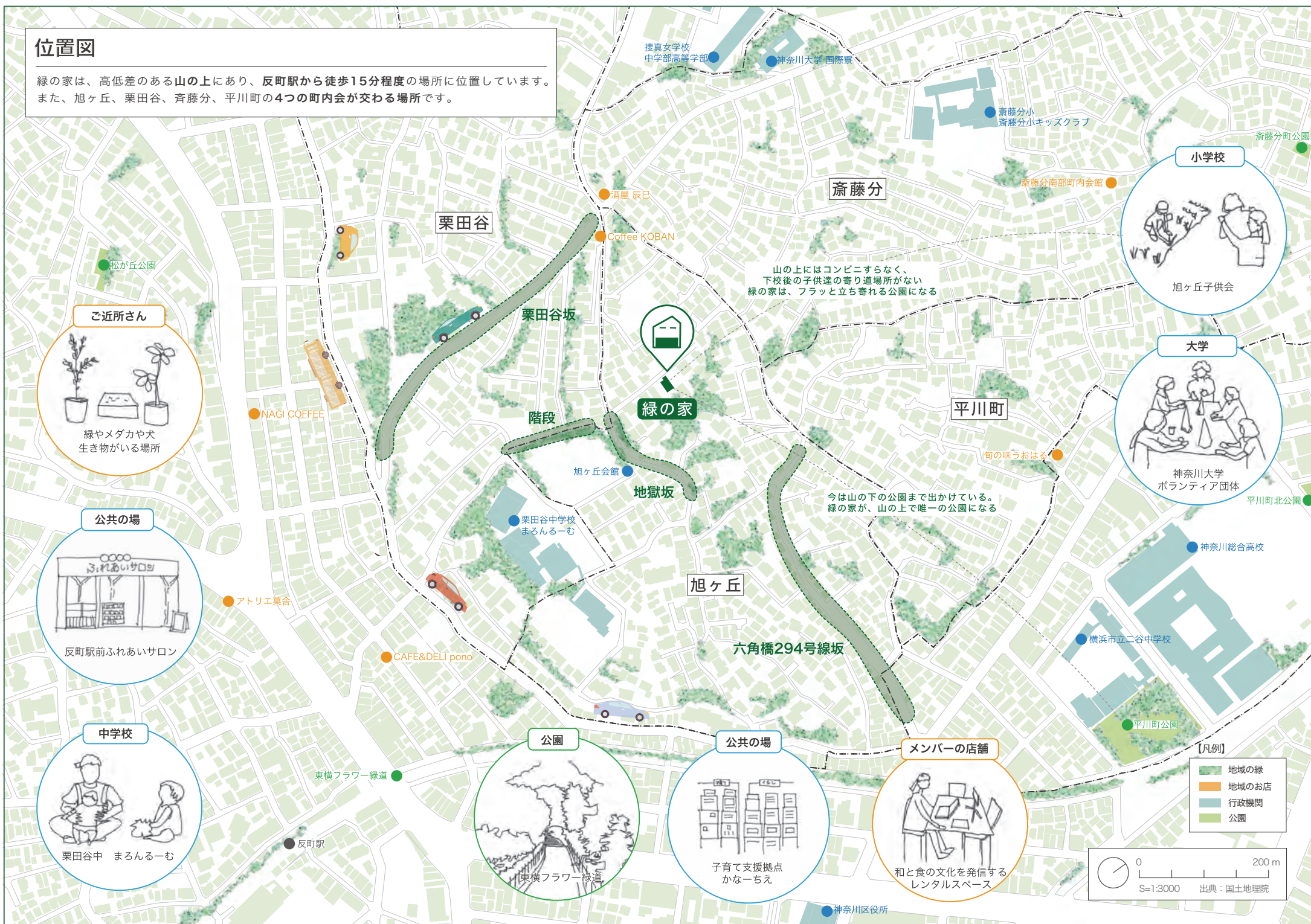
次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ☐ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☐ 第2次提案書（その他添付の公開資料）に個人情報はありません。



## 位置図

緑の家は、高低差のある山の上にあり、反町駅から徒歩15分程度の場所に位置しています。  
また、旭ヶ丘、栗田谷、斎藤分、平川町の4つの町内会が交わる場所です。





## 地域住民が集い交流する、茶の間の小さなガレージ公園

既存のガレージ空間を、誰でも入れる、地域に開かれた公園に改修します。

半屋外空間を活かして、広場としての開放性と、家族が集まる茶の間のような落ち着きが両立した空間を目指しました。

### 計画①

#### 緑と木に囲まれた茶の間のような広場

閑散としたガレージ空間を緑と木に溢れた開放的な空間に改修し、地域住民に開かれ、集う茶の間のような広場に整備します。

### 計画②

#### 誰もが遊べるみんなの遊具

芝生広場の周囲に、様々な用途で使える、遊具のような家具を整備します。赤ちゃんからお年寄りまで多世代に開かれた場を目指しています。

### 計画③

#### 地域の声を反映した様々な設えの集積

休憩ベンチや、地域情報の掲示板、カウンター、様々なイベントに対応する移動式家具など、地域住民の声を反映した、細やかな設えを整備します。

#### 寝っ転がれる人工芝

既存のコンクリートから、赤ちゃんにも、高齢者にも優しい人工芝に張り替えます。

#### 天井-木材増貼り

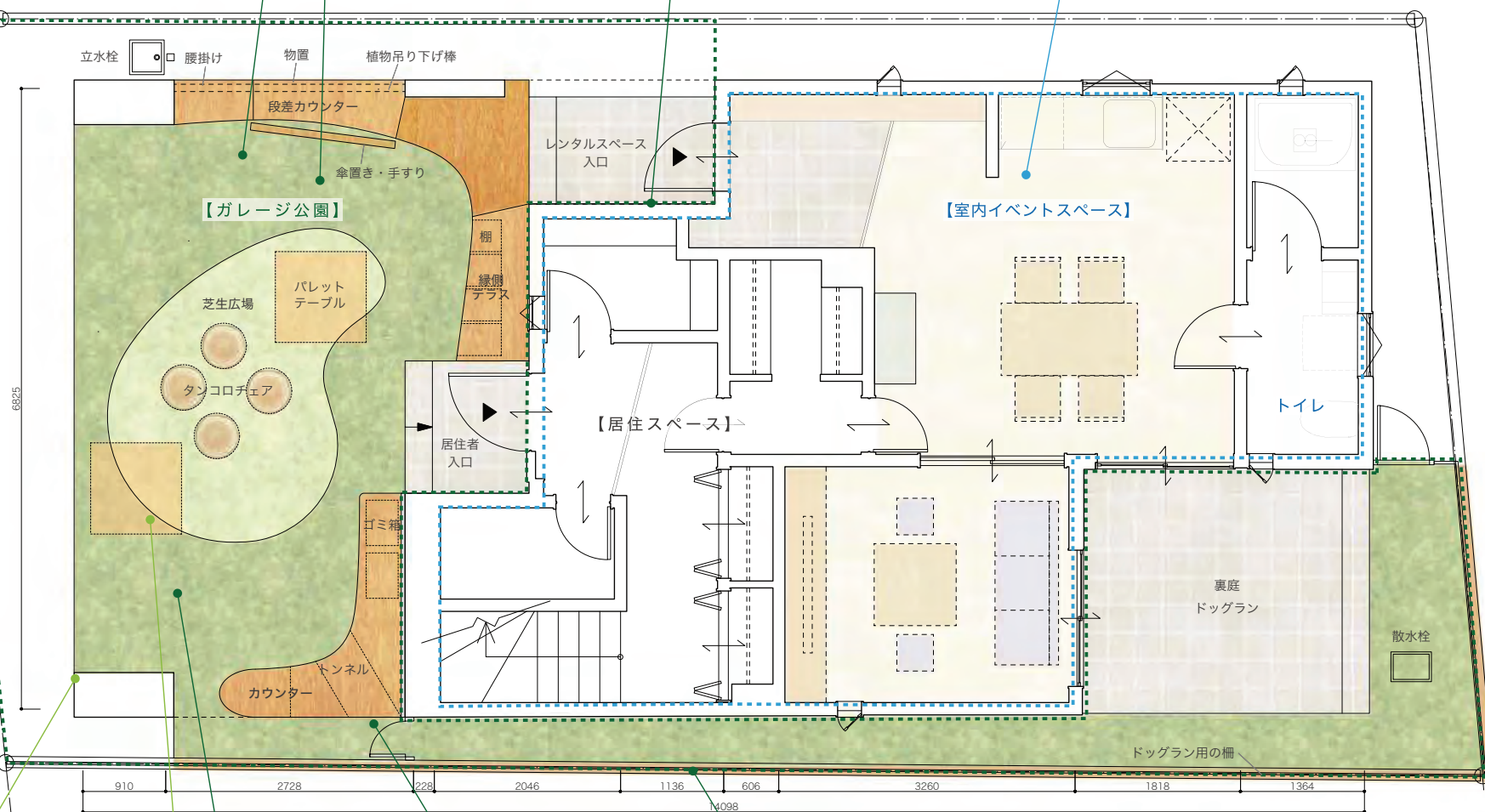
真っ白なガレージの天井から、茶の間のような落ち着きを感じられる木質のクロスを増し貼ります

#### 地域情報を発信する総合掲示板

隣接する複数の町内会や、横浜市の情報がひとまとまりになった、地域の総合掲示板をつくります。

#### 室内イベントスペース

子供達の勉強会や、高齢者の囲碁、将棋対決、月2回程度の有料室内イベントを行います。



#### 町の緑とつながる緑化

10年後には壁の半分、20年後には建物全体が緑になります。緑の家が町のシンボルになります。

#### 移動式パレット

多様なイベントに対応した移動式什器です。地域の人と一緒に制作します。

#### カスタマイズ天井

植物、季節の装飾などを吊るし季節の流れを感じる空間に。

#### ④遊具のような家具

ゴミ箱やベンチ、棚、カウンターといった機能的な什器を子供たちも遊べる遊具のように作ります。

#### ドッグラン

中型犬まで利用できるドッグラン。高齢や共働きで十分に散歩できない方たちが使える場所にします。

#### 【凡例】





## 開放感と落ち着きの両方が感じられる、茶の間のようなガレージ公園



多様な高さの遊具のような家具。  
傘かけの棒が手すりになり、バリアフリーも工夫している



ドックランに抜けられるトンネルがあるカウンターとゴミ箱。

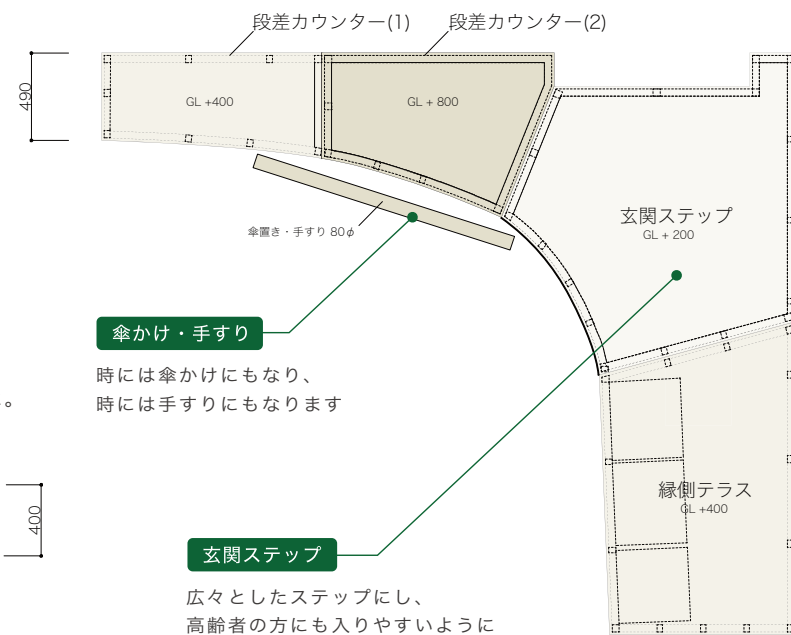
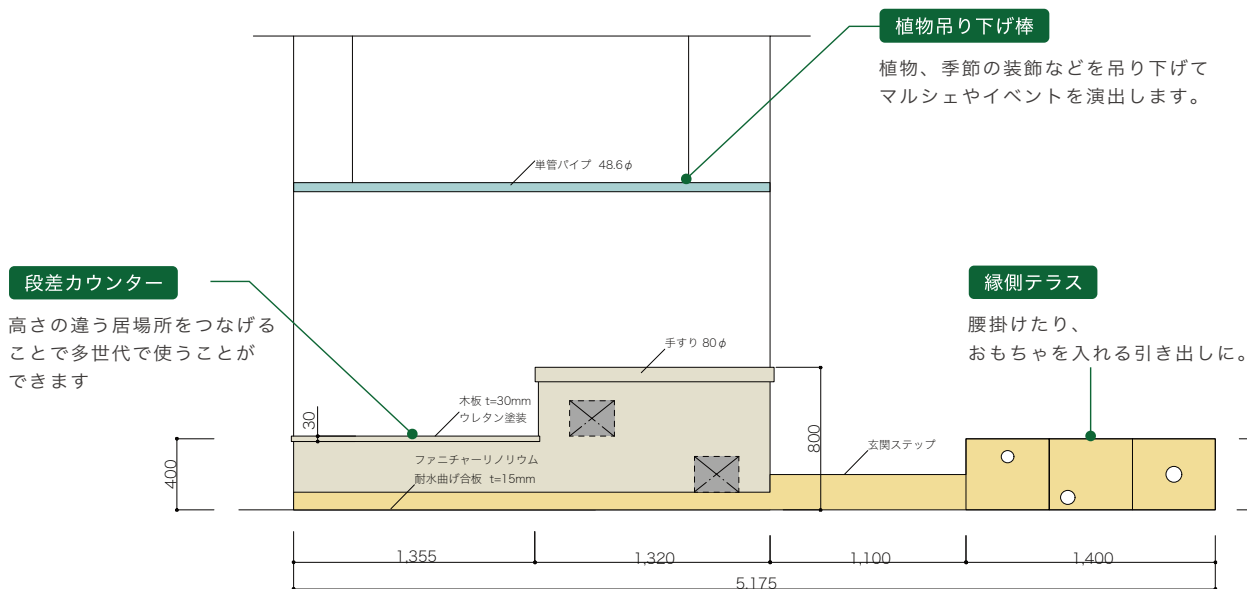


20年後の緑の家。緑の成長と共に、町のシンボルマークとなっていく

## 多世代の活動のきっかけをつくる遊具のような常設家具

ゴミ箱や棚、バーカウンターなど公園の機能を担う家具を、遊具のようにつくります。

高齢者からしたら手すり、子供からしたらぶら下がり棒。このように、機能的な枠を超えて、多世代が遊ぶように使い倒します。



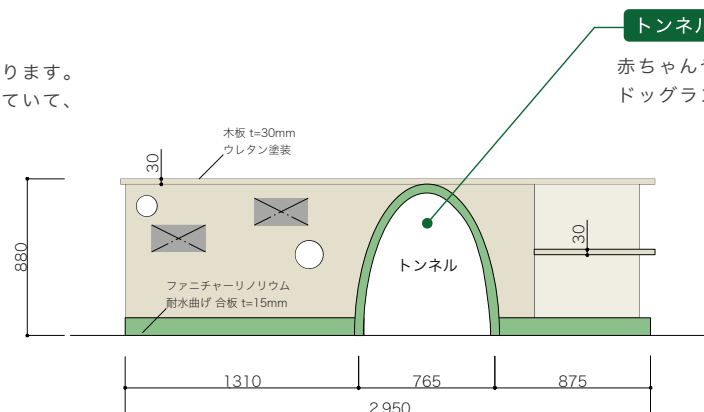
家具 1：段差カウンター・縁側テラス

立面図

平面図

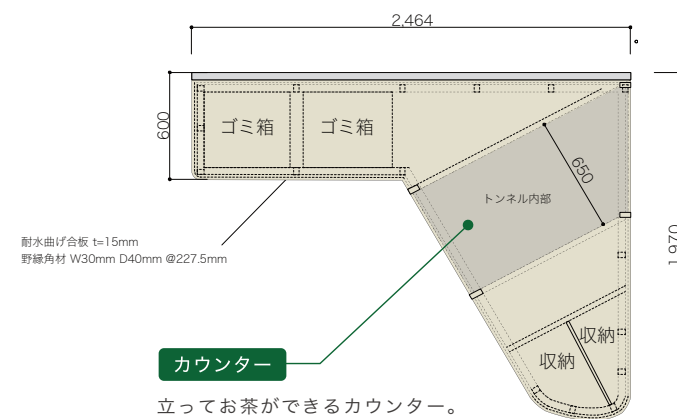
### ゴミ箱

地域のポイ捨て防止用のゴミ箱を作ります。分別用のサインははめ込み式になっていて、積み木のように遊べます。



### トンネル

赤ちゃんや中型犬まで潜れるサイズで、ドッグランまでつながるトンネル。



家具 2：トンネルカウンター

立面図

平面図

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
家具工事	カウンター・テラス・段差カウンター・ウォールバー・掲示板・遊具	1式	2,885,000	2,885,000	家具天板の研磨・塗装の一部を子供たちや地域住民と行う。10人×2日
人工芝	広場・ドックラン	40㎡	11,250	450,000	
ドックラン柵	セランカンバツ	1式	350,000	350,000	木材の塗装を子供たちや地域住民と行う。10人×2日
天井仕上げ増し貼り工事	木質系特殊クロス	1式	255,000	255,000	
給排水工事	立ち水栓取り付け	1式	200,000	200,000	
電気工事	外用コンセント取付・室外機壁掛け	1式	360,000	360,000	
設計費	工事費の12%程度	1式	500,000	500,000	
【申請外の項目】					
材料費	塗料・塗装道具・パレット・椅子・緑化棒	1式	300,000	300,000	募金や寄付を集めて費用を捻出する。住民からDIY作業者を募集し、子供達も一緒に制作する。
合 計				5,300,000	



## ● 1 次コンテスト以降の活動内容 ●

月

子供の集まり・遊びの実践

地域との交流・イベント視察

地域の交流の場見学

7

- ・スイカ割り
- ・かき氷づくり
- ・宿題会
- ・プール
- ・スイカでフルーツポンチづくり



▲フルーツポンチ



▲ポッチャの練習会



▲みーとみーとでの流しそうめん

8

- ・浴衣で花火鑑賞会
- ・木のストローづくり
- ・流しそうめん



▲スイカ割り



▲浴衣で花火鑑賞



▲おばあちゃんと小学生のオセロ対決

9

- ・稲刈り



▲ダンボールの家づくりに集まった子供たち

- ・ダンボールの家づくり
- ・囲碁対決
- ・オセロ対決
- ・カレーづくり

- ・旭ヶ丘会館視察
- ・旭ヶ丘親交会サロン丘の上  
主催イベント参加
- ・神大ボランティアサークル  
(G☆Y☆L) 代表ご挨拶
- ・旭ヶ丘親交会会長・副会長  
ご挨拶
- ・かなーちえご挨拶
- ・親子のたまり場  
(まろんるーむ) 見学
- ・わが町かながわマナー違反  
一掃作戦視察
- ・旭ヶ丘親交会三役  
ミーティング開催
- ・斎藤分小学校ふれあいまつり  
見学
- ・フラワー緑道フェスタ視察
- ・青木第一自治連絡協議会主催  
ポッチャを楽しむ会

- ・第一回近隣住民説明会・茶話会
- ・神奈川区民まつり視察
- ・赤レンガ倉庫犬イベント視察
- ・和菓子縁日視察
- ・神奈川区交流イベント参加

- ・第二回近隣住民説明会・茶話会
- ・地産地消食育イベント視察
- ・円覚寺休憩室視察

【現地見学会参加】

- ・リトルファームもくり
- ・パリ横テラス
- ・太陽ローズハウス



▲icocca リサイクルの箱とオレンジの扉

・icocca 訪問

- ・大倉山ミエル訪問
- ・てんこもりのわ訪問



▲西柴さくら茶屋の小柴産穴子の天井

・石井造園ウチソトカフェ訪問

- ・ハートフル・ポート訪問

・西柴さくら茶屋訪問

- ・みーと・みーと訪問
- ・こまちカフェ訪問
- ・こよどりカフェ訪問



▲近隣住民説明会・茶話会

計 15 回

計 20 回

計 12 ヶ所

### ○メンバーミーティング

7/17、8/4、8/19、8/30、9/6  
9/13、10/19、10/21、10/28、11/21

何度も、メンバー間で模型を囲みながら、議論を続けました。地域から聞いた声を、どのようにソフトやハードに反映するか、4ヶ月の間で試行錯誤して原案にたどり着きました。



▲ミーティングの様子

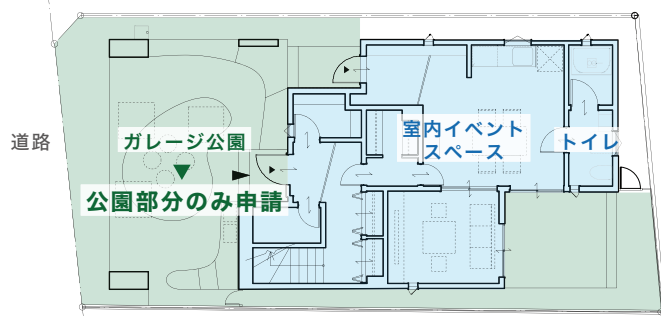
### ○まとめ

街にはホスピタリティ溢れる様々な自治会や行政のサービスがあるにもかかわらず、知らない・参加できない方が数多くいることがわかった。また、中高生の居場所や多世代が気軽に利用できるカフェがないことがわかった。一次審査後の活動を通して、地域の居場所を発信し、地域の輪をつなぐ拠点が必要だと改めて実感した。また、後期高齢者の日常的な脳トレや筋トレの大切さを学び、今後の活動予定に反映しました。



## 赤ちゃんから高齢者まで 活動が十人十色のガレージ公園

### 公園＋室内イベントスペースによる地域の居場所づくり



	公園	室内イベントスペース
料金	100円（日）	年会費1,000円
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生広場</li> <li>カウンター</li> <li>ドックラン</li> <li>屋外イベント</li> </ul> →マルシェ 季節のイベント スイカ割り など	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人寺子屋（一回：＋1000円） →ネットショップ・パソコン 投資・健康管理・美容・歌など</li> <li>子供寺子屋（一回：＋1000円） →折り紙・読解・勉強・料理・語学など</li> <li>ポスト代行（50円）</li> <li>荷物受け取り代行（50円）</li> <li>室内イベント（有料）</li> </ul>
共通	トイレ使用・食の防災訓練・トークイベント・オリジナルツアーなど	

### 活動の時間差によって適度な多世代交流を生む

時間	通常		イベント	
9:00	朝のお散歩の 立ち寄りスポット ご近所さんの 座談会	室内サービス	マルシェ メダカ 季節イベント スイカ割り 焼き芋づくり	【食の防災訓練】 ・お汁粉づくり ・おかゆづくり ・火おこしBBQ ・秋の地産地消 （年6回程度） トークイベント
10:00				
11:00				
12:00	皆んなの ランチタイム	大人寺子屋	コーヒー （月2回程度）	和菓子縁日 ハンドマッサージ 茶会 囲碁・オセロ スゴロク
13:00				
14:00	おやつで座談会			
15:00				
16:00	子供達の集会所	子供寺子屋		
17:00	夕方のお散歩の 立ち寄りスポット			
18:00				

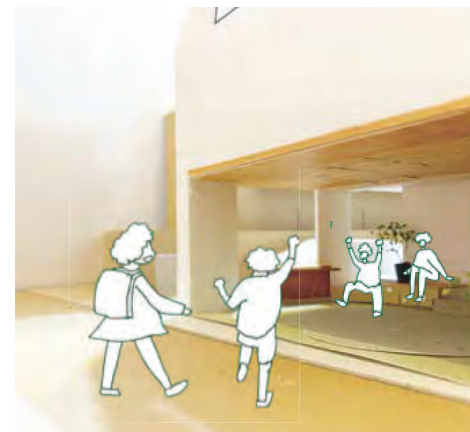
### ● 公園の活動イメージ ●



芝生上のハイハイする赤ちゃん和犬



野点の茶会で和文化に気軽に触れる体験



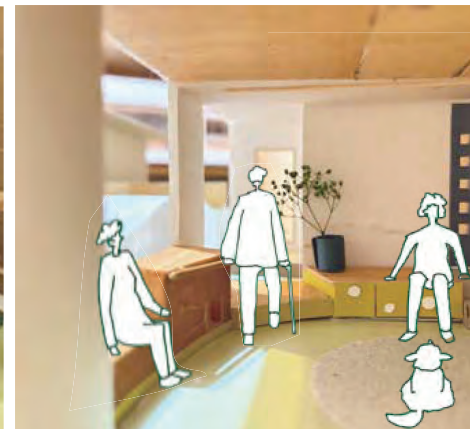
放課後に遊びに来る小学校の子どもたち



秘密基地化して遊ぶガレージキャンプ



子どもの遊具にもなる家具



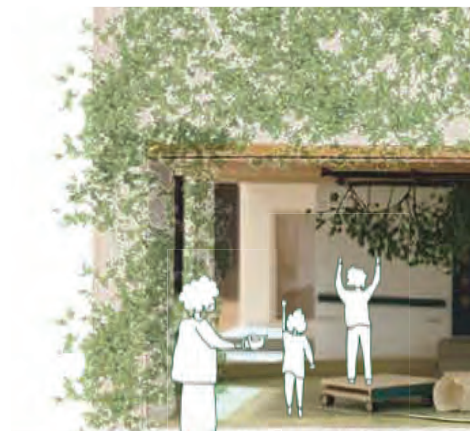
高齢者にも優しい手摺り付きの緩やかな階段



地域の人たちが売ったり買ったりするマルシェ



プールイベント。季節の装飾が天井に飾られる



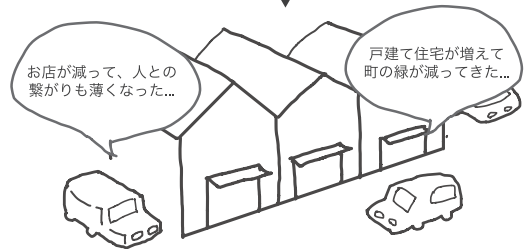
地域のみんなで緑を育てる（イメージ図）

# 小さなガレージ公園から広がる人に優しく楽しいまちづくりの輪

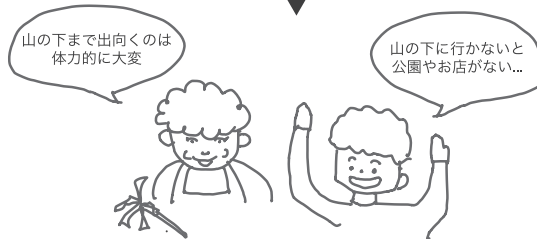
## プロジェクト発足までの歩み



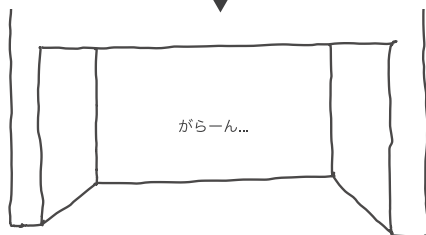
幼少期から  
緑と共にある地域の親密な関係性の中で育つ



宅地開発が進み、緑と地域の関係性が  
徐々に薄れていることに寂しさを覚えた



山の上と下で物理的な分断があり  
地域の人から不満の声があることを知った



特に使っていない自宅兼事務所のガレージ  
ここを緑あふれる公園にしよう！

## 緑の家の場と活動を起点に広がる地域ネットワーク



50代女性



70代女性



小学生  
(齋藤分小や旭ヶ丘子ども会など)



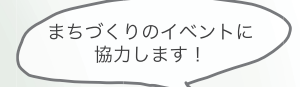
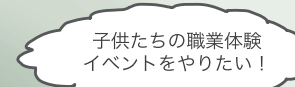
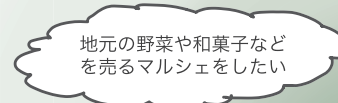
メンバー

隣に住んでいる  
おじちゃんKさん



メンバー

ワインメーカーの  
営業部長 Hさん



メンバー

神奈川大学  
ボランティアサークルの学生



隣のおばちゃんRさん



和菓子食べて  
茶話会したい

リエトモ倶楽部

子育て世代のお母さんの愚痴を  
聞いたり癒しの場にしたい

ママ友と近所でランチしたい

メンバー

保護者のママ友

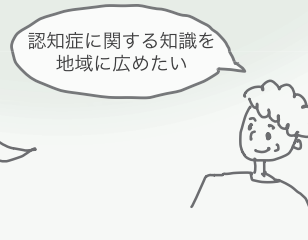


近所のお兄さんTくん



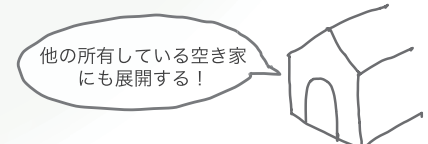
メンバー

ママ友のEさん



メンバー

ミツ沢ケアプラザ Hさん



イワイハウス



## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 リエトモ倶楽部	
事前質問	回答欄
植松委員	
① 地形的には有利とは言えない場所であることを逆手に取って、この場所が必要であることに結び付けている点は素晴らしいと思います。先ず、この場所で活動を展開してしまってお家の車は停める所に困らないのでしょうか。	ご心配頂き有難うございます。車は別の駐車スペースがありますので、問題ありません。
② 随分多くの分野の方を巻き込んでいらして素晴らしいと思います。「『セルフ運営型コミュニティ拠点』として維持管理を実施し、代表者が総括しつつ、地域住民が役割分担を持ちながら運営します。無人運営を基本としながらも、常時見守り体制を確保し、低コストで持続可能な運営モデルとします。」とありますが、それを実現・維持運営していく見通しを教えてください。	実際に運営をしながら、課題を見つけるために、最初は、月10日程度から公開し、段階を踏んで日数を増やしていく予定です。基本的な見守りは、近隣のメンバーが中心に行います。地域の主婦や学生、知人友人のボランティアを募っていきます。顔見知りの人が見守り運営することで、安心安全で質の高いサービスの提供を行います。現在リエトモ倶楽部メンバーと地域のボランティアメンバーは合わせて50名程度ですが100名に増やします。大小様々、年間100回程度のイベントの開催を目指します（上記イベントに内部イベントは含みません）。
③ 半分住み開きに近い状況にもなると思うのですが、ご家族のご理解などは得られているのでしょうか。	生活動線が別になりますので、特に問題はなく承諾しております。常に来客があることで、家が綺麗になり、季節の装飾も華やかになり、家族は喜んでおります。近隣の方々との交流が深くなることは防犯防災の面からも安心に繋がり、有難いことだと考えております。
小川委員	

<p>① 町内会の課題と、本提案の方向性がずれているように見受けられます。どう受け止めていますか。</p>	<p>町内会の課題は色々ありますが、旭ヶ丘親交会（町内会）会長からは、顔の見える町内会、有事に助け合える関係性作りを要望されました。共働き家庭と新住民が増え、自治会（町内会）の活動に参加する人が減っているので、時代のニーズに合ったコミュニティーを作り、リエトモ倶楽部ならではの「安心安全で住みやすい町づくり」を目指します。活動を始めて、近隣の方々との交流が出来てきました。徐々に輪を広げて、活動を神奈川区全体に広げていきます。沢山の人たちに関わってもらうことで、新しいまちの価値を創造し、楽しくまちの自治に参加する仕組みを作ります。町内会からは公式 LINE ページを作りたいという要望がありました。直接お手伝いできることにも協力しますが、IT 化のサポート要員や次世代の町内会の担い手も探していきます。</p>
<p>② 屋内外一体のスペース活用を行う上で、暑さ・寒さ・雨天時の対策はどのように考えていますか。</p>	<p>屋根付きなので、夏は一般の公園より快適です。夏の暑い時は水遊び、冬の寒い時はお汁粉作りや体操などの体が温まるイベントを考えております。犬の散歩の方々はお天気に関係なく来ると思います。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>①「公園」のように誰もが自由に使う時間と、講座のようにイベント的に占有して使う時間などがどう両立するか、連携するかについて、月間スケジュールなどで、運営する人の配置も含めて、今後説明して頂けると理解が深まります。</p>	<p>基本的に「公園」は平日 9 時～17 時にオープンし、誰もが自由に使えるフリースペースとして開放します。平日の公園内のイベントは飲食物の販売のほか、座談会や健康体操など誰でも気軽に利用できるサービスを無料で行い、利用や参加を強制せず、同じ空間にしながら各自自由でいられることを考えています。休日の「公園」は貸し切りイベントを開催し、フリーマーケットやマルシェ、骨董市などゴミの削減や SDG's などの社会貢献や教育にも繋がる有料イベントに利用します。公園の休日イ</p>



	<p>ベントは月１回程度の予定です。「ドッグラン」スペースは貸し切りが出来るようにします（有料）。寺子屋や講座は屋内スペースを利用します。大人向けの寺子屋は平日の 13 時～14 時半、子供向けの寺子屋は平日の 15 時半～17 時を予定しています。※参考資料別紙あり</p>
國廣委員	
質問なし	
後藤委員	
<p>① テラスなどを常設的に整備してしまうと、逆にこの場の柔軟性や自由度を損ねるように思ったのですが、どうでしょうか。</p>	<p>自由に遊べる広場を中央に配置し、その周辺にテラスやカウンターを設ける計画としています。</p> <p>広場には可動式の椅子やテーブルを配置し、可動家具と常設家具を組み合わせることで、多様なイベントや遊び方に柔軟に対応できる計画としています。</p> <p>今回のコンセプトである“茶の間”には、「昭和の茶の間」のようにテレビやちゃぶ台を囲んでみんなが集まるのではなく、同じ空間にいながらも行動は別々でも良い「ゆるく集まる場所」という「令和の茶の間」をイメージしました。</p> <p>テラスやカウンターなどの常設家具は、ベンチ、ゴミ箱、棚、手すり、遊具などが組み合わせさり、多様な使い方で一体となったデザインにすることで、利用者によって違う使い方が出来、多世代が同じ空間にいて緩やかにつながりが保てるように工夫しています。</p>
鳥海委員	
<p>① 仲間がたくさん増えて活動がひろがりますね！基本的にガレージ部分を共有スペースとすることで具体的なイメージがとてわかりやすくなりました。ガレージ内を私有地における公園のような場と設定する際に利用時間等、利</p>	<p>ガレージ公園の公開時間は平日 9 時～17 時の予定です。</p> <p>利用者には会員登録（無料）をお願いします。LINE 登録、または、名前と連絡先を頂きます。出来る限り利用者には、保護者や身元引受先の情報を頂きます。</p>

<p>用者へのルールがあったら教えてください。</p>	<p>トイレの利用方法、ゴミの捨て方、ケガ・紛失物等の自己責任、器物破損は一緒に修理するなどのルールを作ります。</p>
<p>② ガレージを整備することで、今後レンタルスペースや居住者等の駐車場への影響はありませんか。</p>	<p>影響はありません。20年～30年後、一軒家が必要なくなったら、家全体を開放し、自治会館や地区センターのように、地域の人が使え施設することを考えています。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>① 仲間が増えることで、活動にも幅がひろがっていることが伝わりました。公園部分の利用予約などはどのように管理しますか。</p>	<p>公園スペースをガレージ部分とドッグラン部分の2つに分割します。ガレージ部分は利用予約は不要です。平日は貸し切りもしませんので、自由に出入り頂けます。土日祝はイベントに利用します。ドッグラン部分は有料で貸し切りが出来るようにします。予約は、LINEで受けるようにしますが、LINEを利用しない方は、電話や直接の申し込みやメンバーへの連絡で申込み可能にします。</p>
<p>② 内部スペースの利用には、家賃がかかりますか。その場合、費用を捻出できますか。</p>	<p>内部スペースは、現状のまま、会社の事務所として使用できるようにし、家賃がかからないよう整理しました。ボランティアスタッフの荷物置き場や休憩場所、来園者のトイレやおむつ交換場所としても利用出来るよう提供します。公共性は出しながらも民間運営であるため、利用者からは施設利用料として100円を回収します。個室スペースは有料で時間貸し出来るようにします。売り上げは、トイレの清掃代、水道光熱費や消耗品経費や活動費に補填します。</p>
<p>③ 公園部分は、靴を脱いで入るのでしょうか。必ずしも家族だけではないと思うので、犬や赤ちゃんがどのように場所を共有するのかルールなどあれば教えてください。</p>	<p>基本的には靴を履いたまま利用しますが、裸足でも利用できるように危ないゴミ等がないように清掃をします。犬の苦手な方がいた場合には、犬連れの方と距離をとれるようにドッグラン奥にある中庭と別れて、過ごしていただけるようにします。</p>
<p>④ 計画について、ご家族も協力する予定</p>	<p>家族はリエトモ倶楽部メンバーではなく、</p>

<p>ですか。</p>	<p>一住民として、可能な範囲でボランティアで運営協力をしてくれます。イベントにも参加します。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① 提案書にあるガレージ公園のデザインは、どのようなプロセスを経てまとめられ、描かれたものですか。</p>	<p>まずは殺風景で冷たいイメージのコンクリートの床と白い壁のガレージを公園にするために何が必要かを考え、色や素材のベースをナチュラルなものにし、天井や家具には木のぬくもりを、床は人工芝を敷き緑化することを考えました。</p> <p>その後、メンバーと地域住民向けの説明会を開催し、大人から意見をもらいました。イメージパースや模型を用いることで多角的な意見が出るように工夫をしました。ベンチ、滑り台、鉄棒、ブランコ、健康機、自動販売機、ドッグランなどの案が出ました。</p> <p>また地域の子供達とダンボールを使った家づくりイベントを行い、子供達の遊び方からガレージ公園の使い方を発見しました。子供達は穴があると入っていき、みんなで作った家を秘密基地にして遊んでいました。子供達が自然に集まってくる仕掛けとして、ドックランへと続くトンネルを追加しました。その他、掴まり立ちができる手すりや、はめ込み式で遊べるサインなど、子供達の遊び方から発見したことも反映しました。</p> <p>利用頻度が多くなることが見込まれる高齢者と子育て世代が安全に利用できることと、予算とスペースも考慮した上で、取捨選択し最終イメージを固めていきました。</p> <p>対象物件の公園だけでなく町全体の美化を維持するためにも、公共性の高いゴミ箱を設置することも必要であると考えました。</p>



<p>② 現時点で、代表者のほかに、場の運営を担う中心的なスタッフは何人いますか。</p>	<p>副代表が運営管理、近隣のメンバー3 名が見守りを担当します。自治会やライオンズクラブメンバーなどすでに町づくりに関わっているメンバーが8 名おります。またメンバーではありませんが、近隣在住のシニアや学生の方々10 名がボランティアで協力をしてくれます。※参考資料別紙あり</p>
<p>③ 建物内外の活動のコーディネートは、どのようなメンバーで、どのような仕組みでおこなう予定ですか。</p>	<p>活動の年間スケジュールを代表が決め、企画を専門家メンバーの3 名が行います。広報は代表と副代表と地域コーディネーターの3 名が中心に行います。活動に必要な人材が足りない場合には、LINE で繋がっている利用会員からもボランティアも募ります。告知や集客は、口コミやチラシをまくなどアナログで行いますが、SNS も活用します。</p>
<p>④ これまでのイベント開催等を通して、山頂にあるからこそその居場所としての価値は、どのように現れましたか。</p>	<p>近隣の住民の方々からは、「山の上に集会場所や遊び場があることがとても良い」「自治会館は行きにくいけど、平らで近所だから行こうと思った」「地域の人と集まる機会があって嬉しかった」というポジティブな感想を頂きました。その他「駅から意外と近かった」「ほど良い上り坂が運動になって良い」「栗田谷中学のグランドの上からの眺めが最高」「横浜の魅力を感じる」「第二のドルフィン」「住みたい」というコメントも頂いています。</p>

月間スケジュール（イメージ）

2026年11月運営開始時想定

場所	月	火	水	木	金	土	日
ガレージ公園	26	27	28	29	30	31	1
内部スペース							
ガレージ公園	2	3 赤ちゃん抱っこ会	4 飲食物販売会	5	6 簡単ストレッチ	7	8 フリーマーケット
内部スペース			子供寺子屋		大人寺子屋		
ガレージ公園	9 コーヒー試飲会	10	11 飲食物販売会	12 おやつ座談会	13	14	15
内部スペース			子供寺子屋		大人寺子屋	ミーティング	
ガレージ公園	16	17	18 飲食物販売会	19	20 季節のお花を眺める会	21	22
内部スペース			子供寺子屋	ミーティング	大人寺子屋		
ガレージ公園	23 コーヒー試飲会	24	25 飲食物販売会	26	27	28	29
内部スペース			子供寺子屋		大人寺子屋		季節イベント
ガレージ公園	30	1	2	3	4	5	6
内部スペース							

※2026年11月～2026年1月は、月10日公開日に設定  
※公園公開日は、3ヶ月に1度更新する

ガレージ公園と内部スペースの使い方

ガレージ公園の使い方

基本的には無人運営で、平日は毎日公開します。  
土日はイベントを開催します。イベント時のみ公開します。

内容	時間	頻度
一般公開	平日 9～17 時	20回/月
プチイベント	平日 9～17 時	※10回/月
フリーマーケット	土日 13～15 時	1回/月

※一般公開20回/月の内、10回程度はプチイベントを開催予定です。

内部スペースの使い方

岩井同族合資会社の事務所ですが、トイレと個室はガレージ公園利用者にも使えるようにします。（有料）

内容	時間	頻度
大人の寺子屋	平日 13～14:30時	2～4 回/月
子供の寺子屋	平日 15:30～17 時	2～20回/月
防災×食×季節イベント	土日 13～15 時	6 回/年
リエトモ倶楽部のメンバーミーティング	平日 13～15 時 土日 10～12 時	2 回/月

※施設利用料  
トイレは100円、個室は500円/3時間（4名まで）の予定です。

# リエトモ倶楽部

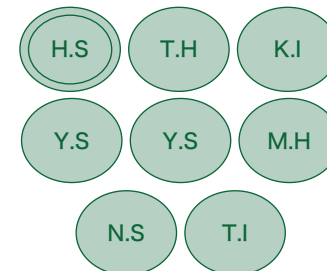
～楽しく社会貢献できる仲間～

## 専門家の集団

多才でプロフェッショナルなメンバーと  
専門家がイベントの講師になります。



## 町づくりアドバイザー



## 相談役

M.K

## 企画・運営

R.N  
H.T  
M.N

## 代表

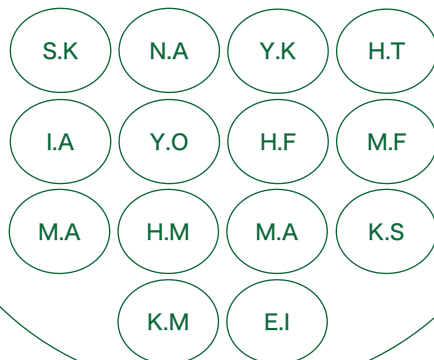
R.F

## 副代表

E.A

## 管理部門

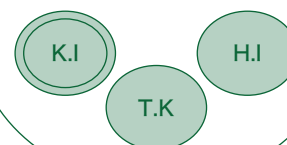
## ボランティア協力隊



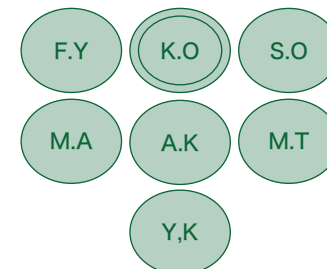
## 学生



## ママ友の会



## 住民の会



緑色で塗られている人はメンバーです。





# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	希望が丘みらいデザインチーム
整備場所(町名又は丁目まで記入)	旭区 中希望が丘
提案名 (25字以内)	希望が丘チャレンジベース ～まちのコンシェルジュ～
助成金申請予定額	500万円
<b>整備する施設</b> (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	本施設(希望が丘チャレンジベース※以後 KCB と省略)は、カフェ、コンシェルジュ、棚、コワーキング、イベント利用を壁で区切らず一体的に配置し、目的の異なる利用者が自然に交わる交流型空間とする。時間帯や利用目的に応じて柔軟に使い分けられる仕組みを構築し、温かさと開放感があり、子どもから高齢者が安心して利用できるデザインとする。建築系学生、建築士、施工会社、地域住民が協働で整備し、学生の挑戦と地域のマンパワーで創るプロセスに価値を置く。 <b>【整備箇所】</b> ①シェアキッチン(飲食店営業許可取得・厨房設備・家具・バックヤード) ②まちのコンシェルジュ(情報ポスト・カウンター造作) ③まちの本屋・雑貨屋(棚等の什器造作) ④ガラス面・看板等の外構(駅から見て目立つ看板に作り変える) ⑤子育て対応型トイレ工事(手洗い場・おむつ交換台設置) ⑥スタッフルーム・バックヤード(壁造作) ⑦TONKAN・ジョブ欲など学生の活動エリア(模型制作・協賛情報展示棚等)
<b>施設の活用・活動内容</b> (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	KCBは、地域、学生、企業のチームで構成され、それぞれの強みを活かして運営する。 <b>【カフェ】</b> “場の入り口”。気軽に立ち寄れる“始まりの場”。飲食を通じて自然に会話が生まれ、出会いから新たなつながりに発展する空間。シェアカフェの運営形態をとり、複数の事業者がそれぞれ独自の持ち味を活かしてカフェ業務を担う。 <b>【まちのコンシェルジュ】</b> いろんな目的を持つ人のニーズを拾い、コミュニティマネージャーとして人とまちをつなぐ役割を担う。情報を集め、発信し、つなぐ重要な役割。 <b>【まちの本屋・雑貨屋】</b> 棚貸オーナー制。オーナーとして自分のお勧め本や作品を展示販売し、本や雑貨を通じた文化交流を促す。書店の分店としての機能も検討。 <b>【学生の活動拠点】</b> 建築系学生グループ「TONKAN」や、学生と社会人をつなぐ団体「ジョブ欲」などが、実際の空間設計に取り組んだり、企業との交流会を実施したりする場。 <b>【イベントスペース】</b> マルシェ、上映会、音楽会、ワークショップなど、地域を盛り上げる多様なイベントに対応できる空間とする。机や椅子を自由に動かせるレイアウトで、地域の人々が自ら企画を持ち込み挑戦できる場とする。実際に地域住民から募集した企画コンテストには24件の応募があり、子ども・学生・住民がまちの活性化につながるイベントを実現できる拠点となる。 <b>【コワーキング・スタディスペース】</b> 仕事・学び・創作ができる多目的エリア。一人で集中も

	でき、会話も自然に生まれる自由なレイアウト。学生・地域プレイヤー・NPO などが繋がる場。カフェの延長として“偶然の出会い”を促す空間設計。
<b>提案の背景</b> (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください	<b>■地域ニーズ・課題</b> ・希望が丘のまちが開発され始めたのが約 70 年前。現在は高齢化に伴い、空き家が増え、かつては栄えていた商店街も空き店舗が目立つようになっている。高齢化が進む一方で、相鉄線都心乗り入れに伴い若い世代が転入しているが、彼らが行ける場所や世代間の交流拠点が圧倒的に不足している。まちを活性化するためにも若い世代の活躍の場が求められ、子どもや若者の居場所を求めるニーズも年々増加している。 ・駅前には病院や薬局・高齢者向けの施設・塾がほとんどで、カフェ・書店などがなく、人が立ち寄れる場所・文化的施設もほとんどない。 <b>■まちのポテンシャル</b> ・希望が丘にリターンで戻って来る若い世代も多く、このまちに愛着を持つ人も多い。 ・企画コンテストやマルシェに多数の参加があったことから、住民自身のスキルや特技を活かし、地域に貢献したいという潜在力が十分にあることが確認できる。こうした力を引き出し、実践につなげることで、地域活性化への大きな推進力となり得る。 ・学生やクリエイター、まちづくりの活動を実践してきたNPO、高齢者の生活支援をしている団体、子どもの居場所のネットワークの存在など、地域資源が豊富。 ・まち普請1次審査通過後、関係人口が1400人を超え(11月末現在)、その多くがKCBに大きな期待を寄せていることが分かった。
<b>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</b>	<b>■スケジュール</b> <b>学生・工務店・建築士・地域住民の協働で2026年6月グランドオープンを目指す</b> ・2025年10月:建築系学生による設計コンペ実施 ・2025年12月:第1期工事(まち普請整備対象外)スタート。学生を中心に、メンバーの1級建築士、工務店の協力のもと、基礎工事(配管、壁、天井等の整備)を進め、DIY部分の準備、住民ワークショップ等を実施 ・2026年4月:第2期工事スタート。カフェスペース、本棚、外構部分等を整備予定 ・2026年6月:グランドオープン予定 <b>■連携する仲間の役割</b> ・大学生(TONKAN、ジョブ欲):地域の課題調査、空間設計、DIY施工 ・地域住民・ボランティア:DIY参加、広報活動 ・企業・建築士・工務店:設計監修、監督、施工指導、協賛 ・NPO 法人ハートフル・ポート:地域ボランティアとの調整役、取りまとめ <b>■活用する地域資源・費用削減の工夫</b> ・DIY施工に住民・学生が参加し工事費を軽減 ・既存家具や地域の寄付物品を再利用。アップサイクルの素材利用 ・協賛してくれる企業から資金面だけではなく、資材提供や作業協力を得る ・クラウドファンディングを実施し、リターンは施工の機会や完成後お試し利用券等とする
<b>維持管理・運営計画及びその実施方法</b> (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	<b>■運営計画</b> 各チーム(任意資料参照)がリーダーを中心に役割を担う。カフェは複数事業者で運営し、イベントは持ち込み企画を基本とする。コンシェルジュが情報を集約し、イベントチームが企画調整、広報チームが宣伝を行う。商店会との連携は地域振興チームが担当し、学生チームはTONKANの拠点運営や企業交流会、小中学生との交流企画などを実施し、関わる学生数を確保する。運営チームが毎月の会議で全体を統括し、事業を円滑に進める。 <b>■維持管理</b> 利用ルールを明確にしたうえで、カフェレンタルや本棚・雑貨オーナー制度、イベント利用などの収益と、寄付・協賛を組み合わせ、場の価値向上と財源確保を図る。企業交流会を定期開催し、学生と企業の出会いを創出しつつ協賛獲得にもつなげる。地域振興チームが学校・自治会・子どもの居場所などと連携し、年間スケジュールに基づき継続的な利用を促進。SNSで情報発信を行い、新たな参加者を呼び込む。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- |         |                     |                       |
|---------|---------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。        |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |

○「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1 次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p><b>【運営体制の構築】</b>KCB は多くの団体が関わっていることから、まずは組織体制を整えるため参加者同士で意見交換を実施。地域・企業・学生の組織図を整備し、週 1 回のミーティング(オンライン)や情報共有ツール、グループ LINE の他、対面の交流を通して円滑な意思疎通とチームビルディングを図った。</p> <p><b>【ニーズ調査】</b>住民アンケート(約 140 件)、野菜販売や作品展示などを通して、地域住民の意見を収集した。隣接する3つの連合自治会長との会合、旭区のタウンミーティングで地区社協・自治会・行政担当者との意見交換を行った。</p> <p><b>【地域連携】</b>近隣小学校の総合の学習への協力、自治会のお祭りへの参加協力(3 か所)を通じ、活動の PR と地域との交流を深めた。</p> <p><b>【関係人口を増やす活動】</b>キックオフイベント、ハロウィンマルシェ、企画コンテスト、各種イベントや貸スペースの活用により、地域・学生・企業との関わりの機会を拡充。</p> <p><b>【施設の整備】</b>1 級建築士 2 名と建築系学生による設計・施工チームが測量・設計を担当。大学建築系サークルや研究室、TONKAN からの支援と連携して進めた。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)</p>	<p><b>【地権者】</b>ビル所有者には整備の内容と事業の説明をし、本事業が社会貢献事業である点理解が得られた。外観デザインや看板整備等に関しても意見交換を行い、駅前のビルの価値が上がるという点についても理解と合意が得られた。</p> <p><b>【近隣店舗】</b>同じビル内の他のテナントへ個別に説明。空き店舗だった 1 階が賑わうことへの期待が寄せられた。隣接する店舗にも 1 件ずつ説明をし、エリアの活性化につながる事業に期待の声をもらった。企画コンテストの協賛店として協力してくれた近隣の 10 店舗とは、今後もまちの発展のために応援し合う関係が構築できた。</p> <p><b>【自治会・商店会・学校】</b>希望が丘の3つの連合自治会長に事業の説明をし、賛同してもらった。南希望が丘地区のタウンミーティングで説明。東・南希望が丘連合自治会長には企画コンテストで審査委員として協力、イベントへの参加・応援していただいている。希望が丘商店会会長にも KCB の活動の説明をし、理解が得られた。</p>
<p>その他提案について特に P R したい点を記入してください</p>	<p>誰もがチャレンジできる土壌をつくることを目指し、KCB では、企業と地域の NPO、そして学生それぞれが役割を分担することで、単体では解決できない社会課題にも向き合うことができるようになる。多様な価値が結集することにより、新しい発想が生まれ、年代を問わず自分にもできる！と思える人を増やすことにもなる。チャレンジしてみたいことができる場があると、人は行動変容を起こすきっかけを生み出すことにもつながる。チャレンジする人を応援する場には、自然と多様性を受け入れる場となり、エリア全体が活性化されていくものと考えている。</p>
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>自治会加入率の低下に象徴されるように、地域の自律性や人のつながりが弱まっていることは、今希望が丘にとって大きな課題である。KCB は、この課題に正面から向き合い、地域のハブとなる。多様な住民同士をつなぎ、関係人口を増やし、地域のニーズと人財・資源を結び付ける役割を担う。住民が主体的にまちづくりに参加できる仕組みをつくることで、公的支援や個人の自助だけに依存しない、住民主体の共生の地域運営が進む土台ができる。</p> <p>KCB は、まちのコンシェルジュとして住民の想いを受けとめ、その想いを企画や行動につなげる“最初の一歩”を生み出す場である。ほしい未来は自分でつくりたい若者や住民を増やし、それを企業が後押しできる風土をつくる。そしてここから新たな拠点や活動がまちの中に増え、誰もが「自分の居場所がある」と感じられる地域になる。この拠点が整備されることにより、希望が丘は「人が主役のまち」「挑戦が巡るまち」へと変わり、人と経済が循環し、持続的に成長していく未来へ踏み出す。住民が自分のまちを誇れるようになり、その“希望”が社会全体へ広がっていくことこそ、本事業が目指す地域の将来像である。</p>

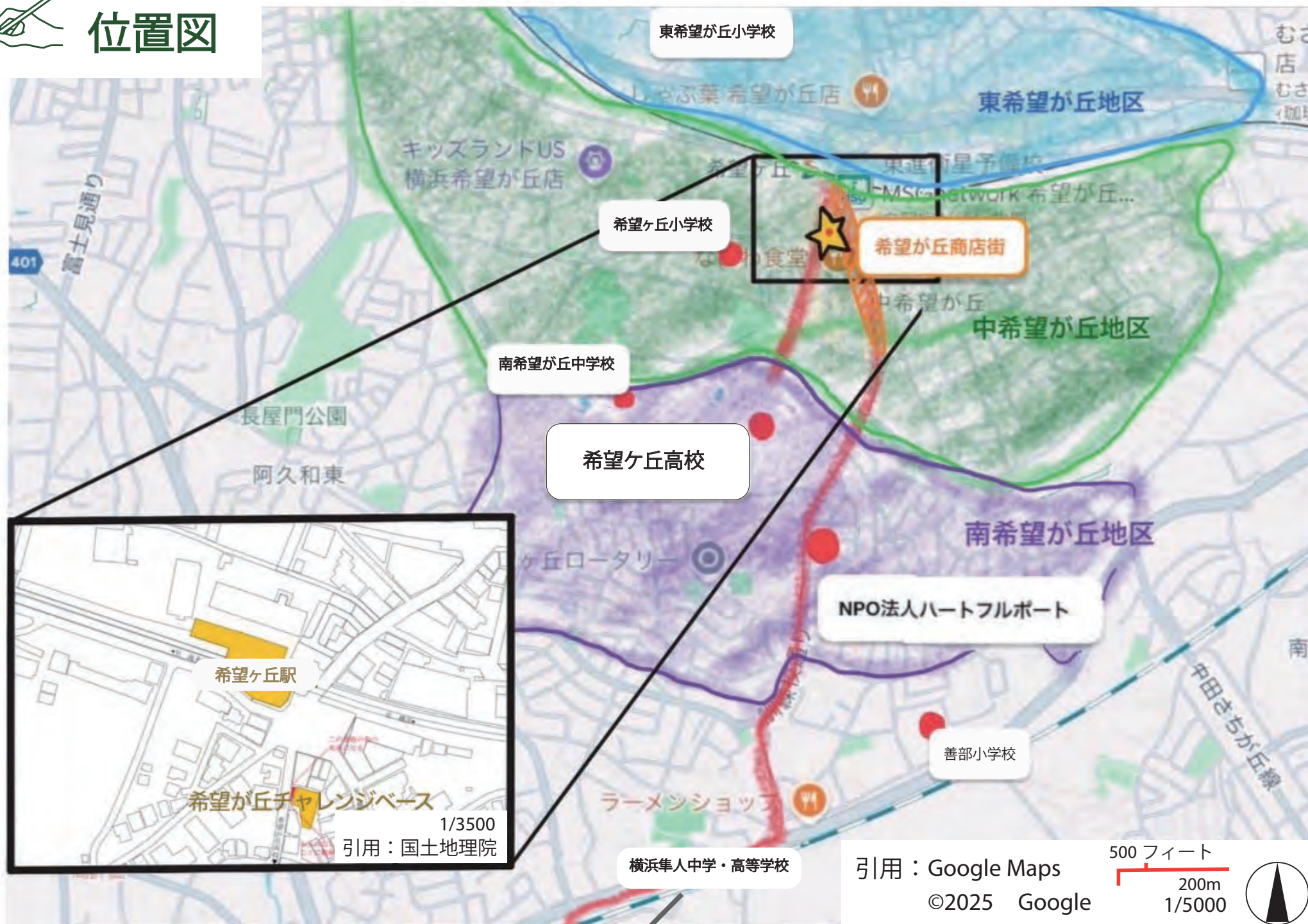
次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第 2 次提案書（その他添付の公開資料）に個人情報はありません。





## 位置図





# 平面プラン

## ○ イベントスペース

通常はカフェとイベントを切り分けて使い、大きな催しの際には全体を一体的に活用できるよう、机や椅子を自由に動かせるレイアウトとする。地域の活動が広がる場となる。

## ○ まちのコンシェルジュ

場の入口に訪れた人を迎え入れる役。入り口付近に配置し、人と人、人とコト、人と想いをつなぐ大切な機能を担う。



## ○ コワーキング・スタディスペース

リモートワーク世代や起業を目指す人、子育て世代の男性などに求められる場。まずはカフェの長時間利用制度で仕事や勉強ができる環境を整え、必要に応じて一部をコワーキング席へ転用するなど、小さく柔軟に対応する。

## ○ 「TONKAN」 交流スペース

学生と地域の人がまじわる、チャレンジベースならではの交流の場。学生にとっての新しい居場所となり、多様な関わりを育む。

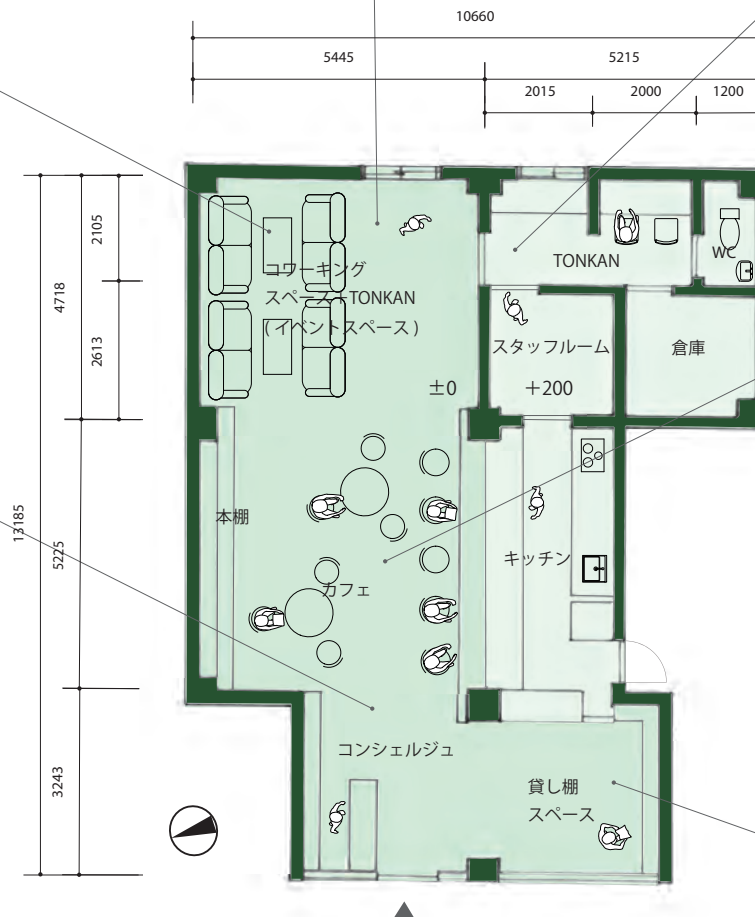
## ○ カフェ

誰でもふらっと立ち寄り、食事やお茶を楽しめるシェアカフェを中心に据える。時間帯ごとに異なる店舗が入る仕組みとし、食品ストックを管理できる倉庫を備える。子育て世帯、グループ、1人客など多様な利用者に寄り添い、自然な交流や参加が生まれる空間をつくる。



## ○ まちの本屋・雑貨屋

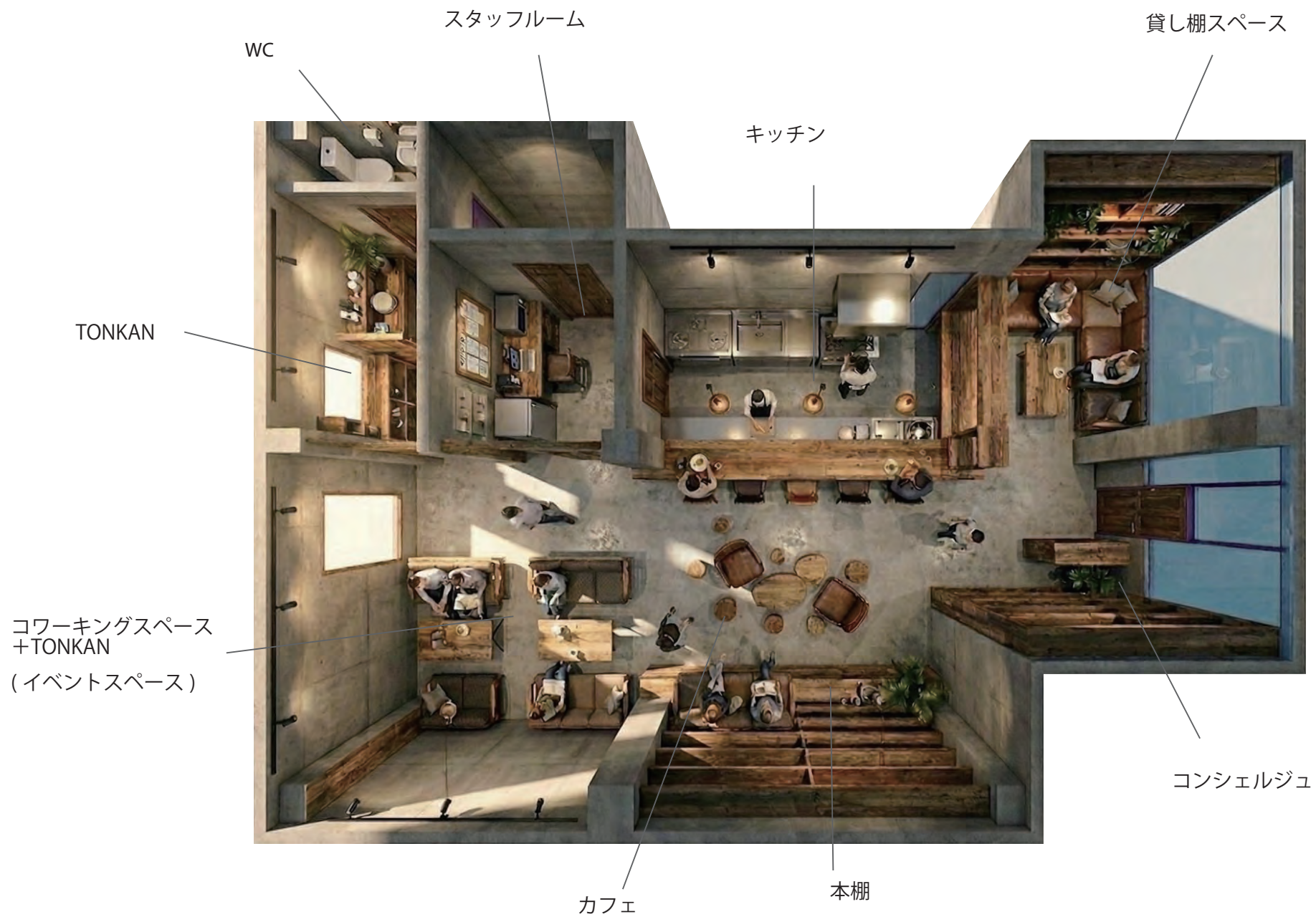
貸し棚オーナー制度により、好きな本の紹介・販売や手作り雑貨の販売ができる場。カフェ内の壁面や移動棚を活用し、人と人が出会うきっかけを生み出す。



平面図 S=1/100



# 完成予想図



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価 (千円)	計 (千円)	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
内装改修工事	既存壁撤去 新規床壁造作	1式	350	350	学生・地域住民の参加 10人8日間
内装仕上げ工事	天井壁床塗装	1式	500	500	学生・地域住民の参加 10人6日間
建具工事	出入口ドア・ガラス建具	1式	1,200	1,200	専門業者
設備工事	厨房機器・換気 手洗い器	1式	2,350	2,350	専門業者
電気工事	配線・照明機器 ネットワーク・ 音響スピーカー 等含む	1式	400	400	専門業者
エアコン設備	ビルトインエアコン	2台	400	800	専門業者
外装工事	看板 外部仕上げ	1式	300	300	
家具工事	机・椅子カウンター本棚等	1式	800	800	学生・地域住民の参加 10人10日間
造作工事	棚キッチン床上げ	1式	600	600	学生・地域住民の参加 10人7日間
水道工事	給排水管設置	1式	400	400	専門業者
ガス工事	ガス管設置	1式	300	300	専門業者
設計工事監理費		1式	500	500	
活動費	コーディネーター謝礼・ 技術料講師等への謝礼・技術料 図面作成費調査・実験費事務 用品費印刷費 会場使用料又は 機材等賃借料 図書購入郵送費 広報活動費	1式	300	300	1次の活動費と同様
合 計				8,800	



# 希望が丘チャレンジベース 1次コンテスト以降の活動内容

日付	活動内容	【運営体制構築】【運】
7月	13日 【ま】1次コンテスト通過	【ニーズ調査】：【ニ】
14日	【広】Instagram, Facebook, X, 公式LINE運用開始	【地域連携】：【地】
19,23,31日	【地】地域資源活用・二俣川小学校 机椅子棚の譲受	【広報・関係人口】：【広】
28日	H 9	【施設整備】：【施】
8月	1日 【地】周辺店舗、希望が丘商店会に挨拶・合意形成	★：写
1日	【ま】市役所担当者現地見学と打合せ	
6日	【地】中高生主催の夏まつり@ハートフルポート	
12日	【施】設計施工チームによる測量調査（建築士2名＋学生3名）	
12日	【運】ソーシャルマーケティングの学びと実践 ★	
12日	【運】チーム内親睦のための卓球大会	
19日	【地】地域交流会 地域住民の意見を聞く会	
27日	【地】善部小学校 先生と打合せ@ハートフルポート	
29日	【運・地・広】キックオフイベント～まちづくり講演会&交流会★	
9月	3日 【地】東希望が丘小学校先生と打合せ	
4日	【運】関連施設視察～HIRAKUIKEBUKURO	
5日	【ま】まちづくりコーディネーターと顔合わせ	
6日	【地】旭区タウンミーティングにて活動紹介	
8日	【地】善部小学校6年総合学習@ハートフル・ポート	
11日	【地】共感プラットフォーム研究所	
13日	【地】イベント貸し出し：春ノ木神社お祭り準備	
16日	【地】希望が丘連合会長・旭区副区長と連携に関する協議	
17,27,30日	【地】企画コンテスト現地見学会①②③	
19日	【地・運】第1回教育懇談会@チャレンジベース	
21日	【ま】活動懇談会@市役所	
21日	【地】イベント貸出：希望が丘阿波踊り女子更衣室	
22日	【地】意見交換会：地元のイベント会社社長	
23日	【地】東希望が丘小学校6年総合学習の打ち合わせ	
24日	【地・広】隼人高校訪問 企画コンテストPR	
26日	【運・広】関連施設見学：HIRAKUIKEBUKURO	
28日	【地】イベント貸出：多世代ボードゲーム会★	
29日	【広】YCV横浜ケーブルテレビジョン「じもっと」取材	
29日	【ま】まちづくりコーディネーター打合せ	
29日	【運】企画コンテスト審査打合せ（関東学院大学の先生）	
10月	1日 【地・広】希望が丘高校訪問 企画コンテストPR	
1, 4日	【地・ニ】企画コンテスト現地見学会④⑤	
4日	【運・広】関連施設視察：三浦市もったいない食堂（魚常荘）	
9日	【地】東希望が丘小学校校長・東希連合会長と連携協議	
9日	【地】共感プラットフォーム研究所	
12日	【地】希望が丘町内会お祭りサポート 学生3名参加	
13日	【地・広・ニ】ハロウィンマルシェ★	
15日	【地・ニ・広】企画コンテスト締切 24件応募	
16日	【地】東希望が丘小学校6年2組総合学習 チャレンジベース訪問★	
18日	【地・広】企画コンテスト希望が丘協賛店への営業	
19日	【運・広】企業×学生交流会★	
20日	【ま】まちづくりコーディネーター打ち合わせ	
21日	【地・ニ・広】企画コンテスト1次審査結果発表 上位11組選出	
21日	【地・広】白根小学校6年総合学習「ユメイエ」設計チーム講師★	
25日	【運・ニ・広】企画コンテスト最終審査会★	
28日	【ま】2次コンテスト対象提案現地視察・コーディネーター打合わせ	
29日	【地・広】神奈川大学建築サークルKAI紙管作品設営	
11月	1日 【地・広】町内会秋祭り&防災フェスタに参加・運営協力	
3日	【地・広】紙管作品展示 商店会ハロウィンイベントと連動★	
4日～14日	【地・広】紙管作品展示	
6日	【地・広】紙管作品展示 卓球やろう会	
7日	【地・広】動画撮影練習会	
8日	【地・広】紙管作品展示 大学コーヒーサークル協同イベント★	
18日	【地・広】第2回白根小学校6年総合学習「ユメイエ」設計チーム講師	
27日	【ま】2次コンテスト申請書類提出期限	
29日	【地・広】希望小・商店会・PTA・町内会 合同秋祭り参加	
12月	7日 【運・地・広】企画コンテスト交流会×街づくりサロン空き家再生	
9日	【地・広】第3回白根小学校6年総合学習「ユメイエ」設計チーム講師	
13日	【運・広】企業×学生交流会	
1月	25日 【ま】2次コンテスト	



7/12 ソーシャルマーケティングの学びと実践 & 交流会



8/29 キックオフイベント まちづくり講演会&交流会



10/13 ハロウィンマルシェ



9/28 多世代ボードゲーム会

10/19 企業×学生交流会



10/25 企画コンテスト 最終審査会



10/29～ 神大建築サークル展示

10/21 東希小 総合学習で見学会



11月 建築学生設計コンペ



白根小6年 総合学習「ユメイエ」設計チーム



## 【定期開催】

- 運営ミーティング毎週月曜日21時～ 7月～11月 計12回
- 設計施工チームミーティング9月～11月 計5回
- 【イベント】旬菜マーケット（無農薬野菜販売）7月～12月 計6回
- 【イベント】まちづくりサロン9月・10月開催





● 累計人数

大学建築サークル  
作品展示10日間

小学校と連携  
6年総合授業（3校）

10/13イベント  
ハロウィンマルシェ

9/21 イベント  
レンタルスペース

8/29キックオフ  
イベント

**関係人口（累計）  
1070人**

日付	累計人数
7月14日	0
7月28日	0
8月4日	0
8月11日	0
8月18日	0
8月25日	0
9月1日	0
9月8日	0
9月15日	0
9月22日	0
9月29日	0
10月6日	0
10月13日	0
10月20日	0
10月27日	0
11月3日	0
11月10日	0
11月17日	0
11月24日	0
12月1日	0
12月8日	0
12月15日	0
12月22日	0
12月29日	0
1月5日	0
1月12日	0
1月19日	0

Instagram  
333人  
Facebook  
26人  
公式LINE  
78人  
運営スタッフ  
30人

SNS合計  
407人

**+** SNS合計  
407人

**合計**

**1477人**



稼働率  
56%



運営スタッフ  
累計参加人数

484人

関係人口  
子どもの割合

45%

2025年11月現在

協賛営業

学生于—

地域・企業子

法人や個人から  
寄付や協賛金を  
める





# Our next challenges

2026 開店1年目の案

## 活動カレンダー

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 カフェA TONKAN	2 カフェA バル	3 カフェB TONKAN バル	4 カフェB TONKAN バル
5 カフェC 夜休み	6 カフェC TONKAN	7 カフェA 中高生の居場所	8 カフェA 持込イベント 10:00-12:00 TONKAN	9 カフェA 水彩画 10:00-12:00 バル	10 カフェB TONKAN バル	11 カフェB TONKAN バル
12 カフェC 持込イベント 18:00-21:00	13 カフェC TONKAN	14 カフェA	15 カフェA 持込イベント 14:00-16:00 TONKAN	16 カフェA 新米ママの会 10:00-12:00 バル	17 カフェB TONKAN バル	18 カフェB TONKAN バル
19 カフェC 夜休み	20 カフェC TONKAN	21 カフェA 中高生の居場所	22 カフェA 持込イベント 10:00-12:00 TONKAN	23 カフェA 読書会 10:00-12:00 バル	24 カフェB まちづくりサロン TONKAN バル	25 カフェB TONKAN バル
26 カフェC 持込イベント 18:00-21:00	27 カフェC TONKAN	28 カフェA	29 カフェA 持込イベント 14:00-16:00 TONKAN	30 カフェA バル	31 カフェB TONKAN バル	

### 営業時間（暫定）

カフェ 7:00～17:00

TONKAN 16:00～21:00

中高生の居場所 16:00～20:00

バル 17:00～22:00

### コワーキング営業時間（暫定）

7:00～22:00(火～土)

10:00～22:00（金～日）

ある1日の  
タイムスケジュール

7:00	
8:00	
9:00	
10:00	カフェ
11:00	コンシェルジュイベント
12:00	
13:00	
14:00	コワーキング
15:00	
16:00	バル
17:00	TONKAN
18:00	
19:00	
20:00	
21:00	
22:00	

## 事業計画 収支予想

収入（月額）		
区分	内容	金額
カフェ賃料	A 火・水・木 B 金・土 C 日・月 夜間利用（バル等） システム利用料	220,000
イベント参加費	主催イベント企画 1,000*30人	30,000
スペース貸 オーナー制度	TONKAN使用料 本棚収入 雑貨販売収入 イベント場所代	233,000
コワーキング	利用料 都度	100,000
オフィス利用	レンタルポスト 月極利用	65,000
会費	会費 家族会員	30,000
寄付・協賛金	商店会協賛 一般寄付・企業協賛	120,000
収入合計（A）		798,000

支出（月額）		
区分	内容	金額
物件賃料		400,000
人件費	コンシェルジュ 会計	180,000
光熱費・通信費	水道光熱費 Wi-Fi等	80,000
備品消耗品		30,000
広告宣伝費	宣伝・広告費	20,000
活動費	主催企画イベント費	22,000
保険料	火災保険 賠償責任	36,000
予備費	修繕費他つみたて	30,000
支出合計（B）		798,000
収支バランス		
収入合計（A）		798,000
支出合計（B）		798,000
収支差額（A-B）		0

## あなたがチャレンジベースで店長をしたら、何をしますか？

24組の応募があり、上位10組が最終審査のプレゼンテーションに挑みました！  
ワクワクする素敵な企画を今後チャレンジベースで実現していきます！

応募開始：2025年10月1日～

1次審査締切：2025年10月15日

最終審査会：2025年10月25日(来場者45名)

金賞取りましたー！



### 企画コンテスト応募一覧

- ピラティスでWell-Beingな暮らしの実践
- 希望が丘南北融和対談活動
- 希望が丘インターネット放送局
- 廃材から生まれる壁画アート体験 ～希望が丘で思い出を残す場所～
- HANAマルシェ
- コンポスト普及店 & ワークショップスペースー 「生ごみを“つながり”に変えるお店」
- 地域密着型ママ&ベビーダンス「Let's 抱っこネス！」
- GGカフェ70（シェアカフェの取組み）
- ボードゲーム&TRPG 体験スペース
- HOPE LINK BAR（先生たちの居場所 地域の幼保小中高校や子どもの居場所の連携）
- 希望ヶ丘かみしばい画報
- よこ森めぐるマルシェ

- 13.”あなたのための”空間（高校生の自習室）
- 14.多目的カフェ（多世代交流、地域通貨の提案など）
- 15.希望が丘にみんなの本棚をつくらう
- 16.～わたしの暮らしから未来をつくらう～よこはまの森洗剤で繋がるサーキュラーエコノミー
- 17.まちの応えんひろば！！みんなでスポーツかんせん大作戦！！
- 18.パーティールームL&P（高校生たちが集まる居場所づくり）
- 19.希望の4 1 4 カード（死生観の分かち合い）
- 20.希望の丘のこども食堂
- 21.きぼうコンシェルジュ
- 22.健康寿命は足もたら
- 23.日本初！時空をこえたアート空間
- 24.余韻に浸れるレコードカフェ



## 公式キャラクター



ロゴやグッズ、パンフレット  
チラシなどに利用中

## 「たくらむくん」

- 参加者の議論の積み重ねやSNSでの  
トーク会議の集積のイメージ
- 小さな想いから始まり、相互が関係し  
合いながら数々の挑戦を積み重ねて  
成長する大きな取り組み  
希望が丘の「キ」にも見えます！

## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 希望が丘みらいデザインチーム	
事前質問	回答欄
植松委員	
① 制度設計がしっかりしており、実現性の点において余り危惧する点が無いように見えます。敢えてお尋ねしたいのは、SNSなどデジタル面での機能性は充分にあるように理解しましたが、アナログ的な地域活動者の巻き込み方、高齢者などへの周知の仕方について見通しがありますか。	地域住民への周知は、むしろアナログの方が進んでいます。NPO 法人ハートフル・ポートを通しての案内、同法人発行のニュースレターでの告知他、近隣の3連合自治会・民生委員との連携、タウンミーティングでの説明、近隣の小学校とも連携した活動の企画等、対面での周知が広がっています。関係人口も増えてきているので、そこからの口コミも期待できます。駅前で人通りも多いため、目にする人も多く、施工が進んできたら、駅前のチラシの配布、自治会や老人会や子ども会等を通した説明なども検討していきたいと思っています。
小川委員	
① 運営組織の維持に労力が必要だと感じます。拠点オープン後、組織運営ではどのような点が課題になると予想していますか。	現在3つの団体が運営に関わっているので、オープン後は運営母体となる組織をどうするか、検討しているところです。新たな法人を立ち上げるか、既存の団体を母体とした組織として運営するか、より持続可能な形を模索中です。
② 「やりたいこと」とは逆に、「やらないこと」として共通認識になっていることがあったら、教えてください。	実施する活動と併せて「やらないこと」を明確に定めています。民間の場として当然収益を伴うイベント開催は行いますが、過度な商業利用や特定の思想・信仰・営利活動に偏り、社会的影響に配慮を欠く活動は行いません。また、法令に違反する行為や、学生の健全な成長につ



	<p>ながらない企画、安全性に問題のある運営も認めていません。これらの禁止事項は利用マニュアルに明記し、判断に迷う場合は運営委員会で協議の上、本施設の理念と公共性に基づき判断します。</p>
川原委員	
<p>① 整備段階での TONKAN の役割はよくわかるのですが、運営段階がよくわかりません。整備段階で多様に関わる学生たちが、運営段階ではどうなるのでしょうか。希望が丘 TONKAN 運営者だけが深く関わるのか、TONKAN の特徴と考えられる、設計提案、DIY 施工のような活動要素は、運営段階ではなくなりますか。</p>	<p>整備段階では TONKAN の学生だけではなく、建築系以外のジョブヨクの学生も施工に関わってもらうことにしており、施工後も運営に継続的に関わってもらうことを基本方針としています。</p> <p>ただし、施工完了後にあらためて運営への関与意思を確認し、無理のない形で関わってもらいながら、信頼関係を築きつつ継続的な参加を促していきます。</p> <p>一方、希望が丘チャレンジベースには建築系以外の学生も多く関わるため、運営段階では以下のような活動も展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生向けのキャリア交流会</li> <li>・地域の小学生～高校生を対象としたキャリアスクールやワークショップ</li> <li>・地域住民と学生が日常的に交わる場づくり</li> </ul> <p>チャレンジベースは単なる「場所運営」ではなく、学生と地域と一緒に“まちを育てていく”プロセスそのものを重視しており、学生も運営の担い手として地域との関係づくりに関わります。</p> <p>また、卒業後も関係が途切れない仕組みとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OB 学生による実務ソフトや実践知の講演会</li> <li>・現役学生と OB が気軽に集まれる交流会</li> </ul>

	<p>・「近況を見に来る」感覚で立ち寄れる関係性づくり</p> <p>などを行い、一過性で終わらない学生ネットワークを育てていきます。</p> <p>設計提案や DIY 施工といった TONKAN の特徴的な要素についても、運営段階で完全になるわけではありません。</p> <p>今後は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な DIY をテーマにしたコンテスト形式のイベント</li> <li>・地域住民と学生と一緒に椅子や什器をつくるワークショップ</li> </ul> <p>など、運営フェーズに適した形で継続的に実施していく予定です。</p> <p>このように、チャレンジベースでは、「設計・施工 → 運営で終わり」ではなく、運営を通じて関係と活動が更新され続ける学生の関わり方を実現していきます。</p>
國廣委員	
質問なし	
後藤委員	
① 今年度・来年度は 0 から 1 を生み出すフェーズのため、建築系の学生が興味を持って参加してくれると思いますが、その後、学生の関わり方はどのように想定されていますか。	川原委員の回答と重複するため、そちらを参照してください。
鳥海委員	
① イメージ図ややりたいこと、運営組織図がわかりやすく、一つの場の中に主体性をもったリーダーが複数人いることが来場者や交流に幅をもたせてくれそうで期待が膨らみますね。現在いちばん安定して自走できるチーム、経験や仲間を募って今後整えていきたいチームがあるとす	<p>現在は、オープン準備期間の為、自走しているという意味では、運営チームは毎週月曜夜ミーティングをしており、各チームリーダーが集まって議論をしています。</p> <p>設計・施工チームは学生と企業・地域チームが連携して、学生が設計した図面を</p>

<p>ればどこになりますか。</p>	<p>基に相談～施工準備を進めています。</p> <p>今後、特に体制を強化したいと考えているのは2点です。</p> <p>1つ目は、現在さまざまなイベントの持ち込みが始まっている中で、それらを適切に整理・調整していくための<b>企画チームの充実</b>です。</p> <p>2つ目は、これから新たに参加する学生をまとめ、運営を担っていく<b>学生運営チームの整備</b>です。</p> <p>また、実際にオープンした後は、各チームごとに役割や運営方法をより具体化し、実情に即した体制づくりを進めていく必要があると考えています。</p>
<p>② トイレに続く TONKAN スペースは具体的に何をする場ですか。学生たちの物作りスペースとなる場合、トイレに行く動線の確保はできそうですか。</p>	<p>このスペースについては現在思案中ですが、A1 プリンターや模型材料を置く場所として考えています。</p> <p>窓側に A1 プリンターを置き、そこでの作業はせず、動線は確保できるようにします。</p>
<p>③ 貸棚スペースの予想図をみると実際に手にとることが難しいように思います。工夫があれば教えてください。</p>	<p>実際の施工は、現場で状況をみながら、臨機応変に変更する予定で、施工チームと相談しながら進めます。</p>
<p>④ 整備費用の不足分を誰がどのように捻出しますか。</p>	<p>整備費用の不足分は、クラウドファンディング・寄付等で捻出する予定ですが、それでも足りない部分は、企業の協賛を充てる予定です。</p>
<p>⑤ 支出の月額火災保険等が高額に思えるのですが、立地的に特約を多くつけたり、複数の活動ごとに別保険に入る必要がある等理由がありましたら教えてください。</p>	<p>保険料の算出に誤りがありました。</p> <p>店舗総合保険として月額 7,000 円に修正します。</p> <p>火災保険以外にも、下記を含めて検討しています。</p> <p>① 生産物賠償責任保険 (PL 保険)</p> <p>提供した食事・飲み物が原因で客が食中毒になった際の治療費、慰謝料、損害賠</p>



	償、営業中だけでなく、テイクアウト・イベント出店も対象 ② 施設賠償責任保険 店内で転倒、やけど、設備事故など
肥後委員	
① 運営組織の共同代表は何名の予定ですか。学生代表・副代表は任期年数を決めていますか。	現段階では団体の共同代表は2名の予定です。 学生の任期は、1年です。
② 学生チーム／地域・企業チームは、同じ人が兼務するイメージですか。	兼務する人、専任の人もいます。
③ コワーキングスペースは、原案のようだとプライバシーが確保できないように思いますが、衝立などを立てるのでしょうか。スペース的には貸し棚スペースと入れ替えの方がいいように思います。	奥のスペースは仕事、学び、創作ができる多目的スペースで、静かに仕事をするというより、いろんな人とのつながりを求めて仕事をする人向けのスペースです。必要に応じて衝立なども用意しますが、プライバシーが必要なコワーク機能のスペースをつくるかは、スペースが取れたら施工途中で検討していきます。 貸し棚スペースは、多くの人に棚を見てもらえるよう、できるだけ入口に近いスペースを充てる予定です。
④ コンシェルジュは、どんなスキルを持つ方が務めますか。	いろんな目的を持つ人のニーズを拾い、コミュニティマネージャーとして人とまちをつなぐ役割があり、以下のスキルを持つ人です。 ・まちの情報を集め、発信ができる人 ・地元のことをよく知っている人 ・人と人とをつなぐコミュニケーション能力のある人 ・発想力、行動力、企画力を総合的に備えたコーディネート力のある人 複数名が従事し、相談し合える体制を作っていきたいと思います。
松村委員	
① 整備費用のうち、助成金を充てる予定の項目は何ですか。	第2号様式にも書いている通り、 ・シェアキッチン、コンシェルジュスペ

	<p>ース、本屋・雑貨（棚等）、看板等の外構、子育て対応型トイレ工事、バックヤード、TONKAN 活動エリアです。</p>
<p>② 整備後に、交流人口ではなく関係人口を増やすために、どのような工夫や仕掛けを考えていますか。</p>	<p>企画の持ち込みを積極的に推進し、客ではなく、「主催者」になってもらうことで、自らがチャレンジベースでの関係人口を増やしていく存在として活動できる仕組みを作ります。</p> <p>既に、まちの部活動（環境部、図書部、教育部、AI 部等）の活動も進んでおり、関係人口は必然的に増えていくものと考えています。</p> <p>実際に関わりたい人が多いので、その受け皿としての仕組みと調整が必要だと思っています。</p>
<p>③ 整備後の拠点運営にかかる年間の収支予算について、現時点ではどのように考えていますか。</p>	<p>収入の柱は、以下のように考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 家賃収入（カフェ、本・雑貨の棚貸し、コワーキング、オフィス利用、持ち込みイベントの場所代）</li> <li>② 自主事業（講演会・講座・部活動など）</li> <li>③ 協賛金（企業協賛・商店会）</li> <li>④ 会費</li> </ul>
<p>④ 主なターゲットは若者のようですが、高齢化が進む地域住民のつながり強化には、本事業がどのように貢献できると考えていますか。</p>	<p>必ずしも若者がターゲットではなく、高齢者が求めるカフェの充実を図っていきます。高齢者の中には、デイサービス利用者向けの居場所に抵抗を感じる人もいます。そういった方も足を運びたくなるようなカフェとしての空間設計をし、まずは足を運んでもらう。そして孤立しがちな高齢者のつながりのきっかけとして、高齢者自身が主体的に関われるような企画を考案、あるいは高齢者自ら発案してもらえるように働きかけていく。（ハートフル・ポートとの連携で声を拾いやすい）</p> <p>まちの部活動の中に、高齢者が関心を持</p>

	ちそうな内容を盛り込み、主体的に参加できる入口を増やすことも考えています。
--	---------------------------------------





# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

注1）2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2）2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3）添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)全て余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	横浜駅西口トリコロールリバー
整備場所（町名又は丁目まで記入）	西区南幸2丁目
提案名 (25字以内)	横浜駅西口水辺憩いの空間の植栽整備
助成金申請予定額	500万円
<p>整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください)</p> <p>※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください</p> <p>※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮</p>	<p>横浜駅西口の幸川・帷子川沿いのプロムナードを、人が集まり、にぎわう空間にするため、植栽と憩いの空間を整備します。</p> <p>①<b>陽光桜と花壇の整備</b>：地域活性化のシンボルとして、「陽光桜」20本を植栽し、足元には季節の花壇を設置します。さらに陽光桜すべてをライトアップし、夜景観の向上に努めます。電車からも楽しめる景観を創出するとともに、夜間の見通しを改善し、安全に過ごせる環境を整えます。また、植栽管理用の水道施設を設置します。</p> <p>【陽光桜の選定理由】昨年度に当該エリアで発生した痛ましい事件をきっかけに、「安全で安心な場所にしたい」という地域の想いを背景に、平和への願いを込めて世界中で咲くよう改良された陽光桜を選定しました。この桜は寒暑・病気に強く大きくならない品種のため、この限られた整備場所で育てやすい特徴があります。鮮やかな濃いピンク色の花は開花が早く、昼夜ともに美しい景観を生み、人々が集まり賑わう空間を生み出します。</p> <p>②<b>ベンチ・休憩スペースの設置</b>：川沿いのフェンス近くに、川の流れを眺めながらゆったりと過ごせる、寄りかかり式ベンチを2台設置します。ベンチの前にはライトを設置し、水面に光が映える幻想的な夜景観を演出します。</p> <p>さらに、西区のシンボルである「藤」をモチーフとした藤棚を設置し、その下にはベンチを設置、夏季の暑さ対策を兼ねた休憩スペースを確保します。</p> <p>③<b>掲示板の設置（完成予想図の共有と情報発信）</b>：南幸橋入口に、プロムナードへの誘導を目的とした掲示板を設置し、整備のコンセプトや対象エリアの「未来予想図」を掲載するほか、地域情報も発信します。</p>
<p>施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください)</p> <p>※第1次提案書より具体的に記入してください</p>	<p>①<b>環境教育と緑化維持活動</b>：南幸自治会等の地域住民、横浜駅西口商店会連合会（以下、商店会）、宮谷小学校・平沼小学校の児童と協力し、季節に応じて（チューリップ・ひまわり・コスモス、パンジー等）の四季折々の花の植栽活動を行います。地域への愛着を深め、緑を守り育てる意識を皆で共有します。</p> <p>②<b>憩い、交流、景観を創出する多機能スペース</b>：南幸、岡野～平沼エリアの住民の散策路、日常的な憩いの空間として活用します。藤棚の木陰は、暑さ対策にも有効なほか、ベンチは陽光桜や花壇が一体となって美しく写り込むよう配置します。またライトアップの演出の考慮した憩いの空間演出を工夫します。</p> <p>③<b>安全対策</b>：陽光桜のライトアップやベンチ前の照明により、夜間の視認性を高め、防犯性を向上させます。安心して通行できる環境を整えることで人の流</p>

	<p>れを促進します。</p> <p><b>④掲示板を活用した情報共有と協働体制の強化：</b>「幸川・帷子川沿いスペースが今後どう発展するか」を盛り込んだ「未来予想図」を掲示することで、地域住民と未来への期待を共有します。これにより、事業・活動への理解と参画意識を高めます。また、看板の一部を地域のお知らせ掲示板として活用します。当団体、学校、地域、自治会、商店会の活動、水辺のイベント情報、花壇の植え替え等のなどの様々な情報をお知らせすることで、広報媒体として継続的に利用します。</p>
<p>提案の背景</p> <p>（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）</p> <p>※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>整備エリアは横浜駅西口のにぎわいに近接しながらも、幸川・帷子川沿いに静かでのんびりと散策できる貴重なスペースでした。しかし、管理が行き届かない街の死角となり、痛ましい事件が発生しました。こうした地域共通の課題の顕在化を契機として、地域住民・商店会・地域団体が連携・協力して安全性を高めるとともに、地域の水辺の魅力再生に取り組むことになりました。</p> <p>植栽（陽光桜、藤棚、花壇）と休憩スペースを整備し、さらにライトアップの演出をすることで、地元住民の要望及びアンケート結果でも要望が高かった、安心安全・夜景観の魅力を高めることで、地域住民・来街者の回遊性向上につながり、水辺の景観の価値向上による、「立ち止まり、集い、交流する」憩いの空間を創出します。</p> <p>水辺の休憩スペースの整備にとどまらず、南幸自治会等の地域住民、商店会、宮谷・平沼小学校の生徒が協働で花壇を活用することを通じて、環境教育と地域交流の場として機能させ、新たな魅力づくりの空間とします。</p>
<p>整備プロセス</p> <p>（スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4）、費用縮減の工夫に触れて説明してください）</p>	<p>陽光桜は、当商店会の地域活性化を目指す活動の趣旨に深く共感してくださった方のご尽力により、無償でご提供いただきます。</p> <p>陽光桜の植栽、花壇の整備、ベンチの設置、水道工事、ライトアップ等の工事は、専門の工事業者に整備プランのアドバイスを受けるとともに、各工事を依頼します。</p> <p>情報発信の掲示板は、地域の意見を反映した幸川・帷子川沿いの未来予想図を掲載し、地域の情報発信にも活用できるよう工夫します。製作・設置作業は看板業者に依頼します。</p> <p>花壇の植栽は、日頃から横浜駅西口の緑化事業を担っている企業組合プランツヘルパーすこっぷ（以降、「すこっぷ」）と連携し、四季の花々の選定・植栽のアドバイスを受けながら、南幸自治会等の地域住民や宮谷小・平沼小の協力を得て、協働で実施します。さらに2026年度のまち普請の整備をきっかけとして、今後3ヶ年計画で段階的に整備を進め、魅力ある空間を育んでいきます。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法</p> <p>（維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p><b>植栽の維持管理・運営体制の確立・活動の実施：</b>事業の総括は当団体が行いつつ、南幸自治会の地域住民、商店会を中心に水やりや植栽の維持管理を行います。また商店会のハマロードサポーターや一般社団法人横浜西口エリアマネジメント（以降、「エリマネ」）や商店会らが主催する地域パトロール・清掃活動とも連携して実施します。</p> <p>さらに水辺活用の利活用の取り組みに「エリマネ」、植栽管理に「すこっぷ」、地元住民との周知連携を図るための商店会イベントや近隣学校とも連携し、活動していきます。</p> <p><b>費用確保の仕組み：</b>活動資金は商店会からの拠出、企業や団体からの協賛金を基盤とします。イベント収益や広告収益を管理費用に充当し、安定的な運営を確保します。</p>

注4）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
  - ・バザーなどで資金を集められそう。

1 次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください	<p><b>地域ニーズの再確認と計画への反映：</b>商店会や自治会は、「エリマネ」のイベント来場者及び自治会会合でのアンケート調査を実施しました。この調査結果を基に、フォトジェニックなベンチの設置、夜間照明の演出、遊歩道へ誘導する看板の設置といった地域のニーズを反映させた計画を策定いたしました。</p> <p>また、植栽などを整備した後の維持管理を見据え、花壇の維持管理と清掃効率化に欠かせない水栓設備について、西土木事務所や専門の事業者と協議を進めております。具体的には、新たに水道管から分岐する可能性等、技術的な検討を重ねているところです。</p>
関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）	<p>地域住民・自治会：ベンチ・藤棚・花壇の設置や子ども参加型の活動に強く賛同を得ており、維持管理への協力を確認済みです。</p> <p>近隣地権者：景観向上への期待をもって、整備計画に合意を得ています。</p> <p>学校・行政：平沼小学校・宮谷小学校とは、環境・総合学習として花壇での緑化・維持管理活動への理解と合意を得ています。対象エリアの関係行政からは、計画内容が各関連方針に沿っていることを確認済みです。さらに整備エリアの階段のスロープ改修は西土木事務所が実施予定です。</p> <p>まちづくり団体・企業：「エリマネ」による水辺利用活動との連携の同意と、商店会から整備後のイベント協力や資金拠出の確約を得ています。</p>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	<p>陽光桜の桜並木、藤棚の木陰や花壇の整備、ベンチ、光の演出により、五感で楽しめる安らぎと四季折々の感動を提供する遊歩道を整備します。これにより、放置されていたスペースが横浜駅西口に新たな都市体験空間を創出し、地域の再生につながります。</p> <p>本取り組みを通じて、当団体が横浜駅西口のハブとなりながら、地域住民、自治会、商店会、地域団体、企業、行政等が地域課題のために集まり、応援する、まさに「オール西口」と呼べる体制を構築することができました。</p> <p>さらに学校と連携した緑化活動などを通じ、子どもたちがこの地域を好きになり、愛着を持って自然に関わり続けたいとする仕組みを育てます。また、西区のシンボルである藤や陽光桜を活用するとともに、「未来予想図」の掲示板を設置することで、地域の歴史と未来へのビジョンを明確に発信し、新たな参画を呼び込みます。</p>
目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）	<p>整備エリアは川からの風が心地よい場所でありながら、これまで歩道の側面が荒れ地として放置されている状態でした。本取り組みを契機に、この未活用の水辺空間は、陽光桜や藤棚、花壇などを擁する、安全で快適に<u>散策</u>ができる「水辺憩いの空間」に生まれ変わります。</p> <p>さらに、ライトアップの設置により夜景観の魅力と安全性が向上し、新たな横浜駅西口の名所となることで、フォトジェニックな景観がメディアの注目を集め、横浜駅西口のブランドイメージを刷新することが期待されます。</p> <p>南幸エリアは公園や緑地がほとんどないため、安心・安全で憩えるスペースの創出に向けた取り組みは地域住民の皆様に大変喜ばれ、地域の回遊性の向上にも繋がることを期待できます。</p> <p>特に繁華街が至近にあり来街者が多い当エリアの最大の共通課題は安心・安全の確保ですが、これに対して商店会、学校、地域団体、企業、行政らの「オール西口」が一体となって課題解決に取り組む姿勢は、南幸自治会だけでなく、平沼や岡野エリアの住民からも大きな期待を寄せられています。さらに、清掃やパトロール等の様々な活動、行事・イベントを通じて、より多くの住民、来街者に快適で和やかに過ごせるまちづくりにつながっていきます。</p> <p>南幸エリアは再開発の進展に伴い新たな世帯が増加する中、この水辺空間は、小学校と協働した環境学習などを通じた次世代育成の場としても大切であり、子どもたちがこの街で育ち、地域への愛着を育む重要な拠点となることが期待されます。</p>

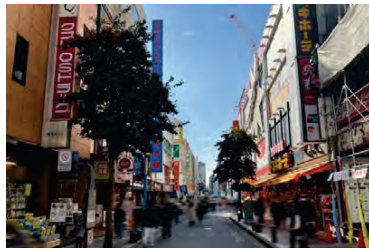
次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ☒ 提案内容は真実であり、虚偽はありません。
- ☒ 第2次提案書（その他添付の公開資料）に個人情報はありません。



# 都心ながら自然と歴史のあるエリア

横浜駅から程近く、帷子川を主流とした川や歴史ある横浜道、そして繁華街として賑わうパルナード通りなど、特色あるエリアを繋ぐ「幸川・帷子川プロムナード」となります。



商和会商店街・パルナード通り



幸栄商店会



五番街商店会

南幸2丁目地区位置図



## 横浜駅西口商店会連合会

横浜駅西口の3つの商店街（横浜駅西口五番街商店会共同組合・西口幸栄商店会・横浜西口商和会商店街）は、「横浜駅西口商店会連合会」として連合を組み、新しい取り組みを通じて、地域のみなさまに愛され、横浜を訪れる観光客にも楽しんでいただけるような商店街をめざしています。

南幸2丁目地区周辺地図

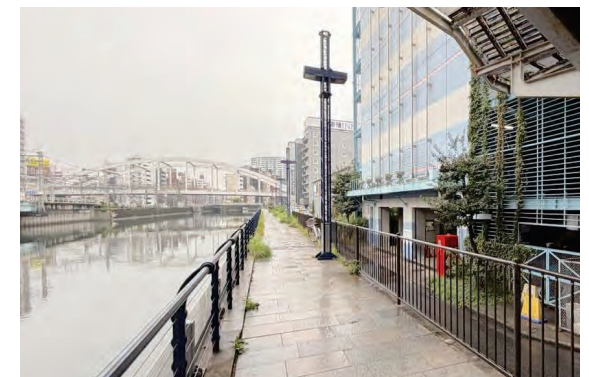


出典：Google Maps

## 計画エリア



幸川沿い



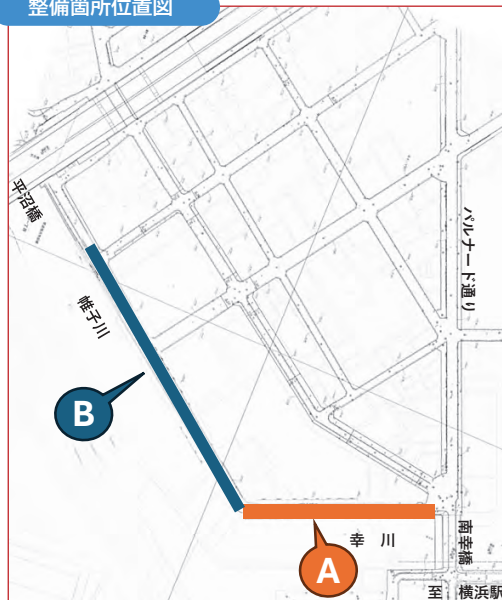
帷子川沿い



## 平面図

横浜駅西口の幸川・帷子川沿いのプロムナードを、人々が集いにぎわう、植栽と水辺の憩いの空間に

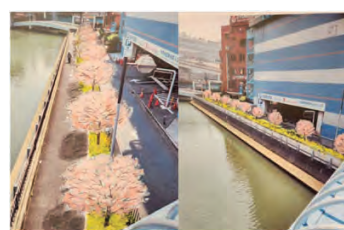
整備箇所位置図



整備施設事例・イメージ



A/B：花壇



A：幸橋から見た陽光桜の並木



A：掲示版  
(未来予想図)



A：南幸橋から  
見た陽光桜



A：南幸橋入口の  
陽光桜 (連携事業)



B：藤棚



B：遊歩道とベンチ

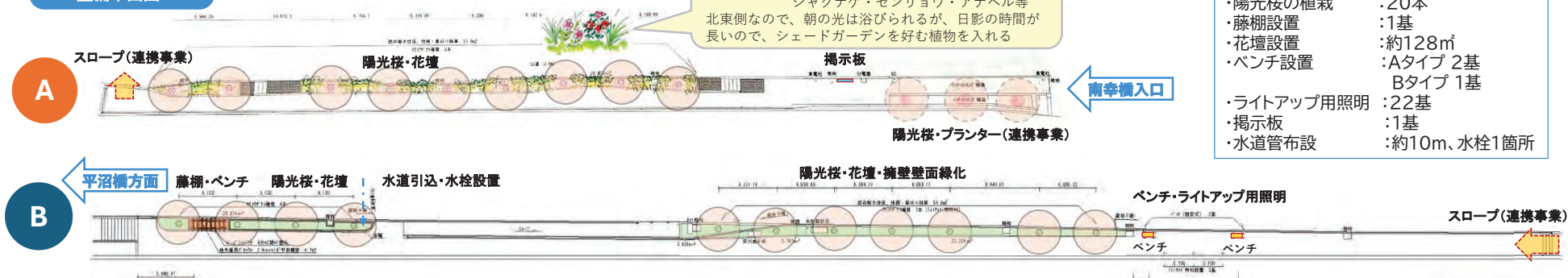


B：ライトアップ用照明



B：水道・水栓

整備平面図

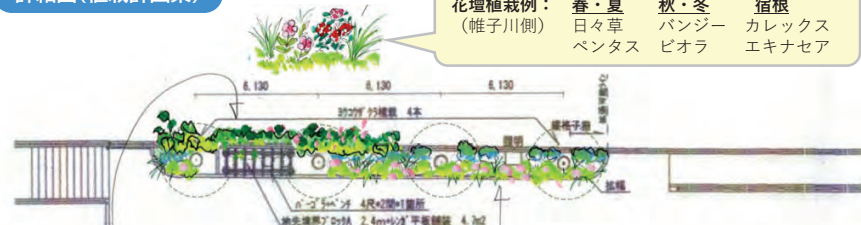


花壇植栽例： 春秋 多年草  
(幸川側) ヤマアジサイ・ジンショウゲ  
シャクナゲ・センリョウ・アナベル等  
北東側なので、朝の光は浴びられるが、日影の時間が  
長いので、シェードガーデンを好む植物を入れる

### ●まち普請事業による整備施設一覧

- ・陽光桜の植栽 : 20本
- ・藤棚設置 : 1基
- ・花壇設置 : 約128㎡
- ・ベンチ設置 : Aタイプ 2基  
Bタイプ 1基
- ・ライトアップ用照明 : 22基
- ・掲示版 : 1基
- ・水道管布設 : 約10m、水栓1箇所

詳細図(植栽計画案)



花壇植栽例： 春・夏 秋・冬 宿根  
(帷子川側) 日々草 バンジー カレックス  
ペンタス ビオラ エキナセア





# 幸川・帷子川プロムナード



## まち普請事業

- ①桜・藤棚・ベンチ・花壇で彩る  
水辺遊歩道（プロムナード）の創出
- ②パルナード通りからの景観軸形成と桜並木へ視線誘導
- ③桜や藤棚等の植栽のライトアップ、  
夜間の通行、防犯を兼ねた照明を配置
- ④掲示板（未来予想図）による期待感と参画意識の醸成

## 連携事業

- ⑤桁下広場と平沼橋詰めの休憩スポット一体整備
- ⑥パルナード通りと桜並木を結ぶシンボル植栽
- ⑦桜並木沿いの擁壁壁面緑化による連続景観創出
- ⑧川辺の段差解消、既存階段のスロープ改修  
（西土木事務所整備予定）
- ⑨地域緑のまちづくり事業等との連携強化
- ⑩地域・高校生による手摺塗装とプロデザイナーとの協働

## 維持管理・活用

- ⑪沿川ビル壁面プロジェクションマッピングと  
一体的水辺イベント開催
- ⑫小学校、地域による花壇づくりと維持管理

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細 目	数 量	単 価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
伐採工事	伐採. 伐根. 徐草等	1 式	800,000	800,000	
給水工事	設備工・道路堀削工事警備等	1 式	2,100,000	2,100,000	
藤棚設置工事	堀削工事. 基礎. 発生土処理. ブロック設置等	1 式	1,450,000	1,450,000	
水道利用加入金		1 式	165,000	165,000	
ベンチ設置工事	設置工事	1 式	205,000	205,000	
植栽帯拡張工事	既存舗装等撤去工. 発生処理土処理. 御影石緑石設置等	1 式	400,000	400,000	
植栽工事	植栽工・ソーラーライト設置	1 式	465,000	465,000	
電気工事	ソーラーライト設置	1 式	62,000	62,000	
看板設置工事費		1 基	200,000	200,000	
合 計				5,847,000	



# 横浜西口トリコロールリバーズ これまでの活動



8/28 安心安全防犯パトロール活動①

9/1 メンバーまち歩き

9/16 西土木打合せ①

9/18 南幸清掃活動①

9/20 地域活動お手伝い（宮谷小）  
宮谷小学校説明

9/21 活動懇談会

9/22 第五地区定例会説明①

9/25 南幸清掃活動②

9/25 安心安全防犯パトロール活動②

10/9 南幸清掃活動③

10/14 きれいな街検討会（西区）

10/15 治水事務所①（西土木参加）

10/16 南幸清掃活動④

10/23 クリーンアップリレー（清掃）

10/27 治水事務所②（西土木参加）

10/28 現地視察

10/28 第五地区定例会説明②

10/28 壁面アート会社打合せ①

10/30 南幸清掃活動⑤

10/30 安心安全防犯パトロール活動③

11/12 平沼小学校説明

11/15 アンケートワークショップ

11/13～2/14

イルミネーション設置

11/16 東横IN説明

11/19 STOVES説明

11/21 治水事務所③（地域まちづくり課同席）

12/20 桁下クリスマス会（平沼）

★行政・コーディネータ打合せ10回

★連合会定例会4回

★田口造芸現調2回

★オンデザイン打合せ5回





## 參考資料

## 横浜西口水辺を活かした憩いの空間と植栽整備活動予定



### 3 年度の収支予算

初年度（2026年度）収支予算

	科目	金額	備考
収入	まち普請補助金	500万円	
	寄付金	115万円	商店街、協賛企業より
	雑収入	5万円	水辺関連イベント収入
		820万円	

	科目	金額	備考
支出	遊歩道整備費	580万円	工事申請手数料込
	消耗費	22万円	花苗代等
	印刷広告費	5万円	
	支払手数料	1万円	
	雑費	1万円	
	次期繰越金	1万円	
		820万円	

## 次年度（2027年度）収支予算書

	科目	金額	備考
収	寄付金	120万円	商店街・協賛企業より
入	イベント収入	10万円	水辺関連イベント収入
		130万円	

	科目	金額	備考
支 出	消耗品	30万円	花苗他
	印刷広告費	10万円	チラシ
	販促イベント費	70万円	水辺イベント開催費
	支払手数料	1万円	
	雑費	5万円	
	次期繰越金	4万円	
		120万円	

## 次々年度（2028年度）収支予算書

科目	金額	備考
収 寄付金	130万円	商店街・協賛企業より
入 イベント収入	20万円	水辺関連イベント収入
	150万円	

	科目	金額	備考
支出	消耗品	30万円	花苗他
	印刷広告費	10万円	チラシ
	販促イベント費	80万円	水辺イベント開催費
	支払手数料	1万円	
	雑費	5万円	
	次期繰越金	4万円	
		130万円	

初年度（2026年度）事業計画内容

■まち普請対象事業活用の施設整備事業■

- ★ 陽光桜植樹
- ★ 花壇の設置
- ★ スポットライト増設
- ★ 植栽管理用水道設備・設置
- ★ ベンチ設置
- ★ 水道施設設置
- ★ 掲示板設置

■■まち普請対象事業以外の施設整備事業■■

- ◇ 歩道の階段部をバリアフリー化 (西土木事務担当)
- ◇ 防犯カメラ設置  
(設置後のカメラの管理は南幸自治会・横浜西口商和会商店街)
- ◇ 「エリマネ」、高校生らで手すりをアート調に塗り替え

■■ソフト事業■■

- ◇花壇にプランター設置
- ◇街区のイルミネーション
- ◇植樹祭イベント
- ◇幸川の水辺活用イベント

＜維持管理＞

- ◇花の植え替え  
◇パトロール・清掃活動（商店会・エリマネ）

## 次年度（2027年度）事業計画概要

■■まち普請対象事業以外の施設整備事業■■

- ◇ベンチ増設
- ◇案内看板増設
- ◇「エリマネ」、高校生らで手すりをアート調に塗り替え
- ◇藤棚増設

■■ソフト事業■■

- ◇小学生らと協働の植樹
- ◇エリアのイルミネーション
- ◇幸川・帷子川の水辺活用イベント
- ◇新規水辺活用イベントの企画実施
- ＜維持管理＞
- ◇花の植え替え

- ◇パトロール・清掃活動 (商店会・エリマネ)

## 次々年度（2028年度）事業計画概要

■ まち普請対象事業以外の施設整備事業 ■

- ◇ ベンチ増設
- ◇ 案内看板増設
- ◇ 陽光桜の増設

■ソフト事業■

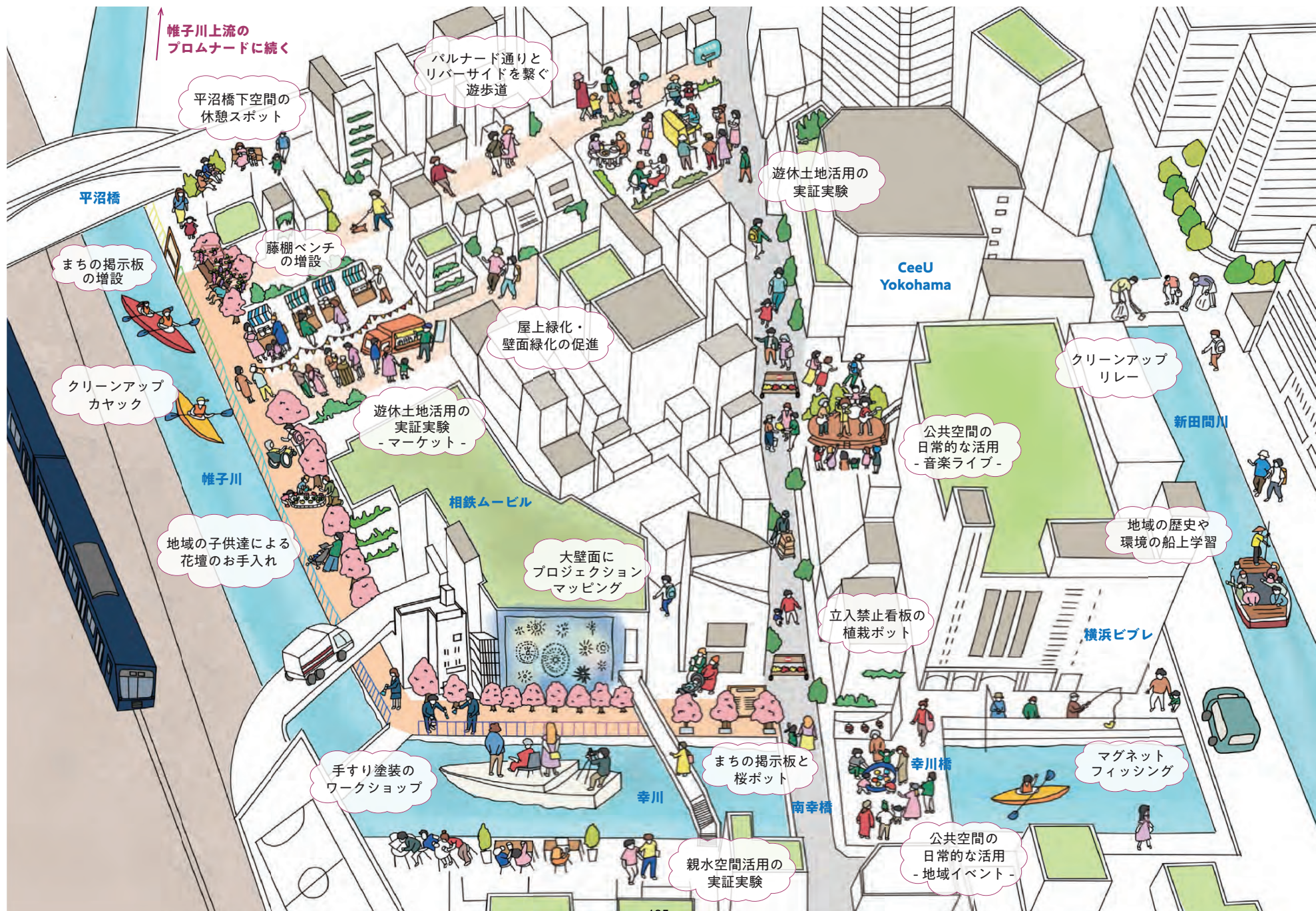
- ◇小学生らと協働の植樹
- ◇エリアのイルミネーション
- ◇幸川・帷子川の水辺活用イベント

＜維持管理＞

- ◇花の植え替え  
◇パトロール・清掃活動（商店会・エリマネ）



# 幸川・帷子川プロムナードのエリア全体の活動を繋げる





## 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 横浜駅西口トリコロールリバー	
事前質問	回答欄
植松委員	
① 花、と言えば桜を指すくらい、日本人は桜と共に生きてきました。お話の陽光桜は狭い土地に余り大きくなり過ぎない、とも伺いますが、きちんと根付き、咲き続けられるのでしょうか。そしてその、維持管理は継続的にできるものなのでしょうか。	<p>陽光桜は暑さ・寒さに強く、ソメイヨシノが育ちにくいような環境下でも元気に花を咲かせることができ、大きさも比較的大きく成長しすぎず、根が深く張りすぎないという特性があります。</p> <p>ただし、桜は根が横に広がる傾向があるため、周囲の構造物や舗装への影響を防ぐために植え付け時に「防根シート」による根止め処置を行い、根の広がりをコントロールした植栽管理を行う計画です。</p> <p>また水道施設を新設し、乾燥しやすい時期でも安定した管理を行います。南幸一帯の清掃活動・パトロール活動を毎週実施している「南幸安全まちづくり協議会」と協力するほか、西土木事務所にも日常の植栽管理及び病虫害対応についても協力の協議を行っています。</p>
② 花は一年中咲いているものではない訳で、花のない時期の方が長いのですが、その花のない時期にこの場所に賑わいを持たせることは可能でしょうか。人は、用のない処は通りません。様々な地域ニーズを掘り起こしていただいているのは理解しますが、それを実際に切り盛りしていく見通しを教えてください。具体的には誰が、どのようなローテーションで活動し、どのような資金繰りで行うことが出来そうですか。	<p>花壇は、桜の開花時期以外も緑や花が絶えない植栽計画を立てています。</p> <p>一方で南幸エリアは常設のベンチでくつろげる場所が皆無なため、心地よい川風が吹き、陽光桜の葉や藤棚がつくる木陰で憩うことができるスペースを整備し、用がなくても多くの人々が立ち寄りくつろげる空間を創出します。</p> <p>桜並木・遊歩道の管理は「横浜駅西口トリコロールリバー」が統括し、桜並木・花壇の日常管理は、「南幸安全まちづくり協</p>



	<p>議会」(商店会・行政・自治会・学校等が参画し、清掃・パトロール活動を 20 年以上にわたり活動を実施)の毎週行う清掃活動と植栽管理を組み込んで行います。</p> <p>植栽の日常管理を行う必要経費は、商店会の活動経費を予算化しています。さらに桜 1 本ごとにネーミングライツの広告料の確保に向けて依頼をし、内諾をいただいている事業者もあります。</p>
<p>③ 平沼小学校、宮谷小学校、いずれの学校も決して近く、とは言えない距離があると思われます。また、保護者として余り行かせたくない風紀上の問題も見え隠れしているように思われますが、本当に学校からの継続的な活動が望めそうですか。</p>	<p>整備エリアは、宮谷小学校の学区内にあり距離的に遠くありません。これまでの商店会と連携した校外学習やイベント参加の実績をもとに、草花の植栽への協力を協議しています。</p> <p>平沼小学校は徒歩 10 分程度の距離にあり、校長に協力を打診済みで、花壇への球根植えなどの具体的なプランも検討中です。</p> <p>また、まち普請の取り組みを通じて環境改善を図り、保護者が安心できる場所にします。隣接する“平沼桁下ひろば”では子ども向けイベントが継続されておりますが、保護者等からの風紀に関する懸念の声はありません。</p>
小川委員	
<p>① 水辺空間が重要であるという認識が、地域の中でどれくらい広がっていると認識していますか。</p>	<p>令和 7 年 9 月に自治会・商店会・企業等が集まり、桜並木や花壇整備エリアの活用プランを募ったところ、水辺を軸にしたアイデアも寄せられました。</p> <p>また、横浜西口の地域活性化に 2014 年から取り組んでいる「横浜西口エリアマネジメント(以下、「エリマネ」)は、水辺の利活用にも取り組んでおり、今回の桜並木・遊歩道整備に参画しています。「エリマネ」は、帷子川・幸川の水辺の検討会や動力船のテスト運航、ワークショップ等の活動を通じて、「自分たちの手で水辺を活かせる」という認識が地域に浸透し、西区 80 周年</p>

	<p>に際し「水辺 80 のやりたいコト」として活用プランをまとめており、こうした情報も共有し、事業に反映していく予定です。</p>
<p>② 駅前であるため、南幸の人口は 400 人程度だと思われます。「地域住民」の範囲を教えてください。</p>	<p>令和 7 年秋、整備エリア近くに UR の高層マンションが完成し、約 250 名の住民が増加しました。</p> <p>地域住民の範囲は、南幸に加え、南幸と隣接する岡野（人口約 4,000 人）、平沼（人口約 8800 人）、西平沼町（人口約 8,500 人）も含みます（別紙資料参照）。</p> <p>これら隣接地域の自治会関係者に対して桜並木・遊歩道整備の整備プランを説明したところ、当該地域の方々から賛同する声をいただいています。</p> <p>さらに、地域のアンケート調査では、今回遊歩道として整備するエリアが、横浜駅へ向かう「生活の導線」として活用される可能性が高いという結果も得られています。</p>
川原委員	
<p>① 景観整備としての絵姿はありますが、この空間整備をきっかけとして、また、この空間の継続的な管理・活用を通して、どのようなまちづくりへの展開が仕掛けられるのかを教えてください。</p>	<p>これまで整備エリアは、活用の方向性が定まりきっていない「空白地帯」でしたが、地域団体、商店会、住民（自治会）等がそれぞれの役割で参加できる地域コミュニティ創出の空間を目指します。</p> <p>岡野・平沼方面と横浜駅前を繋ぐ遊歩道を地域の方々が憩える場所として整備することで回遊性を高めることができます。</p> <p>さらに学校や子どもたちが「桜の成長を見守り、花壇を整える」体験を積み重ねることで、地域への深い愛着（シビックプライド）を育みます。</p> <p>安心安全の面では、防犯カメラなどのハード対策だけでなく、地域住民が愛着を持って手入れすることで、人の目が届く環境に整備し、安心できる環境を実現します。</p>

國廣委員	
質問なし	
後藤委員	
① 陽光桜が満開になり「フォトジェニック」となるのは、年間で考えると2週間程度と考えられます。それ以外は足元の花壇がメインとなりますが、年間を通じた「憩いの空間」イメージはどのようになっていますか。	桜の季節以外は花壇の彩りで年間を通じた憩いの空間を創出します。専門家の「企業組合プランツヘルパーすこっぷ」の助言を得ながら四季折々の花が咲く景観を整え、憩える場所とします。夏は陽光桜の葉や藤棚が天然の日よけとなり、将来的にはベンチや藤棚も増設し、のんびりと憩える空間を目指します。さらに、川と街並みが調和するこのエリアは、電車が走り抜ける姿を捉える撮影スポットでもあるので、「フォトジェニックな散歩道」としての魅力を発信していきます。
鳥海委員	
① 上から俯瞰してみると樹木と川とまちが明るく見通せていますが、歩行者から見える景色はどのようなものになりますか。死角が多くなることで危険度があがるおそれはありませんか。	歩行者の目線の死角を解消するため、植栽のサイズをルール化します。陽光桜の枝は、人の背丈を超える高さ2メートル以上で剪定し、足元の花壇や宿根草は高さ60センチ以下に抑えます。 さらに水辺エリアに、まち普請事業とは別予算で令和7年度末までに防犯カメラを2台設置します。 さらに、商店会・企業・自治会等で構成する地域団体が毎月行うパトロール対象場所に、この整備エリアを正式に追加するように提案・協議を行います。 これらの取り組みで危険度は大きく下がることが期待できます。
② 時間をかけて少しずつ目指していく、完成予想図がいいですね。高校生とのてすりの塗り替えや、小学生との協働の植樹が翌年以降の整備に入っていますが、2026年のまち普請整備時は、基本的に工事業者が作成するイメージでしょうか。	土木・水道・造園工事や陽光桜の植栽など、構造的な安全性や植物の定着に関わる根幹部分は、専門業者が施工します。 花壇への植栽は、近隣の小学生のほか、地域の「愛着」を育むための住民参画のDIYにより行うことを計画しております。 また、案内版看板の整備にも地域住民によ



	るDIYの力を取り入れる計画です。
③ 県の治水事務所が桜の根の心配をしているとのことですが、客観的に今後根の心配はないと判断したのは、どこに所属するどなたですか。複数いる場合、改めて教えてください。	<p>西土木事務所・管理係から提供を受けた「河川断面図」をもとに、田口園芸(株)が防根シートで根の広がりを防ぎ、護岸や構造物に影響しない設計・施工することを説明し、桜の植栽の了承を得ています。</p> <p>なお、県治水事務所との協議の結果、今回の植樹・花壇整備は県の所管外であり、西土木事務所が担当であることが判明し、同事務所からの了解もいただいています。</p>
肥後委員	
① 現地視察では、南幸橋から整備場所への動線が難しい印象がありました。掲示板の設置で解決できそうでしょうか。	<p>南幸橋から整備場所への誘導は、案内掲示板とサインージで対応します。南幸橋と平沼桁下ひろば付近に案内掲示板を設置するほか、横浜駅西口五番街商店会のアーチのLEDサインージで案内映像を流します。夜間はイルミネーション装飾を行い、幸川・帷子川沿いに「光の道」の演出を実施します。さらに自治会の回覧板やチラシで周知します。</p> <p>また、商店街や「エリマネ」と連携してイベントを開催し訪れるきっかけを作り、再訪を促すことで、回遊ルートとして定着させることを目指します。</p>
② 桜並木沿の擁壁壁面の緑化費用は、まち普請の予算に含まれていますか。	<p>南幸地域の商店街エリアを中心に緑化を進めるべく、横浜市の「地域緑のまちづくり事業」に採択されています。</p> <p>同事業において、この「擁壁の緑化」を盛り込めるよう、現在、市の担当部署と協議を行っています。</p>
③ 現在、安心安全防犯パトロール、クリーンアップに参加している方はどんな方々ですか。	<p>自治会は長年この場所を見守ってきた地域愛の強い方々です。商店会会員は、南幸エリアで商売を営む店舗や事業主です。さらに相鉄関連企業や飲料メーカー、周辺企業の社員も地域の一員として協力しています。加えて、横浜を拠点とするプロスポーツ団体も社会貢献活動の一環として参</p>

	加しています。
④ このエリアの歴史を、どのように伝えていく予定ですか。	今後整備する「歴史掲示板」で戦災から戦後復興及び陽光桜の背景、帷子川浄化に向けた取組等、街の歴史などを紹介します。 さらに、「エリマネ」と連携し、イベントで自然に歴史に触れ、子どもや住民が街のルーツを学ぶ活動も推進していきます。
松村委員	
① 2026 年度以降の 3 か年の整備計画は、どのような内容ですか。	<p>【ハード整備】</p> <p>2026 年度</p> <p>①まち普請：陽光桜の植樹、水道・照明・藤棚・ベンチ・ライトアップ・花壇・案内掲示板を設置。②まち普請と別予算：擁壁の緑化や花壇の植栽。</p> <p>2027 年度</p> <p>藤棚やベンチの増設、歴史掲示板を設置</p> <p>2028 年度</p> <p>花壇に自動散水装置を設置。</p> <p>【ソフト事業】</p> <p>2026 年度～2028 年度</p> <p>清掃や水やり、花壇管理、植栽イベント、遊歩道完成の広報。エリマネや商店街と連携し、水辺イベントやイルミネーション、クリスマスイベント、歴史掲示板を活用したガイドツアーの開催</p>
② 小学校の児童にとって、この整備に関わることは、どのような環境教育上の効果が期待できると考えていますか。	<p>土に触れ、草花を植え、その成長を見守る体験を通じて、「自分の行動が環境を変える」ことを実感できます。四季の変化や水辺の生き物を観察しながら、自然と共生する大切さを感じる機会になります。</p> <p>また、活動を通じて「この街の一員」という思いが育まれ、地域への誇りにつながります。世代を超えて続く取り組みや、地域で活躍する人の姿が、未来の担い手を育てるきっかけになることを、地元の自治会会長も強く期待しています。</p>

<p>③ 花壇のデザインは、誰がどのように考えますか。植える植物は、どのような観点から選びますか。</p>	<p>花壇のデザインは、専門家と地域が協力して進めます。植栽計画は、「企業組合プランツヘルパーすこっぷ」が策定し、予算に合った持続可能な管理しやすい品種・四季を楽しめる彩りを重視しています。</p> <p>憩いの場や安全性を考え、視線を遮らない高さなどを守りながら、専門家が配置を提案します。</p> <p>植え付けや日々の管理は、研修を受けた住民等が担い、専門家と地域の協働で「次はこんな花を植えたい」と地域が主体となりながら花壇を育てていきます。</p>
<p>④ 整備後、植栽管理のコストを抑えるために、どのような工夫を考えていますか。</p>	<p>植栽管理で最も負担が大きい水やりは、自動散水システムの導入で効率化し、人的負担と水道代を削減することを検討しています。さらに、保水性の高い土壌やウッドチップなどで根元を覆うことで、乾燥を防ぎ、雑草対策にもつなげます。</p> <p>また、雨水タンクを設置して水やりや清掃に活用し、照明にはソーラーライトを採用することで、ランニングコストを抑えます。加えて、清掃や管理に必要な道具は、地域や企業の協力による共同利用や寄贈を受け、初期費用を軽減します。</p>
<p>⑤ 「未来予想図」は、何年後をイメージした絵ですか。</p>	<p>未来予想図は5年後の姿をイメージしています。最初の1～3年間は桜並木を広げ、管理体制を整える「育成期」。5年後には陽光桜が成長し、豊かな木陰をつくる「成熟期」を迎えます。この頃には、地域や学校、企業が関わる活動が定着し、水辺が街のシンボルとしてより親しまれることを目指します。</p> <p>さらに、横浜駅西口の再開発と連動し、歩きやすく、滞在したくなる遊歩道をつくります。水辺は商店街・商業施設と緑が調和し、住民や訪れる人が「私たちの庭」と感じる心地よい空間を目指します。</p>



横浜駅西口トリコロールリバースが考える隣接エリア街区（岡野・平沼・西平沼）



商和会商店街・バルナード通り



幸栄商店会



五番街商店会



幸川付近



帷子川付近

## 7. ヨコハマ市民まち普請事業整備助成対象一覧（年別）

整備年度	番号	整備提案名	提案グループ名	区	整備内容
H18	1	バス停前傾斜地の緑化事業	舞岡第二ゆめプロジェクト推進会	戸塚	斜面緑化
	2	花＊花に 楽々水やり	花＊花 倶楽部	都筑	雨水利用タンク
	3	東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト	保土ヶ谷宿四百倶楽部＋東海道保土ヶ谷宿松並木ブルムナード実行委員会	保土ヶ谷	植樹、サイン
	4	岸谷公園を中心とした、まちの防災・防犯拠点の再整備	岸谷第二自治会	鶴見	防災放送施設
	5	横浜寿町ホテルビレッジ街化事業	横浜寿町ホテルビレッジ街化事業実行委員会	中	植栽、ベンチ、特大将棋台
	6	こどもの遊び場、ビオトープ作り	永田町上第三町内会	南	ビオトープ
	7	高田東小学校における雨水貯留・浸透施設の設置とビオトープ整備による流域学習推進事業（総合治水・水循環回復・環境保全・回復の総合的学習）	高田東小学校の雨水利用をすすめる会	港北	ビオトープ、雨水利用施設
H19	1	登り窯付属施設及び周辺環境の整備	登り窯と永田の自然を守る会	南	斜面緑地、ビオトープ、水路
	2	仮称）日ノ出町・初黄地区ライトアップ地域浄化構想	美しい環境・市民文化づくりの会（略：B-UPの会）	中	ライトアップ、シャッター描画
	3	不便な盆地も雨水・湧き水で大変身！	西戸部二丁目第一自治会わくわく倶楽部	西	雨水タンク、地下貯水槽
	4	車椅子使用者のためのリフト設置と相談ルームの増設	在宅支援サービス さわやか港南	港南	相談ルーム、リフト
	5	地域のコミュニケーション基地「うさきちハウス」づくり	「うさきちハウス」づくり実行委員会	神奈川	活動小屋
H20	1	地元企業・地主と市民による安全・安心のみちづくり	新羽駅周辺街づくり協議会	港北	道路への描画
	2	荒磯川源流の日本庭園・清流復活	茅ヶ崎公園・緑道愛護会	都筑	井戸、日本庭園
	3	境川上流河川沿い道路に桜並木の名所づくり	境川沿いと鎌倉古道沿いに桜の名所づくり実行委員会	瀬谷	植樹・植栽
	4	地域に愛される浜マーケットを次世代に残していこう！	商店街活性化×若者の働く場創出プロジェクトチーム	磯子	休憩所、看板
H21	1	森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化	よこはま里山研究所 川井緑地森づくりプロジェクト	旭	森林の管理、休憩所（バーゴラ）、道路への描画
	2	高島中央公園におけるファミリーガーデン計画	高島中央公園ガーデニングクラブ	西	園路、花壇
	3	農業体験を通して高齢者と地域住民が交流する場づくり	高齢者子ども等が農体験で交流する場づくり実行委員会	瀬谷	機材置き場、休憩所、井戸
	4	都筑民家園に市民に親しまれる本格的な「茶室」を整備	茶室を贈る有志の会＋茶室まち普請・活用推進委員会	都筑	茶室、露地
H22	1	西柴団地商店街の空き店舗を利用した地域活性化プラン	私たちのふるさと「西柴団地を愛する会」	金沢	コミュニティカフェ
	2	地域に根ざす技術を生かしふるさと大道の風景をつくる	ふるさと大道の風景をつくる会	金沢	井戸設置
	3	鶴見川大曲、花と緑と水の広場づくり	駒岡連合町会大曲広場実行委員会	鶴見	植栽、看板、多目的グラウンド
	4	地域ぐるみで地域開放型コミュニティ・サロンをつくる	地域開放型サロンを豊岡につくる会	鶴見	コミュニティカフェ
	5	樹林と湧水を活かしたホテルの里山づくり	緑地保全地区を核にしたホテルの里山づくり実行委員会	瀬谷	水路、林
H23	1	本牧山頂公園里山あそびプロジェクト	本牧山頂公園和田山地区地域連絡会	中	倉庫、バーゴラ、雨水貯留施設
	2	美しが丘第六公園集会所建設整備計画	美しが丘西部自治会建設委員会役員会	青葉	集会所
	3	初黄・日ノ出町地区に集いの広場を！階段広場をつくる	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会チームひろば	中	広場
H24	1	長津田の樹木を活用したアートワークプロジェクト	長津田駅北側まちづくり協議会	緑	ブロックレリーフ
	2	阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」	阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会	瀬谷	見守り拠点（建物）
	3	新観光地域活性化構想歴史と文化のある街・お三の宮通り	お三の宮通りまちづくり委員会	南	モニュメント、サイン、掲示板
	4	地域力醸成の拠点となるコミュニティサロンの整備	湘南八景自治会役員と湘南八景「お助けマン」	金沢	見守り拠点（内装）
H25	1	夢・街のナビゲート 大倉山コンシェルジュパーク	大倉山に地域交流拠点をつくる会	港北	交流拠点（内装）
	2	瀬乃川源流の湧！優！悠！防災井戸作り	瀬乃川保存を考える会	神奈川	池の再整備、井戸
	3	中川駅前中央遊歩道のルネサンスプロジェクト	NPO法人ぐるっと緑道	都筑	花壇、井戸
H26	1	町の防災拠点づくり	松ヶ丘自治会	神奈川	防災倉庫（内装）
	2	女性の笑顔で人と人をつなぐ地域応援プロジェクト	ディアナ横濱	西	交流拠点
	3	戸塚に新しい親子の居場所「ひろばカフェ」をつくろう	特定非営利活動法人こまちぶらす	戸塚	子育て拠点
H27	1	カサコ 一丘の街の地域の軒下/世界の軒下ー	カサコプロジェクト実行委員	西	交流拠点
	2	美晴台内道路の愛称入り案内板と複合コミセン整備事業	美晴台自治会助け合いグループ	港南	サイン、掲示板
	3	矢向・江ヶ崎 歴史資料室の建設と世代間交流の場作り	矢向・江ヶ崎 歴史資料室を作る会	鶴見	交流拠点

H28	1	湧水を住民のいこいの場に！子どもたちに自然体験を！	下和泉湧水を守る会	泉	緑の再生、遊歩道、小川
	2	住民同士の輝き「人材マップ」を中心にした拠点づくり	六浦東・まち交流ステーション委員会	金沢	地域交流拠点
	3	東山田工業団地に案内板、掲示板、会社マークを設置	つづきつづ、はい！	都筑	案内板、掲示板、ポイントアート
H29	1	地域のインテリジェンス「ぶらっと 谷矢部」づくり	谷矢部池公園愛護会	戸塚	交流拠点
	2	太陽とコミュニティで耕すもろおかエコステーション	熊野の森もろおかスタイル	港北	屋外交流拠点
	3	上星川の「ひと」「まち」「こと」のふれあい広場	FM上星川	保土ヶ谷	交流拠点
H30	1	#BuildingTogether太陽ローズハウス	荻子田太陽公園愛護会グループ	青葉	交流拠点
	2	「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備	美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ	青葉	階段アート
	3	中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース	宮ノマエストロ	泉	交流拠点
R1	1	歴史と環境をテーマに安心して楽しめる里海公園づくり	富岡並木ふなだまりgionbune公園愛護会	金沢	屋外交流拠点
	2	鶴見の多文化・多世代の共創拠点づくり まちのリビング	つみれプロジェクト実行委員会	鶴見	交流拠点
	3	世代を超えた集いの場にするための拠点づくり	おもしろ隊	南	交流拠点
R2	1	コミュニティカフェの新設	みんなが繋がる憩の家 icocca 作り隊	港南	交流拠点
	2	みんなの絵本のおうち	おはなしの風	泉	交流拠点
	3	カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」づくり	菊名・錦が丘にみんなの“ひろば”をつくる会	港北	交流拠点
R3	1	車椅子でもOK！だれでも集える多目的交流スペース	ぐるーぶ・ちえのわ事業検討委員会	戸塚	交流拠点
	2	「水」と「火」のある地域のほっとステーション	Co-coya復活プロジェクト実行委員会	緑	交流拠点
	3	子安台みんなの家	子安台みんなの家をつくる会	神奈川	交流拠点
R4	1	地域で繋がりを、楽しむ！多世代・多文化交流の新拠点！	まちとも霧が丘	緑	交流拠点
	2	八景市場ANNEXー自らづくり、つながる場所	食卓八景ーつながりのリビングをつくる会	金沢	交流拠点
	3	地域コミュニティのごきげんな居場所づくり	モヤキラCAFE 実行委員会	都筑	交流拠点
R5	1	松見町みんなの実家「てんこもりのわ」プロジェクト	てんこもりのわ	神奈川	交流拠点
	2	「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ	まちまど・洋光台シェアベース実行委員会	磯子	交流拠点
	3	鳥山ノスタルジア計画・町への愛着生む居場所を作る	町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト	港北	交流拠点
R6	1	HONMOKUもくりプロジェクト	HONMOKUもくりプロジェクト実行委員会	中	交流拠点
	2	リアルとバーチャルで夢を応援えだきんメタワールド	えだきん×夢叶きやらばん	都筑	屋外交流拠点
R7	1	師岡熊野神社「いの池」愛護会	いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持	港北	水環境の整備
	2	あおぞら広場をつくる会	あおぞら広場	金沢	屋外交流拠点
	3	二つ台みーとみーとPJ	シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備	保土ヶ谷	交流拠点
	4	ハレット境木ベース運営委員会	懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点	保土ヶ谷	交流拠点
	5	熊野の森、子どもの居場所プロジェクト実行委員会	熊野の森、子どもの居場所プロジェクト	港北	屋外交流拠点



### メールマガジン「ヨコハマ 人・まち」を読みませんか？

市民が身近なまちづくりに取り組むときに役立つ制度や地域のまちづくり活動の紹介、地域まちづくりに関するイベントや講座等に関するお知らせなどを提供する、無料のメールマガジンを読みませんか？ 配信申し込みは、下記の2次元コードからお願いします。



ヨコハマ 人・まち  
メルマガ案

### 地域まちづくり課 “公認” のFacebook

#### 「ヨコハマ市民まち普請ひろば」



まち普請ひろば

Facebookに登録していなくても誰でも見られます。

既にFacebookに登録されている方は、是非「いいね！」を宜しくお願いします。

(Facebookは協働事務局の横浜市住宅供給公社が運営しています)

自ら主体となって、身近なまちの課題を解決したい、あるいは魅力を高めたいと考えている方や、身近なまちの施設等の整備アイデアをお持ちの方は、年間を通じていつでも相談窓口を開設していますので、どうぞお気軽にご相談ください。

#### 【相談・お問い合わせ先】

横浜市都市整備局地域まちづくり課

(横浜市中区本町6丁目50番地の10 市庁舎29階)

電話 045-671-2679 E-mail: [tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp](mailto:tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp)



### 令和7年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



まち普請事業は、市民主体のまちづくりの支援を通じてSDGsの目標達成を目指す事業です。SDGs推進に精力的に取り組む以下の企業の皆様からの応援をいただいています。

